

ふじさわジェンダー平等プラン2030 ～藤沢市男女共同参画計画～

令和3年度進捗管理シート

藤沢市 企画政策部
人権男女共同平和国際課

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	1
事業コード 事業名	01	ジェンダー平等社会の形成に向けた意識改革のためのイベント、研修の実施	担当課	人権男女共同平和国際課
主な具体的事業	ジェンダー平等を啓発するイベント等の実施			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	>オンライン講演会を開催した。 ・テーマ:「コロナで見えた！それ、誰の負担？」 ・公開期間:12月10日～12月16日 ・申込者数:66人 ・再生回数:190回		>オンライン講演会を開催した。 ・テーマ:「男が働かない、いいじゃないか！～これからの「当たり前」を考える～」 ・公開期間:12月14日～12月21日 ・申込者数:59人 ・再生回数:128回	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			>オンライン講演会をとおして、ジェンダー平等に関する理解を深めることができたため、「B」評価とする。 >今後も他課と連携を図り、啓発を推進する。	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	2
事業コード 事業名	01	ジェンダー平等社会の形成に向けた意識改革のためのイベント、研修の実施	担当課	職員課
主な具体的事業	ジェンダー平等に関する職員研修の実施			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	>新採用職員を対象に「人権施策」及び「男女共同参画社会」研修(ライブラリ研修)を実施し、人権意識や男女共同参画について理解を深め、多様性を生かす職場づくりを推進した。 ※新採用職員研修:106人		>新採用職員を対象に「人権施策及び男女共同参画社会」研修(ライブラリ研修)を実施し、人権感覚を高めるとともに、ジェンダー平等・男女共同参画について理解を深め、多様性を生かす職場づくりを推進した。 ※新採用職員研修:118人	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			>目標の中核となる具体的な事業が実施できたため、「B」の評価とした一方、今後他の階層別研修等への展開も検討していきたい。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	3
事業コード 事業名	02	ジェンダー平等の視点に立った広報・出版物などにおける表現の配慮	担当課	広報シティプロモーション課	
主な具体的事業	「広報ふじさわ」などの発行にあたっての配慮				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞掲載する文章やイラストに関して、固定的性別役割分担を印象づける表現・内容とならないよう配慮した。</p>			<p>＞掲載する文章やイラストに関して、固定的性別役割分担を印象づける表現・内容とならないよう配慮した。 ＞事業・講座等申し込みの必要事項を掲載する際に「性別」の項目があった場合は、その必要性の有無について担当課に確認を取る対応をした。</p>	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞事例の情報共有をすることで、日常から意識啓発をしながら事業を進めることができた。 ＞担当課から提出があった原稿にふさわしくない表現がある場合は、その理由を含めて説明するなどの対応をしたい。</p>	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	4
事業コード 事業名	02	ジェンダー平等の視点に立った広報・出版物などにおける表現の配慮	担当課	広報シティプロモーション課	
主な具体的事業	藤沢市公式ホームページでの配慮				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞市政情報を発信する際に、男女平等に配慮した表現・内容になるよう努めた。</p>			<p>＞市政情報を発信する際に、ジェンダー平等に配慮した表現・内容になるよう努めた。</p>	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞即時性のある情報発信を特に意識して対応した。 ＞公式ホームページは各課でページを作成し公開するため、各課の作成者及び承認者がジェンダー平等の視点を持って作業を行うなど、今後も継続した意識向上を図る。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	5
事業コード 事業名	02	ジェンダー平等の視点に立った広報・出版物などにおける表現の配慮	担当課	広報シティプロモーション課	
主な具体的事業	行政刊行物発行などに際しての配慮				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>掲載する文章やイラスト・コメントに関して、男女平等に配慮した表現を行った。			>文章やイラスト・コメントに関して、不必要な性別表記をしないなど、ジェンダー平等に配慮した表現を行った。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>会議などで事例を共有するなどして、意識啓発を図ることができた。 >広報という立場を踏まえ、ジェンダー平等の視点を持つ意味を十分に理解すべく継続して意識啓発をしたい。	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	6
事業コード 事業名	03	ジェンダー平等に関する情報収集と提供	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙の発行やホームページ等での情報提供				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>市民編集員による企画・編集により、年4回(6月、9月、1月、3月)各5,000部を発行した。 庁内各課(市民センター、公民館、図書館、Fプレイス含む)・保育園・幼稚園・市民の家・市内金融機関・郵便局・商工会議所等に配布するとともに、HPIにて最新号及びバックナンバーを掲載した。			>市民編集員による企画・編集により、男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」を年2回(6月、1月)発行した。 >HPで最新号及びバックナンバーを掲載を行うとともに、市公式SNSアカウント(Facebook、LINE)を通して周知を図った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>男性の育児や多様な性をテーマにする等、ジェンダーに関する幅広い情報を市民に提供したが、周知に課題が残るため評価を「B」とする。 >今後も、SNS等を活用し、ジェンダー平等・男女共同参画に関する情報提供に努める。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	7
事業コード 事業名	03	ジェンダー平等に関する情報収集と提供	担当課	総合市民図書館
主な具体的事業	ジェンダー、男女共同参画、セクシュアルマイノリティ等に関連した図書の収集と提供			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>「図書館資料収集方針」に基づき、資料を収集し、提供した。 男女共同参画社会等に関する図書資料の蔵書件数：男女共同参画を件名とする図書32件・男女共同参画社会基本法3件・男女雇用機会均等法15件・男女平等44件・女性問題744件・女性労働236件・女性労働者303件。</p>		<p>「図書館資料収集方針」に基づき、資料を収集し、提供した。 (男女共同参画社会等に関する図書資料の蔵書件数：男女共同参画を件名とする図書33件・男女共同参画社会基本法3件・男女雇用機会均等法15件・男女平等49件・女性問題770件・女性労働240件・女性労働者305件・ジェンダー104件・性的マイノリティ73件・性同一性障がい57件) また、パートナーシップ宣誓制度に関する展示を行い、資料を提供した。</p>	
目標に対する評価			A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>日々新たな定義や考え方が生まれる分野であるため、常に最新の情報を提供できるよう情報収集を行う。限られた資料費の中となるが、ジェンダーや男女共同参画に関する資料を積極的に収集し、提供していく。</p>	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	8
事業コード 事業名	04	ジェンダー平等に関する意識調査等の実施	担当課	人権男女共同平和国際課
主な具体的事業	市民意識調査の実施			
実施方式	委託・指定管理			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>「5年毎に実施予定(次回は令和5年度)のため、令和2年度の実績はない。</p>		<p>「概ね5年毎に実施予定のため、令和3年度の実績はない。</p>	
目標に対する評価			評価対象外	
評価に対する考え 及び 今後の取組			令和3年度は実施年度ではないため、評価対象外とする。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	9
事業コード 事業名	05	家庭・保育園などにおける幼少期からのジェンダー平等意識の形成	担当課	保育課
主な具体的事業	園児等へのジェンダー平等に関する意識づけ			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>➢各学校において、あらゆる学習活動の中で男女平等教育を実施した。また、日常的に児童・生徒の性別にとらわれない、一人ひとりの個性を大切にした教育を実践した。</p>		<p>➢各園において、日々の中で子どもに関わる職員等が意識し、一人一人の個性を大切にした保育を実施した。</p>	
目標に対する評価			A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>➢一人一人の個性を大切にした保育が実施できたため、評価を「A」とする。</p>	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	10
事業コード 事業名	05	家庭・保育園などにおける幼少期からのジェンダー平等意識の形成	担当課	保育課
主な具体的事業	保育に関わる職員、保護者などへの啓発、情報提供			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>➢子どもたちの成長段階に合わせた保育を行う中で、職員・保護者へ、性別による固定的な役割分担意識(色や服装、職業など)を持たせないよう配慮した言葉かけや態度で接するよう、啓発を行った。</p>		<p>➢子どもたちの成長・発達段階に合わせた保育を行う中で、職員・保護者へ、性別による固定的な役割分担意識(色や服装、職業など)を持たせないよう配慮した言葉かけや態度で接するよう、随時、保育の振り返りを行い、啓発を行った。</p>	
目標に対する評価			A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>➢随時、保育の振り返りを行い、職員研修や保護者啓発を行うことができていることから評価を「A」とする。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	11
事業コード 事業名	06	ジェンダー平等に基づく教育課程の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	各教科、道徳、特別活動などの授業や行事における人権教育の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢各学校において、あらゆる学習活動の中で男女平等教育を実施した。また、日常的に児童・生徒の性別にとらわれない、個々を大切にした教育を実践した。</p>			<p>➢各学校において、あらゆる学習活動の機会をとらえて男女平等教育を実施した。また、学校生活を通して児童・生徒の性別にとらわれない、個々を大切にした教育を実践した。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢授業や行事に限らず、日常的に性別にとらわれない、個々を大切にした教育を実践できているため評価を「B」とする。今後、セクシャルマイノリティについても児童生徒がさらに理解し認識を深めることができるよう努めていく。</p>	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	12
事業コード 事業名	06	ジェンダー平等に基づく教育課程の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	ジェンダー平等の視点に立った教材・副読本の選定				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢小学校4年生、中学校1年生を対象にセクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットを作成・配付した。中学校1年生対象のリーフレットには、デートDV防止の内容を加えている。</p>			<p>➢小学校4年生、中学校1年生を対象にセクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットを今年度からはデータで作成し、配布した。また、教育委員会のホームページにも掲載し、広く周知した。 ➢文科省が進める「生命(いのち)の安全教育」の内容も一部盛り込んだ。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢「生命(いのち)の安全教育」の内容を一部追加するとともに、リーフレットをデータ化し、ホームページに掲載することで広く周知することができたため評価を「B」とする。 今後もリーフレットの内容等については、毎年検討していく。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	13
事業コード 事業名	06	ジェンダー平等に基づく教育課程の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	一人ひとりの個性を重視した進路指導の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>各中学校において、個人の資質を見極め、生涯にわたる広い観点を持って進路指導を行った。			>各中学校において、卒業直後の進路選択に関する指導だけでなく、自分を知ることや社会人・職業人になった自分を想定して長期的な視野に立った進路指導を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>昨年度と同様の取組に加え、各学校の学習評価に関する事例収集及び検討等を行い、より妥当性、信頼性のある学習評価の実施について検討していく。	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	14
事業コード 事業名	07	心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	理科、保健体育科、特別活動などの授業における実施状況について、指導主事が指導助言				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>各学校において、子どもの発達段階に応じて、理科や保健体育科、道徳、特別活動等の授業の中で、男女の心身についての基礎的知識などお互いの性について理解させるとともに、尊重しあえる心を育んだ。			>理科では、「人の誕生」、体育(保健領域)では、「体の発育・発達」、保健体育(保健分野)では、「心身の発達と心の健康」において、男女の心身について学び、互いの性や個人差等について理解する授業に取り組んだ。また、特別活動をはじめ、教育活動全体を通して、互いを尊重し合えるようにした。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>計画訪問等において、指導助言を行ったため、評価を「B」とする。 >今後も、教育活動全体を通して取り組むことの必要性について指導助言していきたい。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	15
事業コード 事業名	07	心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	スクールハラスメントの防止・啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> 小学校4年生、中学校1年生を対象にセクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットを今年度からはデータで作成し、配布した。また、教育委員会のホームページにも掲載し、広く周知した。また、文科省が進める「生命(いのち)の安全教育」の内容も一部盛り込んだ。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 「生命(いのち)の安全教育」の内容を一部追加するとともに、リーフレットをデータ化し、ホームページに掲載することで広く周知することができたため、評価を「B」とする。今後もリーフレットの内容等については、毎年検討していく。	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	16
事業コード 事業名	07	心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	人権・環境・平和教育担当者会の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 人権・環境・平和教育担当者会を、年間2回(5月19日書面開催、1月19日オンライン開催)実施した。			> 人権・環境・平和教育担当者会を年間2回(5月20日、1月18日)オンラインで開催した。2回目は「ジェンダー平等」についての講演会を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 今年度は書面ではなく、2回ともオンラインで開催することができ、2回目についても講師を招聘し、「ジェンダー平等」について講演会を行うことができたため、評価を「B」とする。 ※講演会の内容は毎年検討する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	17
事業コード 事業名	07	心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	健康づくり課
主な具体的事業	思春期保健指導の実施			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	> 思春期保健事業：延べ483人（所内相談5件、電話相談10件、講演会1回39人、保健教育3回、429人）		> 思春期健康教育の実施 中学校1校・高校2校 計：3回 > 思春期講演会は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	
目標に対する評価			C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組			> 感染拡大しても中止にならないよう、ZOOMを活用する等、対面以外でも開催できる方法を周知する。 > 関係機関及び学校に掲示物等を通して事業の周知を拡充する。	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	18
事業コード 事業名	08	教育相談の充実	担当課	教育指導課
主な具体的事業	スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる相談環境の充実			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	> 藤沢市スクールカウンセラーを学校規模に応じて週1～2日、市立全小・中・特別支援学校へ配置 > 相談支援教室での不登校児童生徒への支援及び保護者相談 > センターでの電話相談・来所相談の実施 > スクールソーシャルワーカー（3名）の学校への派遣 > 次年度就学予定児童に対する就学相談の実施		> 藤沢市スクールカウンセラーを学校規模に応じて週1～2日、市立全小中特別支援学校へ配置。 > 相談支援教室での不登校児童生徒への支援及び保護者相談の実施。 > センターでの電話相談・来所相談の実施。 > スクールソーシャルワーカー（市3名、県2名）の学校への派遣。 > 次年度就学予定児童に対する就学相談の実施。	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			> センター、各学校、相談支援教室において、必要に応じて相談等を実施したため、評価を「B」とする。 > 今後も課題を抱える児童生徒や保護者の支援体制の充実に努める。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	19
事業コード 事業名	09	教育現場におけるジェンダー平等の職場づくりと研修の推進	担当課	教育指導課/学務保健課
主な具体的事業	教職員へのジェンダー平等やセクシュアルハラスメント(スクールハラスメント)に関する研修と実践事例の情報提供			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>>セクシュアル・ハラスメントに関する県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料を、全市立小・中・特別支援学校に配布した。</p> <p>>事故防止会議について、小学校からは各学期3回、中・特別支援学校からは前期・後期の2回の実施報告を受けた。そのうち、セクシュアル・ハラスメントに関する研修実施率は、小学校97.1%(35校中34校実施)、中・特別支援学校90.0%(20校中18校実施)であった。</p>		<p>>人権・環境・平和教育担当者会を2回実施した。第1回では様々な人権施策について確認し、その中でもセクシュアルマイノリティについて周知し、教職員として子どもたちへの対応や日々の教育活動の中で生かしていけるよう確認した。第2回では「ジェンダー平等」についてセクシュアルマイノリティ当事者を講師に招き、講演会を行った。</p> <p>4年経験者研修でも子どもの人権及びセクシュアルマイノリティについて周知した。</p>	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>>1回目の担当者会でセクシュアルマイノリティについて周知しただけでなく、2回目についてはセクシュアルマイノリティ当事者を講師として招聘し、「ジェンダー平等」について講演会を行うことができた。また、4年経験者研修でもセクシュアルマイノリティについて周知できた。</p> <p>※講演の内容等については、毎年検討。</p>	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	20
事業コード 事業名	10	生涯を通じたジェンダー平等学習の充実	担当課	生涯学習総務課・公民館
主な具体的事業	男性の家庭・地域への参画に促進する学習機会の提供			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>>男性対象事業を1公民館で1事業実施した。</p> <p>・参加者:延べ73人</p> <p>【実施公民館及びテーマ、参加人数】</p> <p>・湘南大庭「男性学級『湘南大庭メンズクラブ』」73人</p>		<p>>男性対象事業を2公民館で2事業実施した。</p> <p>・参加者:延べ155人</p> <p>【実施公民館及びテーマ、参加人数】</p> <p>・片瀬「オレの挑戦!～Katase 男(DAN)dismへの道～」9人</p> <p>・湘南大庭「男性学級『湘南大庭メンズクラブ』」146人</p>	
目標に対する評価			A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>>男性を対象とした事業を実施し、地域参加のきっかけを作ることができた。今後も男性の家庭・地域への参画を促進する事業を実施していく。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	21
事業コード 事業名	10	生涯を通じたジェンダー平等学習の充実	担当課	生涯学習総務課・公民館	
主な具体的事業	ジェンダー平等をテーマにした講座等の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>ジェンダー平等をテーマにした講座を2公民館で2事業実施した。 ・参加者：延べ287人 【実施公民館及びテーマ、参加人数】 善行「藤沢・生き方タイムトラベル 郷土史から考えるLGBT/SOGL」23人 ・藤沢「LGBTってなに？ ～自分らしく生きる～（藤沢遊行塾）」264人	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>ジェンダー平等の理解を広めるきっかけとなったことから、評価を「A」とする。今後も社会的包摂の実現に向けて、ジェンダー平等をテーマとした事業を実施していく。	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	22
事業コード 事業名	11	人権施策の総合的な推進	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	藤沢市人権施策推進指針による着実な推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>藤沢市人権施策推進指針に関する事業実績調査を行い、総合的な人権施策の推進について確認した。 >職員の人権意識啓発のため、各課ごとにテーマ設定を行い、これに基づき各課で意識啓発の取組について実施した。 >ふじさわ人権協議会を3回開催（うち、2回は書面開催）し、藤沢市の人権施策につき意見聴取した。 >人権事務事業推進連絡会（庁内各課等の長で構成）を書面開催し、人権関係各課との情報共有及び連絡調整等を行った。			>藤沢市人権施策推進指針に関する事業実績調査を行い、総合的な人権施策の推進について確認した。 >職員の人権意識啓発のため、各課ごとにテーマ設定を行い、これに基づき各課で意識啓発の取組を実施した。 >ふじさわ人権協議会を3回開催し、藤沢市の人権施策につき意見聴取した。 >ふじさわ人権協議会専門部会を3回開催し、人権に関する市民意識調査項目及び藤沢市人権施策推進指針の改定の方向性について検討した。 >人権事務事業推進連絡会（庁内各課等の長で構成）を書面開催し、人権関係各課との情報共有及び連絡調整等を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>各課及び協議会等との連携により、藤沢市人権施策推進指針に基づく各種施策を実施することができたため、評価を「B」とする。 >引き続き、庁内外の協議会等との連携を図りつつ、人権施策の推進に努める。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	23
事業コード 事業名	11	人権施策の総合的な推進	担当課	人権男女共同平和国際課
主な具体的事業	人権教育及び人権啓発に関する施策の推進			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>➢人権擁護委員と連携した啓発活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の花運動 市立小学校7校、私立小学校1校で実施 ・「人権擁護委員の日」、「人権週間」等を周知 		<p>➢人権擁護委員と連携した啓発活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の花運動を市立小学校8校で実施 ・中学生人権作文コンテストを市内中学校15校で実施 ・「人権擁護委員の日」、「人権週間」等を市広報や横断幕掲出により周知 	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>➢各種啓発事業等を実施し、人権教育及び人権啓発に関する施策を推進したことから評価を「B」とする。</p> <p>➢目標を引き続き達成するために、人権擁護委員と連携し、各種事業を引き続き実施していく。</p>	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	24
事業コード 事業名	11	人権施策の総合的な推進	担当課	人権男女共同平和国際課
主な具体的事業	人権啓発講演会、研修会の開催			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>➢人権男女共同平和国際課主催及び他課と連携した講演会等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催・連携講演会等 3事業（令和2年度藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会、第35回藤沢市人権啓発講演会等） ➢庁内研修会等を開催し、職員の人権意識啓発を図った。 ・藤沢市人権施策推進担当者研修会の開催 ・人権eラーニング研修の実施 		<p>➢人権男女共同平和国際課主催及び他課と連携した講演会等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催・連携講演会等 3事業（令和3年度藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会、第36回藤沢市人権啓発講演会等） ➢庁内研修会等を開催し、職員の人権意識啓発を図った。 ・藤沢市人権施策推進担当者研修会の開催 ・新採用職員を対象としたeラーニング研修 ・人権eラーニング研修の実施 	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>➢各種啓発事業・研修等の実施をとおして、市民及び市職員に対する人権啓発を行うことができたことから、評価を「B」とする。</p> <p>➢引き続き目標達成に向けて、各種事業を引き続き実施していく。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	25
事業コード 事業名	11	人権施策の総合的な推進	担当課	教育総務課
主な具体的事業	人権啓発の推進			
実施方式	その他			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>➢人権団体等が主催する自治体人権担当者交流会等への参加を通じ、他市の教育委員会における人権施策の特徴的取組や具体的事例について、状況を把握した。</p>		<p>➢市長部局と連携し、「人権作文コンテスト」を実施し、子どもたちの人権意識啓発に努めた。</p> <p>➢人権団体等が主催する自治体人権担当者交流会等への参加を通じ、教職員の人権意識啓発に努めた。</p>	
目標に対する評価	B 目標を概ね達成した			
評価に対する考え 及び 今後の取組	<p>➢コロナ禍で中止となった研修等もあったが、参加要請のあった会議等には可能な範囲で参加し、人権啓発の推進に資することができたため、評価は「B」とする。</p> <p>➢引き続き、人権団体等が主催する会議・研修等を通して職員の人権啓発の推進に努めるとともに、市長部局と連携して人権施策を推進する。</p>			

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	26
事業コード 事業名	11	人権施策の総合的な推進	担当課	教育総務課
主な具体的事業	他市教育委員会との連携による人権施策の推進			
実施方式	その他			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>➢人権団体等が主催する自治体人権担当者交流会等への参加を通じ、他市の教育委員会における人権施策の特徴的取組や具体的事例について、状況を把握した。</p>		<p>➢湘南三浦教育事務所が主催する「人権教育研修会」や「湘三地区PTA人権セミナー」など様々な研修会等をPTA等に周知し、他市教育委員会と連携し、人権・男女共同参画意識の啓発を図るよう努めた。</p> <p>➢人権団体等が主催する自治体人権担当者交流会等への参加を通じ、他市の教育委員会における人権施策の特徴的取組や具体的事例について情報・意見交換し、人権施策の推進に努めた。</p>	
目標に対する評価	B 目標を概ね達成した			
評価に対する考え 及び 今後の取組	<p>➢他市教育委員会や関係機関と連携し、啓発事業を実施するとともに、情報交換等を通じて人権啓発の推進に資することができたため、評価は「B」とする。</p> <p>➢今後も、他市教育委員会や関係機関との連携し、人権施策の推進に努める。</p>			

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	27
事業コード 事業名	11	人権施策の総合的な推進	担当課	教育指導課
主な具体的事業	人権教育についての指導資料の作成、配布			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>>セクシュアル・ハラスメント防止リーフレットとして、小学4年生用「楽しい学校生活を送るために」、中学1年生用「STOP！！スクール・セクハラ／デートDV」を作成し、配付した。</p> <p>>「児童の権利に関する条約」の精神を日常生活の中で生かすことを目的に、小学校1年生、4年生、中学校1年生を対象に、子どもの権利条約リーフレットを作成し、配布した。また、同学年の担任には教師用指導資料を併せて配付した。</p>		<p>>セクシュアル・ハラスメント防止リーフレットとして、小学4年生用「楽しい学校生活を送るために」、中学1年生用「STOP！！スクール・セクハラ／デートDV／SNS等を通じた被害」を今年度はデータで作成し、配布した。</p> <p>>子どもの権利条約について周知するために、小学校1年生、4年生、中学校1年生を対象に子どもの権利条約リーフレットをデータで作成し、配布した。同学年の担任には教師用指導資料も併せて配布した。県の指導資料をもとに、中学校1年生の教師用指導資料を改訂した。</p>	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>>リーフレットをデータ化し、ホームページに掲載することで広く周知することができたため、評価を「B」とする。</p> <p>>今後もリーフレットの内容等については、毎年検討していく。</p>	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	28
事業コード 事業名	11	人権施策の総合的な推進	担当課	教育指導課
主な具体的事業	教職員への研修と実践事例の情報提供			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>>人権・環境・平和教育担当者会を2回実施し、第2回では、いじめ防止対策担当スクールカウンセラーによる講演会を行った。また、各校における人権教育研修で活用できるよう、資料や情報を提供した。</p> <p>>学校教育関係者への実践事例の情報提供として、市立全小・中・特別支援学校の人権教育等の実践をまとめた「令和元年度実践・活動の記録集」を用いて、人権・環境・平和教育担当者会にて実践例を参考にするよう周知した。また、「令和2年度実践・活動の記録集」を作成した。</p> <p>>新型コロナウイルス感染症による差別が起きないために、正しい知識のもと発達段階に応じた指導を行っていくよう周知した。</p>		<p>>人権・環境・平和教育担当者会を2回実施した。第1回では様々な人権施策について確認し、教職員として子どもたちへの対応や日々の教育活動の中で生かしていけるよう周知した。第2回では「ジェンダー平等」についてセクシャルマイノリティ当事者を講師に招き、講演会を行った。</p> <p>4年経験者研修でも子どもの人権及びセクシャルマイノリティについて周知した。</p> <p>>学校教育関係者への実践事例の情報提供として、市立全小・中・特別支援学校の人権教育等の実践をまとめた「令和2年度実践・活動の記録集」を用いて、人権・環境・平和教育担当者会にて実践例を参考にするよう促した。</p>	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>>今年度は担当者会を書面ではなく、2回ともオンラインで開催することができ、2回目についても講師を招聘し、「ジェンダー平等」について講演会を行うことができた。また、4年経験者研修でもセクシャルマイノリティについて周知できた。</p> <p>>2回の担当者会をどのような内容で運営していくかは毎年検討していく。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	29
事業コード 事業名	11	人権施策の総合的な推進	担当課	生涯学習総務課・公民館
主な具体的事業	人権をテーマとした講座等の開催			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	—		<p>➢人権をテーマとした講座を3公民館で4事業実施した。</p> <p>・参加者延べ89人</p> <p>【実施公民館及びテーマ、参加人数】</p> <p>・六会「ヤングケアラーを知ろう」45人</p> <p>・明治「人権啓発推進講座『身近なユニバーサルデザインに触れてみよう』」17人</p> <p>・遠藤「VR認知症体験講座～他人ごとではなく、自分ごととして～」18人、「大人のモラルを考える～子どもの目に映るおとなはどんなおとな?～」9人</p>	
目標に対する評価			A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>➢多様なテーマで人権について学ぶ機会を作ることができた。今後も社会的包摂の実現に向けて、人権について学ぶ事業を実施していく。</p>	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	30
事業コード 事業名	12	互いの文化を尊重した多文化共生のまちづくりの充実	担当課	人権男女共同平和国際課
主な具体的事業	市民主体の国際化推進事業の実施			
実施方式	その他			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>➢姉妹友好都市との交流事業の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症の感染防止を踏まえ事業の実施手法を工夫して、関係団体等と連携・協力して交流を実施した。</p>		<p>➢姉妹友好都市との交流事業の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症の感染防止を踏まえ事業の実施手法を工夫して、関係団体等と連携・協力して交流を実施した。</p>	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>➢交流事業の実施にあたっては、今後も、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、安全・安心な事業運営となるよう、関係団体等と連携・協力を行い取組を進める。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	31
事業コード 事業名	12	互いの文化を尊重した多文化共生のまちづくりの充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	多様な国際交流推進事業の実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 姉妹都市のウインザー市とのオンライン青少年絵画交流事業の実施。(令和2年9月29日～動画公開、絵画13点) > 藤沢市市制施行80周年姉妹友好都市オンライン児童絵画交流展の実施(令和3年1月15日～動画公開、全姉妹友好都市参加、絵画126点)			> 姉妹都市のウインザー市とのオンライン青少年絵画交流事業の実施(令和3年11月18日～動画公開、絵画27点)。> 友好都市の昆明市との提携40周年を記念し、オンラインによる代表者会談、医療会談を実施(令和3年11月5日～6日)。 > 姉妹都市の松本市との提携60周年を記念し、ホームページ交流事業を実施(令和3年7月29日～公開)。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 今後も地域の団体等と連携を図り、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、継続的に国際交流及び多文化共生推進イベントを実施する。	

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり			通番	32
事業コード 事業名	12	互いの文化を尊重した多文化共生のまちづくりの充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	国際交流の場の提供				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 姉妹友好都市などとの異文化・国際交流事業について、広報ふじさわ10月25日号で周知活動を行った。			> 姉妹友好都市等の異文化・国際交流事業について、紹介動画を作成し、藤沢市ホームページで周知・啓発活動を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 異文化・国際交流事業について、より多くの市民の理解を深めるため、ホームページや動画を活用した継続的な取組を図る。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり		通番	33
事業コード 事業名	12	互いの文化を尊重した多文化共生のまちづくりの充実	担当課	青少年課
主な具体的事業	青少年の国際交流事業の推進			
実施方式	委託・指定管理			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>➢青少年会館の国際交流実行委員が企画し、藤沢市在住の外国籍の方との交流事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名 「そうだ！鎌倉へ行こう！」 ・実施日 12月20日 ・参加者 18人 		<p>➢青少年国際化推進事業 青少年で構成する実行委員会が企画し、外国籍の人との交流事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化交流イベント「クイズ&ゲーム」 実施日：9月19日（日） 参加者：8人 ・多文化交流イベント「Let's GO "ENOSHIMA"」 実施日：令和4年1月15日（土） 参加者：8人 ・多文化共生ワークショップ「デジタル・ストーリーテリング」 実施日：令和4年2月5日（土） 参加者：14人 	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>➢青少年が地域で様々な外国の人々と交流し相互に理解を深めることができたため、評価は「B」とする。</p> <p>➢引き続き、体験を通して互いの人権を尊重する心を養うとともに、地域から世界に目を向ける機会を提供する。</p>	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進		通番	34
事業コード 事業名	13	議会、審議会、市職員など、市政（政治・行政分野）への女性の参画推進	担当課	人権男女共同平和国際課
主な具体的事業	審議会等の女性登用比率アップ対応方針の徹底			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>➢令和2年4月1日時点の審議会等の状況及び女性の登用状況の集計を行った結果、目標値50%に対し、実績値41.9%であった。</p> <p>「女性登用比率アップ対応方針」を定め、各課に対して周知するとともに、事前協議等の徹底に努めた。</p>		<p>➢令和3年4月1日時点の審議会等の状況及び女性の登用状況の集計を行った結果、目標値50%に対し、実績値42.2%であった。</p> <p>「女性登用比率アップ対応方針」を定め、各課等に対して周知するとともに、事前協議等の徹底に努めた。</p>	
目標に対する評価			C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>➢目標値が50%を下回ったため、評価を「C」とする。</p> <p>➢引き続き女性登用比率アップに向け、審議会等の事前協議の徹底を図る。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進		通番	35
事業コード 事業名	13	議会、審議会、市職員など、市政(政治・行政分野)への女性の参画推進	担当課	職員課
主な具体的事業	市職員の女性管理職登用にに向けたキャリアアップ支援の充実			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>>女性管理職については、課長級5人、課長補佐級17人、計22人を登用した。〔登用者数は前年度比4人増、女性管理職の割合は23.8%(令和元年度は、24.4%)〕</p> <p>>女性監督者については、上級主査級18人、主査級26人、計44人を登用した。〔登用者数は前年度比11人増、女性監督者の割合は42.4%(令和元年度は、43.2%)〕</p> <p>女性管理職 120人→113人(令和元年度→令和2年度) 女性監督者 240人→229人(令和元年度→令和2年度) *行I(消防・教育公務員を除く)</p>		<p>>女性管理職については、課長級6人、課長補佐級16人、計22人を登用した。〔前年度と同数。女性管理職の割合は24.3%(令和2年度は23.8%)。〕</p> <p>>女性監督者については、上級主査級24人、主査級40人、計64人を登用した。〔前年度比20人増。女性監督者の割合は43.5%(令和2年度は42.4%)〕</p> <p>女性管理職 113人→109人(令和2年度→令和3年度) 女性監督者 229人→252人(令和2年度→令和3年度) *行I(消防・教育公務員を除く)</p>	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			>引き続き、「藤沢市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」に定める目標達成に向けて、女性登用推進に努めたい。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進		通番	36
事業コード 事業名	13	議会、審議会、市職員など、市政(政治・行政分野)への女性の参画推進	担当課	市民自治推進課
主な具体的事業	郷土づくり推進会議をはじめとした地域のまちづくりへの女性参画の促進			
実施方式	その他			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>>市内13地区の郷土づくり推進会議及び地域活動団体(計141団体)の女性参画比率は、目標値50.0%に対し、43.8%(令和2年4月1日時点)だった。</p>		<p>>市内13地区の郷土づくり推進会議及び地域活動団体(計142団体)の女性参画比率は、目標値50.0%に対し、43.6%(令和3年4月1日時点)だった。</p>	
目標に対する評価			C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組			>引き続き、地域のまちづくりに係る各種審議会、委員会などの委員や市政への女性参画を促していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	37
事業コード 事業名	13	議会、審議会、市職員など、市政(政治・行政分野)への女性の参画推進	担当課	学務保健課	
主な具体的事業	教員の能力・適性に応じた女性管理職登用の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 藤沢市立小・中・特別支援学校の教員男女比率は、男性41.2%、女性58.8%である。また、管理職男女比率は、男性54.0%、女性46.0%である。			> 藤沢市立小・中・特別支援学校の教員男女比率は、男性41.2%、女性58.8%である。また、管理職男女比率は、男性51%、女性49%である。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 管理職の女性登用については、その割合が49%であるが、中学校では36%のため、評価を「B」とする。引き続き、登用率アップに向けた取組を進める必要がある。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	38
事業コード 事業名	13	議会、審議会、市職員など、市政(政治・行政分野)への女性の参画推進	担当課	消防総務課	
主な具体的事業	女性消防職員の経験・適性を生かした職域の拡大				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> ホームページや公式動画などで情報発信を行うことにより、女性が活躍できる職場であることをPRした。 また、令和2年度から初めて救助隊に女性職員を配置し、職域拡大を図った。			> ホームページや公式動画などで女性が活躍できる職場であることをPRした。採用試験時、女性の学生に本市消防局を志望した理由を尋ねたところ、「ホームページ等を見て女性が活躍できると思ったから」という回答があったため、一定程度の効果があったものと考えている。また、令和3年度から女性として初めて管理職に登用し、さらなる職域拡大を図った。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 消防局内のあらゆる職域に、これまでの経験・適性を生かした女性職員の配置を行っており、評価を「A」とする。 > 女性初の管理職も登用されたことから、今後はロールモデルとして浸透させていきたい。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	39
事業コード 事業名	13	議会、審議会、市職員など、市政(政治・行政分野)への女性の参画推進	担当課	議会事務局総務課	
主な具体的事業	女性議員が活動しやすい環境づくりと市政への関心を高めるための意識啓発の促進				
実施方式	直接実施				
変更事項	「藤沢市議会会議規則」及び「藤沢市議会委員会条例」の一部改正				
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>>「藤沢市議会会議規則」及び「藤沢市議会委員会条例」について、議員提案により、多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図るため、規則及び条例の一部をそれぞれ改正を行った。</p> <p>【規則及び条例の改正内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席事由を「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由」と規定した。 ・出産に伴う産前・産後の欠席機関の範囲を規定する。 <p>【施行日】令和3年3月26日</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>「藤沢市議会会議規則」及び「藤沢市議会委員会条例」を一部改正することにより、各議員の状況に理解を得ることができ、議員による休暇取得のハードルを下げる等の効果が期待されるため、評価を「B」とする。今後は、申し出しやすい雰囲気づくりにも取り組んでいきたい。</p>	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	40
事業コード 事業名	13	議会、審議会、市職員など、市政(政治・行政分野)への女性の参画推進	担当課	選挙管理委員会事務局	
主な具体的事業	市政への関心を高めるための若年層への意識啓発の促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>>若年層への意識啓発促進のため模擬投票などで市政への関心を高めている。具体的には市内の小中学校(令和3年度実施校数15校)に出向き講義を行い、選挙の話や投票の体験をさせ、選挙への関心を高めている。また、講義の中で政治分野における男女共同参画の推進に関する法律ができたことを説明している。</p>	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>今後も引き続き市内の学校に出向き、児童に対して意識啓発を促進していきたい。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	41
事業コード 事業名	14	企業・団体などにおける女性登用の促進	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	企業・団体等に向けた女性登用についての意識啓発及び情報提供の促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> 労働問題懇話会に参加し、女性の活躍推進について説明を行い、関係者への周知を図った。	
目標に対する評価				C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 企業・団体等に向けた啓発や情報提供が不十分だったことから、評価を「C」とする。 > 今後は、ホームページの活用等を通じて、啓発を進めていく。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	42
事業コード 事業名	14	企業・団体などにおける女性登用の促進	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	広報等さまざまな媒体による市内企業・団体等に向けた情報提供・意識啓発の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> 広報ふじさわ3月10日号にて「ワーク・ライフ・バランス」に関する特集記事を掲載。 > 勤労ふじさわ7月号に女性活躍推進法の改正に伴う支援策についての記事を掲載。(約1,600部発行)	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 広報ふじさわ及び勤労ふじさわにて、市内企業に向けて情報を発信することができ、広く周知が図られたため、評価は「B」とする。 > 今後も引き続き情報提供及び意識啓発を実施する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	43
事業コード 事業名	15	女性のエンパワーメントのための学習の充実	担当課	生涯学習総務課・公民館/市民自治推進課	
主な具体的事業	女性を対象にした学習機会の提供				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 女性対象事業を3公民館で3事業実施した。 ・参加者: 延べ53人			> 女性対象事業を2公民館で2事業実施した。 ・参加者: 延べ63人 【実施公民館及びテーマ、参加人数】 ・長後「女性セミナー～心もからだも美しく～」53人 ・湘南台「はじめてのクラシックバレエ」10人	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 女性を対象とした事業を実施し、地域参加のきっかけを作ることができたため評価を「A」とする。今後も女性の社会・地域への参画を促進する事業を実施していく。 > 女性の活躍につながる学習機会の創出に向けて、地域団体等へ情報提供を行っていきたい。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	44
事業コード 事業名	16	男女共同参画ネットワーク協力員による事業展開	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	男女共同参画ネットワーク協力員への研修				
実施方式	直接実施				
変更事項	協力員の名称を、「ジェンダー平等ネットワーク協力員」に変更する。				
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 13地区から3名ずつ選出された男女共同参画ネットワーク協力員に対して、書面での男女共同参画に関する研修を実施した。			> 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見合わせた。	
目標に対する評価				D 目標となる事業が実施できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 新型コロナウイルス感染症の影響により、研修を実施することができなかったため、評価を「D」とする。 > ジェンダー平等・男女共同参画に関する理解を深めてもらうため、ネットワーク協力員を対象とした研修を実施する	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進		通番	45
事業コード 事業名	16	男女共同参画ネットワーク協力員による事業展開	担当課	人権男女共同平和国際課
主な具体的事業	男女共同参画ネットワーク協力員と連携した啓発活動			
実施方式	直接実施			
変更事項	協力員の名称を、「ジェンダー平等ネットワーク協力員」に変更する。			
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	>新型コロナウイルスの影響により中止となった。		>新型コロナウイルスの影響により中止となった。	
目標に対する評価			D 目標となる事業が実施できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組			>新型コロナウイルスの影響により、事業が中止となったことから、評価を「D」とする。 >各地域においてネットワーク協力員と協力し、ポスター展などを実施することを検討する。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進		通番	46
事業コード 事業名	17	女性のキャリア形成支援	担当課	産業労働課
主な具体的事業	女性向けセミナーの開催			
実施方式	委託・指定管理			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	>就労支援及び資格取得講座を実施し、女性の資格・技能取得を支援した。 ○就労支援講座 ・一般向け 2回 14人 ・女性向け 2回 18人 ・障がい者向け 2回 8人 ・中高年齢者向け 2回 22人 ○資格取得講座 ・宅地建物取引士 15人 ・簿記検定3級 2回 30人 ・3級ファイナンシャル・プランニング検定 15人 ・ITパスポート 15人 ・医療事務(医科)能力検定 15人		>就労支援及び資格取得講座を実施し、女性の資格・技能取得を支援した。 ○就労支援講座 ・一般向け 2回 11人 ・女性向け 2回 29人 ・障がい者向け 2回 17人 ・中高年齢者向け 2回 14人 ○資格取得講座 ・宅地建物取引士 15人 ・簿記検定3級 2回 30人 ・3級ファイナンシャル・プランニング検定 15人 ・ITパスポート 15人 ・医療事務(医科)能力検定 15人	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			>複数の講座を実施することにより、多くの女性のキャリア形成支援が図られたため、評価を「B」とする。 >引き続き、就労状態が不安定な就職氷河期世代や、中高年齢者・女性などに対する支援を充実させる。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	47
事業コード 事業名	17	女性のキャリア形成支援	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	キャリアカウンセリングの実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>個人に対する就職や転職など、キャリア形成を支援するキャリアカウンセリング「働き方相談室」を実施した。 毎週水曜日、木曜日、日曜日 午前9時30分～午後5時30分 1人1回 50分の個別相談 相談件数 281件	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>個別相談件数からも多くの需要があり、個別対応することでそれぞれのキャリア形成支援が図られたため、評価は「B」とする。 >引き続き、仕事や就活、転職などに悩みを抱えた方の相談場所として、国家資格をもったキャリアコンサルタントが一人ひとりの働き方についてサポートを行う。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	48
事業コード 事業名	17	女性のキャリア形成支援	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	資格取得講座の実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>就労支援及び資格取得講座を実施し、女性の資格・技能取得を支援した。 ○就労支援講座 ・一般向け 2回 14人、女性向け 2回 18人、障がい者向け 2回 8人、中高年齢者向け 2回 22人 ○資格取得講座 ・宅地建物取引士 15人、簿記検定3級 2回 30人、3級ファイナンシャル・プランニング検定 15人、ITパスポート 15人、医療事務(医科)能力検定 15人			>就労支援及び資格取得講座を実施し、女性の資格・技能取得を支援した。 ○就労支援講座 ・一般向け 2回 11人 ・女性向け 2回 29人 ・障がい者向け 2回 17人 ・中高年齢者向け 2回 14人 ○資格取得講座 ・宅地建物取引士 15人 ・簿記検定3級 2回 30人 ・3級ファイナンシャル・プランニング検定 15人 ・ITパスポート 15人 ・医療事務(医科)能力検定 15人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>複数の講座を実施することにより、多くの女性のキャリア形成支援が図られたため、評価は「B」とする。 >引き続き、就労状態が不安定な就職氷河期世代や、中高年齢者・女性などに対する支援を充実させる。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	49
事業コード 事業名	17	女性のキャリア形成支援	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	コミュニティビジネス起業セミナーや事業者見学会などの開催支援				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>コミュニティビジネスオンラインセミナー ・前編 9月25日配信 視聴数316回 ・後編 10月1日配信 視聴数146回 >事例発表会・ネットワーク交流会(3月11日) 「女性の働き方応援フェスタin湘南」と題したイベントを開催した。各種専門家によるビジネスに関する悩み相談や、女性起業家による働き方見本市(ブース展示)。 ・来場者:60人(男性6人、女性54人)			>コミュニティビジネスセミナー(男性37人、女性23人) ・9月26日 23人 ・11月30日 7人 ・1月30日 30人 >事例発表会・ネットワーク交流会(3月8日) 「女性の働き方応援フェスタin湘南」と題したイベントを開催した。各種専門家によるビジネスに関する悩み相談や、女性起業家による働き方見本市(ブース展示)。 ・来場者:64人(男性2人、女性62人)	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>コミュニティビジネスセミナーや事例発表会・ネットワーク交流会により目的を概ね達成したため、評価は「B」とする。 >引き続きセミナーや事例発表会の開催により、コミュニティビジネス事業者等の支援を行う。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	50
事業コード 事業名	17	女性のキャリア形成支援	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	コミュニティビジネス創業者や創業希望者に対する相談業務や専門家による事業診断の実施				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>コミュニティビジネス経営相談 ・窓口・出張:8件(男性7件、女性1件) >情報提供 「湘南ふじさわCBネットワーク」のホームページ、フェイスブック等を活用し、事業に関する情報提供やコミュニティビジネス事業者の事業紹介等を行った。			>コミュニティビジネス経営相談 ・窓口・出張:28件(男性13件、女性15件) >情報提供 「湘南ふじさわCBネットワーク」のホームページ、フェイスブック等を活用し、事業に関する情報提供やコミュニティビジネス事業者の事業紹介等を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>経営相談や湘南ふじさわCBネットワークによる情報提供を実施し、コミュニティビジネス創業者や創業希望者の支援を行ったため、評価は「B」とする。 >引き続きコミュニティビジネス経営相談や情報提供を行う。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	51
事業コード 事業名	17	女性のキャリア形成支援	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	事業所開設時の事業所にかかる貸借料及び改装工事費の助成				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>コミュニティビジネス事業者に対する貸借料等支援 ・賃料補助 :0件 ・改装工事費補助:0件			>コミュニティビジネス事業者に対する貸借料等支援 ・賃料補助 :0件 ・改装工事費補助:0件	
目標に対する評価				D 目標となる事業が実施できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>申請がなく支援実績がなかったことから、評価は「D」とする。 >コミュニティビジネス事業者の事業所開設時の支援のため継続する。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	52
事業コード 事業名	18	女性の雇用・就労機会の促進	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	湘南合同就職面接会の開催				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>湘南合同就職面接会を実施し、女性の就労支援に努めた。 ・実施日 1月29日 ・参加者数 46人 ・採用決定者 4人			>湘南合同就職面接会を実施し、女性の就労支援に努めた。 ・実施日 1月21日 ・参加者数 77人 ・採用決定者 12人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>参加者数、採用決定者数ともに前年度と比較すると増加したことから、就労支援が図られたため、評価は「B」とする。引き続き、他市と連携し効果的な手法を検討する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	53
事業コード 事業名	19	女性の活躍推進に関する協議の場の設置	担当課	産業労働課/人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	労働問題懇話会の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>労働・雇用問題に関して幅広く検証・協議し、勤労者の生活の安定、福祉の向上、地元企業の活性化などを図るため、労働問題懇話会を開催し、労働側委員、使用者側委員、労働関係機関、行政側委員による労働行政の一層の推進に向けた協議を行った。 ○労働問題懇話会 ・実施日 第1回:10月6日、第2回:3月(書面開催)			>労働・雇用問題に関して幅広く検証協議し、勤労者の生活の安定、福祉の向上、地元企業の活性化などを図るため、労働問題懇話会を開催し、労働側委員、使用者側委員、労働関係機関、行政側委員による労働行政の一層の推進に向けた協議を行った。 実施日:8月18日	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>令和3年度は労働問題懇話会を1回実施し、労働・雇用問題について協議を行うことにより知識を深められたことから、評価は「B」とする。今後も女性活躍推進に関する協議の場として協議を実施する。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	54
事業コード 事業名	20	職場におけるハラスメント等防止に向けた労働関連法規の遵守についての情報提供	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	職場におけるハラスメント防止に向けた周知・啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>「勤労ふじさわ」を年12回発行し、セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントに対する事業主・労働者への意識向上を図った。			>勤労ふじさわを発行し、様々なハラスメント防止に向けて事業主・労働者への意識向上を図った。 6月号・7月号・11月号 (各月約1,900部発行)	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>勤労ふじさわにて職場におけるハラスメント防止に向けて事業主や労働者へ周知が図られたため、評価は「B」とする。今後も継続的に周知・啓発を実施する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	55
事業コード 事業名	21	女性の労働相談体制の充実	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	一般労働相談の実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞社会保険労務士による労働相談を行った。(火:市民相談情報課、土:Fプレイス) なお、毎月第2土曜日は女性の社会保険労務士が相談に対応し、女性の労働相談体制の充実を図った。相談人数 延べ226人、相談件数 延べ556件。 ＞新型コロナウイルス感染症拡大による雇用環境の悪化等の影響を受けている方を対象とした、社会保険労務士による労働相談を行った。 ・実施日 5月(3日間)、6月(4日間)、7月(4日間)、10月(6日間)、11月(3日間) ・相談人数 65人</p>			<p>社会保険労務士による労働相談を行った(火:市民相談情報課、土:Fプレイス) なお、毎月第2土曜日は女性の社会保険労務士が相談に対応し、女性の労働相談体制の充実を図った。 相談人数延べ 195人</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞女性ならではの相談などについて、女性の社会保険労務士が労働相談を受けることにより、女性相談者の相談内容の充実が図られたため、評価は「B」とする。引き続き相談体制を確保していく。</p>	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	56
事業コード 事業名	21	女性の労働相談体制の充実	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	街頭労働相談会の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。</p>			<p>かながわ労働センター湘南支所及び社会保険労務士会と街頭労働相談を実施した。 実施日:5月27日・10月29日(辻堂駅)、12月3日(湘南台駅) 相談人数 193人</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となったが、令和3年度は例年通り3回実施できたことにより、多くの相談者の問題解決に繋がったことから、評価は「B」とする。今後も引き続き実施する。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	57
事業コード 事業名	22	国・県などの労働関係機関との連携	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	かながわ労働センター湘南支所との連携				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>労働問題懇話会を開催し、労働側委員、使用者側委員、労働関係機関、行政側委員による労働行政の一層の推進に向けた協議を行った。</p> <p>・実施日 第1回:10月6日、第2回:3月(書面開催)</p> <p>>かながわ労働センター湘南支所との共催で、労務管理セミナーを企業経営者及び人事労務担当者を対象に実施した。</p> <p>・実施日:11月26日「外国人労働者の現状～新型コロナウイルスが外国人労働市場に与える影響～」</p> <p>12月10日「ここがポイント! 同一労働同一賃金の実務解説」</p> <p>・参加者 11月26日:12人、12月10日:23人</p>			<p>>労働・雇用問題に関して幅広く検証協議し、勤労者の生活の安定、福祉の向上、地元企業の活性化などを図るため、労働問題懇話会を開催し、労働側委員、使用者側委員、労働関係機関、行政側委員による労働行政の一層の推進に向けた協議を行った。</p> <p>実施日:8月18日</p> <p>>かながわ労働センター湘南支所との共催で、企業向け労務管理セミナーを実施した。</p> <p>実施日:12月1日第1部「男性の育児休業取得促進について～今企業が知っておきたいこと～」</p> <p>12月1日第2部「パワーハラスメントの防止義務化について～企業に求められる実務対応～」</p> <p>参加者 第1部 23人 第2部 23人</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>かながわ労働センター湘南支所と連携し、労働問題懇話会や労務管理セミナーを実施したことにより、より知識を深められたため、評価は「B」とする。</p> <p>>今後も連携し、労働・雇用問題等の協議や企業向けのセミナーを実施する。</p>	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	58
事業コード 事業名	22	国・県などの労働関係機関との連携	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	湘南地域雇用対策推進協議会に参加				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。</p>			<p>>湘南地域雇用対策推進協議会は、藤沢・平塚・小田原・松田公共職業安定所管内における地方公共団体、経済団体等と公共職業安定所との雇用問題に関する相互の連携を図るため、例年開催されている。</p> <p>・開催日 5月28日</p> <p>・出席団体 地方公共団体:8 公共職業安定所:4 経済団体等:6</p> <p>・議題として最近の雇用失業情勢、神奈川労働局の行政運営方針、各機関の雇用対策について報告が行われ、出席者間で意見交換を実施、情報の共有を行った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>近隣の管内における最近の雇用情勢や神奈川労働局の方針などを確認することができたことから、評価は「B」とする。</p> <p>>労働関係機関において広く情報共有を行うことは、本市における施策の実施においても参考になることから、今後も継続して参加する。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	59
事業コード 事業名	23	NPOなど市民活動への支援、情報提供と連携	担当課	市民自治推進課	
主な具体的事業	市民活動推進委員会の運営				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月、5月の委員会は中止となったが、市民活動推進計画の進捗管理や、ミライカナル活動サポート事業の審査選考等を計7回開催した。(6月以降はウェブ会議に変更)			>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、必ずしも対面で開催する必要がない回については、積極的にWeb会議システムを活用して開催し、年度当初予定していた年10回の委員会は予定通り開催することができた。 (年10回開催・内7回はWeb会議による開催)	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>引き続き、Web会議システムを活用し、多様な手法による委員会参画を進めるとともに、次年度は新たな委員の任期が始まることから、女性登用率の向上につながる取り組みを進める。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	60
事業コード 事業名	23	NPOなど市民活動への支援、情報提供と連携	担当課	市民自治推進課	
主な具体的事業	市民活動支援施設の管理運営				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、施設は休館となったが、電話での相談対応(令和2年度446件)、印刷代行を実施した。また、本施設主催の講座については、オンラインに切り替えを行い、市民活動に携わる方々の側面支援を継続した。			>新型コロナウイルス感染症拡大の影響は引き続きあるが、休館とまではせず、会議室の利用制限や開館時間の短縮等に対応した。電話での相談対応やメール等での対応も引き続き実施した。また、講座についてはオンラインを引き続き取り入れ、対面とオンラインのハイブリッド型などで展開した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、市民活動団体の相談は受け付けており、市民活動が停滞しないよう対応した。 コロナ禍でも活動できるように支援を引き続き行う。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	61
事業コード 事業名	23	NPOなど市民活動への支援、情報提供と連携	担当課	市民自治推進課	
主な具体的事業	市民活動団体を支援する制度の実施(ミライカナエル活動サポート事業)				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>令和2年度より、新たな市民活動提案制度である「ミライカナエル活動サポート事業(スタート支援コース・ステップアップ支援コース)」として事業を再スタートした。採択された5つの事業に対して補助を行ったほか、相談会や伴走支援講座を実施した。</p> <p>○採択団体 【スタート支援コース】(事業名:団体名) ・子供ミュージカル上演の為にワークショップ:SASP(Sustainable Arts & Sports Project) ・リモートとメディアで繋ぐ「障がいのアナ」:障がいのアナ 【ステップアップ支援コース】(事業名:団体名) ・ホームスクーリングタウン事業:ホームスクーリングで輝くみらいタウンプロジェクト ・湘南学園における出食、弁当配食、教育支援:特定非営利活動法人湘南食育ラボ ・市民活動オンライン化～WS・ライブ配信:湘南市民ワークショップ</p>			<p>>市民活動団体の提案事業を支援する「ミライカナエル活動サポート事業」により、審査選考を経て採択された10団体に対し、補助金交付や伴走支援等、団体の成長段階に応じたサポートを行った。</p> <p>>補助金・負担金の交付 【スタート支援コース】4団体 【ステップアップ支援コース】3団体 【協働コース】3団体(行政との協働2団体・行政以外との協働1団体) >事業実施へのサポート ・スタート支援コース・ステップアップ支援コース対象団体に対し、伴走支援講座及び相談会を実施。 ・協働コース対象団体に対し、協働コーディネーターによる事業調整等を実施。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>団体の成長段階に応じた側面的支援の結果、全ての採択事業の実施が完了したため、評価を「B」とする。</p> <p>>令和4年度も広く申請団体を募集し、審査選考を経て、採択団体に対する支援を行う。</p>	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	62
事業コード 事業名	23	NPOなど市民活動への支援、情報提供と連携	担当課	市民自治推進課	
主な具体的事業	NPO法人の設立認証事務				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>市内のみに事務所を有する特定非営利活動法人数は、令和3年3月31日時点で200法人となった。また、令和2年度の認証事務等の件数は、設立の認証6件、役員の変更届91件、定款の変更の認証11件、定款の変更の届出2件、解散の届出3件であった。</p>			<p>>市内のみに事務所を有する特定非営利活動法人数は、令和4年3月31日時点で202法人となった。</p> <p>>令和3年度の認証事務等の件数は、設立の認証4件、役員の変更届99件、定款の変更の認証5件、定款の変更の届出12件、解散の届出4件であった。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>コロナ禍においても、NPO法人の設立や新規事業の展開のための定款変更に係る相談があり、認証手続き業務を行った。</p> <p>>まちづくりの担い手であるNPO法人との協働の推進のため、令和4年度も引き続き、NPO法人に係る設立認証事務を実施する。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	63
事業コード 事業名	24	ジェンダー平等についての情報提供、学習機会・ 学習相談の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙の発行やホームページ等での情報提供				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>市民編集員による企画・編集により、年4回(6月、9月、1月、3月)各5,000部を発行した。 庁内各課(市民センター、公民館、図書館、Fプレイス含む)・保育園・幼稚園・市民の家・市内金融機関・郵便局・商工会議所等に配布するとともに、HPにて最新号及びバックナンバーを掲載した。			>市民編集員による企画・編集により、男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」を年2回(6月、1月)発行した。 >市ホームページでの最新号及びバックナンバーを掲載を行うとともに、市公式SNSアカウント(Facebook、LINE)を通して「周知を図った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>ジェンダー平等・男女共同参画にかかる情報紙の発行及び周知について取り組んだため、評価を「B」とする。 >今後も、SNS等を活用し、ジェンダー平等・男女共同参画に関する情報提供に努める。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	64
事業コード 事業名	24	ジェンダー平等についての情報提供、学習機会・ 学習相談の充実	担当課	生涯学習総務課・公民館	
主な具体的事業	生涯学習に関する情報の提供				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>広報・インターネット等各種媒体を使用し、公民館事業に関する情報について市民周知を図った。 また、公民館登録サークル情報について、各公民館窓口及び藤沢市ホームページで公開するなどして情報提供を図った。			>広報・インターネット等各種媒体を使用し、公民館事業や生涯学習活動推進室に関する情報について市民周知を図った。 また、公民館登録サークル情報について、各公民館窓口及び藤沢市ホームページで公開するなどして情報提供を図った。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>多様な媒体を活用し、市民周知を行ったため、評価を「A」とする。今後は、より分かりやすい情報発信をするためにホームページの掲載方法の改善などを行っていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	65
事業コード 事業名	24	ジェンダー平等についての情報提供、学習機会・ 学習相談の充実	担当課	生涯学習総務課・公民館	
主な具体的事業	学習相談の充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>人材、団体、事業、施設、資格等様々な情報の提供や、学習方法の助言や講座、講師、サークル、施設案内等について男女共同参画を含めた市民の様々な学習相談に対応した。 ・学習相談件数:238件			>生涯学習活動推進室にて人材、団体、事業、施設、資格等さまざまな情報の提供や、学習方法の助言や講座、講師、サークル、施設案内等についてジェンダー平等・男女共同参画を含めた市民の様々な学習相談に対応した。 ・学習相談件数:134件	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>学習相談の件数が減少傾向となっていることから、相談内容などを検証し、今後も市民がより利用しやすい相談窓口となるよう改善を行う。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	66
事業コード 事業名	24	ジェンダー平等についての情報提供、学習機会・ 学習相談の充実	担当課	生涯学習総務課・公民館	
主な具体的事業	藤沢市生涯学習活動推進室(フラッポ)を通じた支援				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>市民が「いつでも、どこでも、だれでも」学びたいことを学び、その成果を一人ひとりの暮らしや地域生活の場面に生かすことで、人生をより豊かなものにすることを目的として生涯学習活動推進室を運営した。 事業数:9事業/参加者数:587人 学習相談件数:134件 サロン利用者数:延べ427人	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>利用者は安定的に推移しており、今後も多様な学びの機会を提供する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	67
事業コード 事業名	25	人材登録制度の充実	担当課	生涯学習総務課	
主な具体的事業	生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」の運営				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度		令和3年度		
取組実績	<p>➢生涯学習情報の積極的な提供を行うことで、市民の学習活動の支援と、学習成果の社会還元を推進した。</p> <p>生涯学習大学で人材バンク登録講師を起用した「市民講師企画講座」「学び展示会@フラッポ」を開催し、人材バンク登録者の積極的な活用を推進した。</p> <p>・人材バンク登録数:(個人)262人、(団体)46団体</p> <p>・人材バンク利用件数:17件</p>		<p>➢生涯学習大学で人材バンク登録講師を起用した「市民講師養成講座」「ふらっとフラッポ」を開催し、人材バンク登録者の積極的な活用を推進した。</p> <p>・人材バンク登録数:(個人)252人、(団体)47団体</p> <p>・人材バンク利用件数:48件</p>		
目標に対する評価			A 目標を達成した		
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>➢さまざまな知識やスキルを持った市民講師が登録し、積極的に活用されたため、評価を「A」とする。今後も多様な学びの機会を提供する。</p>		

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	68
事業コード 事業名	25	人材登録制度の充実	担当課	生涯学習総務課	
主な具体的事業	藤沢市生涯学習活動推進室(フラッポ)を通じた支援				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度		令和3年度		
取組実績	—		<p>➢生涯学習活動推進室の事業として、生涯学習大学で人材バンク登録講師を起用した「市民講師養成講座」「ふらっとフラッポ」を開催し、人材バンク登録者の積極的な活用を推進した。</p> <p>・人材バンク登録数:(個人)252人、(団体)47団体</p> <p>・人材バンク利用件数:48件</p>		
目標に対する評価			A 目標を達成した		
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>➢さまざまな知識やスキルを持った市民講師が登録し、積極的に活用されたため、評価を「A」とする。今後も多様な学びの機会を提供する。</p>		

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	69
事業コード 事業名	26	地域コミュニティにおける世代間交流の促進	担当課	市民自治推進課	
主な具体的事業	郷土づくり推進会議への多世代参画の促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>≧令和4年度郷土づくり推進会議公募委員改選にあたり、藤沢市公式LINEセグメント配信やチームFUJISAWA2020ウェブサイトでの情報発信などの新たな広報手段を講じるとともに、電子申請による応募受付を開始し、既存手段では情報が届かない又は応募がしにくいと想定される新規層の取り込みを図った。結果、令和2年度改選時は26人だった59歳以下の年齢層の応募者が32人に増加した。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>≧令和6年度改選に向けて更なる若年層の取り込みを図るべく、令和4年度新たに着手した取り組みについてアンケートを実施し、次回改選の参考とする。</p>	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	70
事業コード 事業名	26	地域コミュニティにおける世代間交流の促進	担当課	生涯学習総務課・公民館	
主な具体的事業	地域活動を促進するための講座の開催や世代間交流、協働活動の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>≧地域活動の促進を目的に、公民館活動へ参加しにくい外国籍市民・障がい者・勤労者・成人男性を対象に5公民館で6事業実施した。</p> <p>・参加者：延べ352人 【実施公民館及びテーマ、参加人数】 ・藤沢「身障者俳句講座」96人、「身障者短歌講座」48人 ・六会、長後、湘南台「サウンドテーブルテニス開放事業」135人 ・大庭「男性学級『湘南大庭メンズクラブ』」73人</p>			<p>≧地域活動の促進を目的に、公民館活動へ参加しにくい外国籍市民・障がい者・勤労者・成人男性を対象に6公民館で6事業実施した。</p> <p>・参加者：延べ1,037人 【実施公民館及びテーマ、参加人数】 ・藤沢「日本語教室」460人、「身障者短歌講座」97人 ・六会、長後「サウンドテーブルテニス開放事業」171人 ・片瀬「オレの挑戦！～Katase 男(DAN)dismへの道～」9人 ・湘南大庭「男性学級『湘南大庭メンズクラブ』」146人 ・湘南台「外国人の日本語スピーチ大会in湘南台」154人</p>	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>≧さまざまな世代間交流の機会を作ることができたため、評価を「A」とする。今後も地域活動や世代間交流が促進されるように事業を実施していく。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	71
事業コード 事業名	27	学校・家庭・地域の連携強化、PTA活動への支援	担当課	教育総務課	
主な具体的事業	中学校区を基本とした15の地域協力者会議の開催等を通じた地域課題の協議				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞市が「学校・家庭・地域連携推進会議会長会」に業務委託し、各地域協力者会議(15会議)が事業の実施母体となって、各会議において新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、コロナ禍における取組(オンラインの活用等)について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催:68回(参加者:延べ1,053人) ・事業数:76事業(参加者:延べ12,619人) 			<p>＞市が「学校・家庭・地域連携推進会議会長会」に業務委託し、各地域協力者会議(15会議)が事業の実施母体となって、各会議においてwithコロナにおける取組(オンラインの活用等)について協議した。</p> <p>＞学校運営協議会と地域学校協働本部との連携、今後の効果的な進め方について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催:68回(参加者:延べ1,026人) ・事業数:103事業(参加者:延べ9,190人) 	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、書面会議やオンライン会議も活用しながら地域課題の共有・協議ができたため、評価は「B」とする。</p> <p>＞今後も各地域の特性に応じた協議が必要であり、地域課題の共有、解決に向けた方策を検討する。</p>	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	72
事業コード 事業名	27	学校・家庭・地域の連携強化、PTA活動への支援	担当課	教育総務課	
主な具体的事業	各地区の特徴を生かした事業の実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞各地域協力者会議(15会議)において新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校間交流(学園都市むつあい協力者会議) ・善行あそび塾(善行三者ふれあいネットワーク) ・五行歌でふれあい(明治地区青少年ふれあいネットワーク) ・卒業生向けマスク制作(片瀬地区青少年支援フォーラム) ・郷土の散策(秋葉台サンシャイン) ほか 			<p>＞各地域協力者会議(15会議)において新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MINTOMOにほんごきょうしつ湘南台(湘南台地域協力者会議) ・家庭科ミシン補助支援(片瀬地区青少年支援フォーラム) ・五行歌でふれあい(明治地区青少年ふれあいネットワーク) ・子どもたちから見た「地域」写真・絵画展(湘南大庭地区子どもサポート会議) ・善行あそび塾(善行三者ふれあいネットワーク) ・ふれあい音楽CDの作成・配布(むらおか・子ども相互支援会議) ほか 	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、各地区の工夫により事業実施ができたため、評価は「B」とする。</p> <p>＞今後も各地区の特徴を生かした事業の実施が必要であり、withコロナ、afterコロナを見据えた事業実施を検討する。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	73
事業コード 事業名	27	学校・家庭・地域の連携強化、PTA活動への支援	担当課	教育総務課	
主な具体的事業	PTA育成事業の充実				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>「藤沢の子どもたちのためにつながる会」への活動支援とともに、同会と連携し、PTA等組織活動に資する取組を展開した。また「つながる会」が主体的に、会のホームページを介してPTA活動に関する相談受付、対応を実施したり、PTA等組織活動にかかるアンケート調査などを実施した。</p>			<p>>「藤沢の子どもたちのためにつながる会」への活動支援とともに、同会と連携し、PTA等組織活動に資する取組を展開した。 >全校の保護者と教職員を対象に、オンライン会議システムを活用した交流会を実施した。 >学校における保護者の活動を対象に、WEBフォームを活用したアンケート調査を実施し、ホームページへの掲載等を行った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、PTA等組織の育成につながる事業が実施できたため、評価は「B」とする。 >PTA等組織の役員は毎年度変更になることも多いことから、今後も継続した事業実施をする中で、有効な実施手法について検討する。</p>	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	74
事業コード 事業名	27	学校・家庭・地域の連携強化、PTA活動への支援	担当課	教育総務課	
主な具体的事業	PTA役員研修会の開催				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>市内PTA等組織に対して、湘南三浦教育事務所が主催する「人権教育研修会」や「湘三地区PTA人権セミナー」など様々な研修会等を周知し、人権・男女共同参画意識の啓発を図ることに努めた。</p>			<p>>市内PTA等組織に対して、湘南三浦教育事務所が主催する「人権教育研修会」や「湘三地区PTA人権セミナー」など様々な研修会等を周知し、人権・男女共同参画意識の啓発を図ることに努めた。 >藤沢市・藤沢市教育委員会・藤沢の子どもたちのためにつながる会の共催による人権啓発オンライン講演会を実施した。テーマ「みんなが自分らしく輝くために～子どもたちと多様な性～」。申込者数88人、再生回数169回であった。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>様々な手法を用いて人権・ジェンダー平等意識の啓発活動が実施できたため、評価は「B」とする。 >PTA等組織の役員は毎年度変更になることも多いことから、今後も継続した事業実施をする中で、有効な実施手法について検討する。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	75
事業コード 事業名	28	保育つき事業の促進と保育者活動への支援	担当課	生涯学習総務課・公民館	
主な具体的事業	各種事業開催における保育つき事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>市民を対象とした講演会や説明会、講座等を実施した課19課中、保育付き事業を実施した課は8課であり、42.1%であった。			>保育つき事業を13公民館中10館で実施した。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>子育て世代が各種事業に参加できるように、今後も保育つき事業を実施していく。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	76
事業コード 事業名	28	保育つき事業の促進と保育者活動への支援	担当課	生涯学習総務課・公民館	
主な具体的事業	保育ボランティア研修会の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>1公民館で、その公民館の保育ボランティアを対象に、交流会・研修会を行った。 ・参加者:2人 【実施公民館及びテーマ、参加人数】 ・明治「保育ボランティア育成事業」2人			>公民館所属の保育ボランティアを対象に、2公民館で交流会・研修会を行った。 ・参加者:延べ28人 【実施公民館及びテーマ、参加人数】 ・明治「保育ボランティア育成事業」12人 ・辻堂「保育ボランティア研修会」16人	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>前年に比べ事業数・参加者数は増加したため、評価を「A」とする。保育つき事業の促進と保育者活動の支援のため、今後も事業を実施していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	77
事業コード 事業名	28	保育つき事業の促進と保育者活動への支援	担当課	生涯学習総務課・公民館	
主な具体的事業	保育者セミナーの開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞保育に係る資質の維持・向上を図るため、公民館に関わる保育ボランティア等を対象に、保育者セミナーを実施した。(新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、動画配信で実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配信期間:1月8日～2月8日 ・受講者:32人 			<p>＞保育に係る資質の維持・向上を図るため、公民館に関わる保育ボランティア等を対象に、保育者セミナーを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日:2月22日 ・受講者:15人 	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞公民館で活動する保育ボランティアが安定して参加している。保育つき事業の促進と保育者活動の支援のため、今後も事業を実施していく。</p>	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	78
事業コード 事業名	29	自主防災組織、消防団活動の充実強化に向けたジェンダー平等の促進	担当課	防災政策課	
主な具体的事業	地域防災計画の策定及び調整へのジェンダー平等意識の反映				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>＞藤沢市地域防災計画においては、避難対策に「男女双方の視点、ジェンダー平等に配慮した生活環境の確保」を掲げ、ジェンダー平等意識が反映されている。</p> <p>また、防災備蓄資機材整備計画に生理用品を盛り込み、令和3年度末までの整備により、備蓄率72.3%となっている。</p>	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞令和4年度末までに生理用品の備蓄率100%を達成できるよう整備を進める。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	79
事業コード 事業名	29	自主防災組織、消防団活動の充実強化に向けたジェンダー平等の促進	担当課	防災政策課	
主な具体的事業	藤沢市防災会議における女性の積極的登用				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>＞藤沢市防災会議委員を選任する各団体に対し、ジェンダー平等の意義を示し、理解協力を求めたが、男女比率の改善には至らず、女性登用比率は5.0%となっている。</p>	
目標に対する評価				C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞藤沢市防災会議委員は、各団体の役職者が選任されている。選出団体の変更や、役職指定の緩和は、会議運営の性質上困難なことから、今後についても粘り強くジェンダー平等を訴え、理解を得ていく。</p>	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	80
事業コード 事業名	29	自主防災組織、消防団活動の充実強化に向けたジェンダー平等の促進	担当課	危機管理課	
主な具体的事業	防災リーダー研修、指定避難所等での運営訓練等への女性の参加促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞4月から7月にかけての各地区説明会(R2は書面開催)等において、「防災対策には女性の視点が大切です！」のチラシを配布するとともに、ホームページへの掲載を行った。</p>			<p>＞4月から7月にかけての各地区説明会(R3は書面開催)等において、「防災対策には女性の視点が大切です！」のチラシを配布するとともに、ホームページへの掲載を行った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞防災リーダー研修は、2地区で実施し、参加者85名のうち23名が女性であり、参加促進が概ね達成できたと考え、評価を「B」とする。各地区説明会が書面開催でない場合には、説明会に出席して説明することで、運営訓練等への女性参加を促進していく。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	81
事業コード 事業名	29	自主防災組織、消防団活動の充実強化に向けたジェンダー平等の促進	担当課	危機管理課	
主な具体的事業	国民保護協議会等の委員への女性委員の登用促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>関係機関に対して、女性の積極的な登用について、説明を行った。また、協議会の場で参加各委員に対して周知を行うなど取組を進めた。委員数37名のうち女性委員は2名。	
目標に対する評価				C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>法律に基づく職務指定があるため、女性委員を増やすことが難しい状況ではあるが、引き続き、関係者に対して、ジェンダー平等・男女共同参画の意義を説明していく。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	82
事業コード 事業名	29	自主防災組織、消防団活動の充実強化に向けたジェンダー平等の促進	担当課	警防課	
主な具体的事業	女性団員が活動しやすい環境整備の促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>女性消防団員の制服に関する要望があったため、今後の改善に向けた検討を行った。			>女性起業家を応援するイベント「湘南ふじさわ HEART fes」に女性消防団員6人が参加し、消防団のPR活動を実施した。令和2年度に続き、継続して参加することができた。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>イベントに参加し、女性の活動をPRできたことで、新たな女性消防団員1人を確保することができた。直接市民と対話することで、思いが伝わった。コロナ禍での制限がある中でのイベントだったが、今後も積極的にPR活動を行っていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	83
事業コード 事業名	29	自主防災組織、消防団活動の充実強化に向けたジェンダー平等の促進	担当課	警防課	
主な具体的事業	研修への女性団員の参加促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>「湘南ふじさわファミリーフェスタ2020(女性起業家×湘南子育てライフ応援)」へ女性消防団員3人が参加し、女性消防団の活動をPRすることができた。			>現在、女性団員の制服については、日本消防協会の制服交付事業を活用し、貸与している状況。女性団員が増加することも踏まえ、制服の仕様検討を行い、貸与する検討を進めた。	
目標に対する評価				C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>今後、アンケート等により、要望事項の再確認を行い、有効と思われる仕様変更を実施できるよう引き続き検討していく。	

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	84
事業コード 事業名	30	ジェンダー平等に配慮した指定避難所等運営の促進	担当課	危機管理課	
主な具体的事業	ジェンダー平等を意識した指定避難所等運営の改善				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>「藤沢市避難施設運営マニュアル(令和元年3月改定)」に基づき、プライバシー保護や授乳時に使用できる個室 TENT を配布し、各指定避難所等で活用できるように整備した。 >指定避難所等の運営の意思決定の場に女性が関わることの重要性を啓発するチラシを作成し、ホームページに掲載するとともに、年度当初の地区説明会(書面開催)において資料の配布を行った。			>プライバシー保護や授乳時に使用できる個室 TENT を配布し、各指定避難所等で活用できるように整備した。	
目標に対する評価				C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>ジェンダー平等を意識した指定避難所等運営を他市等の事例など参考にして、ハード面やソフト面の両面から検討する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	2 あらゆる分野でのジェンダー平等の促進			通番	85
事業コード 事業名	30	ジェンダー平等に配慮した指定避難所等運営の促進	担当課	危機管理課	
主な具体的事業	女性やセクシュアルマイノリティへの対応を取り入れた避難施設マニュアルの配布				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>≧「藤沢市避難所運営マニュアル」は、窓口で配架しているほか、各指定避難所の避難所運営委員会において活用している。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>≧「藤沢市避難所運営マニュアル」への女性やセクシュアルマイノリティへの対応の具体的記述について、検討を行っていく。</p>	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	86
事業コード 事業名	31	長時間労働抑制・職場環境の改善等に向けた企業や関係機関との連携	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	関係機関との連携				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>≧労働・雇用問題に関して幅広く検証・協議し、勤労者の生活の安定、福祉の向上、地元企業の活性化などを図るため、労働問題懇話会を開催し、労働側委員、使用者側委員、労働関係機関、行政側委員による労働行政の一層の推進に向けた協議を行った。</p> <p>○労働問題懇話会 ・実施日 第1回:10月6日、第2回:3月(書面開催)</p>			<p>≧労働・雇用問題に関して幅広く検証協議し、勤労者の生活の安定、福祉の向上、地元企業の活性化などを図るため、労働問題懇話会を開催し、労働側委員、使用者側委員、労働関係機関、行政側委員による労働行政の一層の推進に向けた協議を行った。</p> <p>実施日:8月18日</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>≧令和3年度は労働問題懇話会を1回実施し、労働・雇用問題について協議を行うことにより知識を深められたため、評価はBとする。</p> <p>≧今後も関係機関と連携し、労働問題懇話会を開催する。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	87
事業コード 事業名	31	長時間労働抑制・職場環境の改善等に向けた企業や関係機関との連携	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	ふじさわワーク・ライフ・バランス推進会議の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>ワーク・ライフ・バランス推進会議を開催し、労働団体、経済団体、企業、学識経験者などが連携し、ワーク・ライフ・バランスの推進について議論を行った。 ・実施日 3月2日(書面会議)			>ワーク・ライフ・バランス推進会議を開催し、労働団体、経済団体、企業、学識経験者などが連携し、ワーク・ライフ・バランスの推進について議論を行った。 実施日:12月21日	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>令和3年度はワーク・ライフ・バランス推進会議を1回実施したことで、より一層の知識を深められることに繋がったため、評価は「B」とする。今後も関係機関と連携し、推進会議を開催する。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	88
事業コード 事業名	31	長時間労働抑制・職場環境の改善等に向けた企業や関係機関との連携	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	ワーク・ライフ・バランス推進に関する企業向け、市民向け事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>市民向けセミナー ・ワークライフバランスセミナー ・実施日 11月7日 ・参加者数 8人 >企業向けのテレワーク導入に関するパンフレット(800部)を作成し、庁内各課及び商工会議所への配架、市ホームページへの掲載を行った。			>企業向けセミナー 「今年4月からの法改正への対策セミナー～育児・介護休業法、パワハラ防止対策～」 実施日 3月10日 参加人数 13人 >企業向けのパンフレット「事業者の皆様へ 健康経営のすすめ 健康経営の取り組みを進めましょう！」を作成し、庁内各課及び商工会議所への配架、市ホームページへの掲載を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>企業等に向けセミナーの実施やパンフレットの作成を行い、広く周知が図られたため、評価は「B」とする。今後も引き続き事業を実施する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	89
事業コード 事業名	32	仕事と生活の両立についての意識啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙やホームページ等を活用した啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」夏号(125号)、冬号(127号)において、「コロナで見えた！それ、誰の負担？」を掲載し、共に生きるフォーラムふじさわの中で語られた、男性の育休等の取得の重要性について啓発を行った。			>男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」冬号(130号)において、「男が働かない、いいじゃないか！」を掲載し、仕事と生活の両立について紹介した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>オンライン講演会・情報紙を通して、仕事と生活の両立に関する周知が図られたので、評価を「B」とする。引き続き、ワーク・ライフ・バランスに係る啓発を関係課と協力して推進する。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	90
事業コード 事業名	32	仕事と生活の両立についての意識啓発	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	関係機関との連携				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>労働・雇用問題に関して幅広く検証・協議し、勤労者の生活の安定、福祉の向上、地元企業の活性化などを図るため、労働問題懇話会を開催し、労働側委員、使用者側委員、労働関係機関、行政側委員による労働行政の一層の推進に向けた協議を行った。 ○労働問題懇話会 ・実施日 第1回:10月6日、第2回:3月23日(書面開催)			>労働・雇用問題に関して幅広く検証協議し、勤労者の生活の安定、福祉の向上、地元企業の活性化などを図るため、労働問題懇話会を開催し、労働側委員、使用者側委員、労働関係機関、行政側委員による労働行政の一層の推進に向けた協議を行った。 実施日:8月18日	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>令和3年度は労働問題懇話会を1回実施し、労働・雇用問題について協議を行うことにより知識を深められたため、評価は「B」とする。 >今後も関係機関と連携し、労働問題懇話会を開催する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	91
事業コード 事業名	32	仕事と生活の両立についての意識啓発	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	ふじさわワーク・ライフ・バランス推進会議の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>ワーク・ライフ・バランス推進会議を開催し、労働団体、経済団体、企業、学識経験者などが連携し、ワーク・ライフ・バランスの推進について議論を行った。 ・実施日 3月2日(書面会議)			>ワーク・ライフ・バランス推進会議を開催し、労働団体、経済団体、企業、学識経験者などが連携し、ワーク・ライフ・バランスの推進について議論を行った。 実施日:12月21日	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>令和3年度はワーク・ライフ・バランス推進会議を1回実施したことで、それぞれの抱える課題や取り組みなどに関し、より一層の知識を深められることに繋がったため、評価は「B」とする。今後も関係機関と連携し、推進会議を開催する。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	92
事業コード 事業名	32	仕事と生活の両立についての意識啓発	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	ワーク・ライフ・バランス推進に関する企業向け、市民向け事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>市民向けセミナー ・ワークライフバランスセミナー ・実施日 11月7日 ・参加者数 8人 >企業向けのテレワーク導入に関するパンフレットを作成し、庁内各課及び商工会議所への配架、市ホームページへの掲載を行った。			>企業向けセミナー 「今年4月からの法改正への対策セミナー～育児・介護休業法、パワハラ防止対策～」 実施日 3月10日 参加人数 13人 >企業向けのパンフレット「事業者の皆様へ 健康経営のすすめ 健康経営の取り組みを進めましょう！」を作成し、町内各課及び商工会議所への配架、市ホームページへの掲載を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>企業等に向けセミナーの実施やパンフレットの作成を行い、広く周知が図られたため、評価は「B」とする。今後も引き続き事業を実施する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	93
事業コード 事業名	33	男性の家事、育児への参加促進	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙やホームページ等を活用した啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」夏号(125号)において、「パパズ・スタイル～男性の『家事』『育児』をみんなで応援～を覗けば」を掲載し、男性の家事・育児の助けになるような情報提供を行った。			>男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」冬号(130号)において、「男が働かない、いいじゃないか！」を取り扱い、男性の家事・育児に関するコラムを掲載した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>情報紙をとおして、男性の家事・育児への参加について周知が図られたので、評価を「B」とする。今後も引き続き、男性の家事・育児参加に関する情報提供を行う。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	94
事業コード 事業名	33	男性の家事、育児への参加促進	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	両親学級(マタニティクラス)の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項	新型コロナウイルス感染症対策のため妊婦のみの参加				
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため通年で中止としたが、マタニティクラスで実施している内容の一部をケーブルテレビで放送(8月31日～9月6日)し、その後、ホームページに動画を配信した。			>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5-7月のみ開催したが、感染症対策として妊婦のみの参加とした。また昨年度に引き続きマタニティクラスで実施している内容の一部を藤沢市ホームページ上で動画配信した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>妊婦は新型コロナ感染症のハイリスク対象であることを踏まえ、動画配信を併用するなど工夫を行い、一定の目的を達成したものの考え、評価を「B」とする。引き続き、感染状況を踏まえ、妊婦やパートナーに対する家事・育児参加への推進のための情報提供方法を検討したい。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	95
事業コード 事業名	33	男性の家事、育児への参加促進	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	父子手帳の交付				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 父子手帳の交付数: 3,186冊			> 父子手帳の交付数: 3,223冊(令和3年のみ双子には2冊渡している) 妊娠届出数: 3,193人	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 多様なライフスタイルや育児環境の変化に対応できるよう見直しを継続する。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	96
事業コード 事業名	33	男性の家事、育児への参加促進	担当課	生涯学習総務課・公民館	
主な具体的事業	男性を対象とした育児講座等の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> 男性を含む市民を対象とした育児講座を10公民館で10事業開催した。 【実施公民館及びテーマ、参加人数】 藤沢、鶴沼、村岡、六会、片瀬、遠藤、長後、辻堂、湘南大庭、湘南台 「乳幼児家庭教育学級」合計110人	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 男性を含む多くの市民に参加してもらうことができた。今後も男性も対象とした保護者向け講座を開催し、育児・家庭への参加を促していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	97
事業コード 事業名	34	男性の介護への参加促進	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	家族介護者教室の開催				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場を設けた。 [委託事業の教室開催回数] 3回 ・参加延べ人数 29人(うち男性6人、女性23人) [市が直接実施した講演会の開催回数] 1回 ・参加延べ人数 1人(女性)			>高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場を設けた。 [委託事業の教室開催回数] 24回 ・参加延べ人数 233人(うち男性49人、女性184人) [市が直接実施した講演会の開催回数] 2回 ・参加延べ人数 61人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>コロナ禍においても、前年度に比べ回数も多く参加人数も増加して教室を開催できたため、評価を「B」とする。 >昨年度と比較すると、家族介護者教室全体の参加人数は増加した。委託事業の教室開催における男性参加者の割合は、令和2年度約20%、令和3年度約21%とほぼ横ばいだった。より男性の参加者が増加するよう取り組んでいく。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	98
事業コード 事業名	34	男性の介護への参加促進	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	在宅介護者の会の運営				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場となる家族会の運営を行った。 ・計6回 ・延べ参加人数 44名			>高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場となる家族会の運営を行った。 ・計12回 ・延べ参加人数 76名	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>コロナ禍においても、前年度に比べ回数も多く参加人数も増加して会を開催できたため、評価を「B」とする。 >令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催回数が減少したが、令和3年度は、月に1度の開催を行うことができ、延べ参加人数も増加した。今後さらに周知を進め、参加人数の増加に取り組むたい。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	99
事業コード 事業名	35	乳幼児期の保育・教育の充実	担当課	子育て企画課	
主な具体的事業	待機児童の解消に向けた保育所等の整備				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 認可保育所等の整備等により、保育サービスの量的拡充、質的向上を図った。 ・認可保育所等の新設(15か所) 721人分の定員拡大 ・認可保育所等の再整備(4か所) 59人分の定員拡大 合計 780人分の定員拡大			> 公立保育所等の再整備や幼稚園の認定こども園への移行による定員拡大を図った。 ・公立保育所等の再整備(2か所)27人分の定員拡大 ・幼稚園の認定こども園への移行(1か所)20人分の定員拡大 合計 47人分の定員拡大	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 取組の結果、令和4年4月1日現在の国基準の待機児童数は、昨年に引き続きゼロとなったことから評価を「A」とする。 > 令和4年度は「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」及び「藤沢市保育所整備計画(ガイドライン)」の中間見直しを行い、待機児童ゼロを継続するため、対策を講じていく。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	100
事業コード 事業名	35	乳幼児期の保育・教育の充実	担当課	保育課	
主な具体的事業	一時預かり事業、延長保育事業などの充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 保護者の就労時間の長時間化等に対応するため、通常の開所時間を超えて早朝や夕方(場合によっては夜間)に延長保育を行っている。また、就労及び就学、冠婚葬祭、保護者の疾病・入院等により、緊急・一時的に保育を必要とする児童に対する一時預かり事業を公立法人立計21か所の保育所で実施。 [令和2年度の利用状況] ・登録者数 1,937人 ・延べ利用者数 18,350人			> 保護者の就労時間の長時間化等に対応するため、通常の開所時間を超えて早朝や夕方(場合によっては夜間)に延長保育を行っている。また、就労及び就学、冠婚葬祭、保護者の疾病・入院等により、緊急・一時的に保育を必要とする児童に対する一時預かり事業を公立法人立計22か所の保育所で実施。 [令和3年度の利用状況] ・登録者数 2,004人 ・延べ利用者数 20,415人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 昨年、今年度については、コロナ禍もあり利用者が少ない中だったので、評価を「B」とする。今後、更に、利用者に寄り添い、高い意識をもって、必要な保育を提供していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	101
事業コード 事業名	36	発達に課題がある子どもの支援体制の充実	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	子ども発達支援事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>子ども発達支援事業 ・子どもサポートファイルの配布 325部 ・冊子「発達障がいかな?と思ったら」2,090部 >子ども発達相談 発達に心配のある児童及び障がいのある児童についての相談。 ・新規相談件数 496件			>子ども発達支援事業 ・子どもサポートファイルの配布 259冊 サポートファイルの使い方の動画を配信して、活用の促進を進めた。 ・発達障がいリーフレット 1,793冊 >子ども発達相談発達に心配のある児童及び障がいのある児童についての相談の充実を図った。 ・新規相談件数 580件 ・個別専門相談実人数 1,503件	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>相談内容の複雑化や家族全体への支援の必要性のある相談が増加傾向の中、関係各課との調整、動画を活用したサポートファイルの活用促進を行い、評価を「B」とする。 >育てにくさを抱えている家族が孤立しないよう、予防的な支援が望まれる中、学齢期も含め、子どもに関わる機関と一緒に協働していく。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	102
事業コード 事業名	36	発達に課題がある子どもの支援体制の充実	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	特別支援保育に対する補助の実施				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>市内の私立幼稚園、認定こども園、幼児教育施設に対して、特別支援保育費の補助金を交付した。 ・対象人数 52人(うち幼稚園及び認定こども園48人、幼児教育施設4人) ・実施園数 21園(うち幼稚園及び認定こども園18園、幼児教育施設3園)			>市内の私立幼稚園、認定こども園、幼児教育施設に対して、特別支援保育費の補助金を交付した。 ・対象人数 64人(うち幼稚園及び認定こども園59人、幼児教育施設5人) ・実施園数 23園(うち幼稚園及び認定こども園19園、幼児教育施設4園)	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>制度周知の結果、前年度と比較して対象人数及び実施園数は増加し、見込みを上回る交付申請があったため評価を「A」とする。 >障がい児や発達に特別な支援を必要とする児童が集団生活を体験することは、社会性の向上や情緒の発達を促す上で重要であることから今後も特別支援保育のために要する経費に対し、補助金を交付する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	103
事業コード 事業名	36	発達に課題がある子どもの支援体制の充実	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	障がい児通所支援				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>障がいのある児童や発達に心配がある児童に対して、療育を提供するサービスを行った。 ・児童通所支援(実人数) 1,391人			>障がいのある児童や発達に心配がある児童に対して、療育を提供するサービスを行った。 ・児童通所支援(実人数) 1,504人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>利用者数が増加する中でも、感染症対策を行いつつ、適切に支給決定等を行うことができたため、評価を「B」とする。 >引き続き、障がい児相談事業の充実や通所支援サービスの質の向上を図る。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	104
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	子育て企画課	
主な具体的事業	「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」に基づく子ども・子育て支援施策の展開				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>令和元年度に策定した「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、計画的に施設や事業を提供するとともに、藤沢市子ども・子育て会議を3回開催し、子育て支援に関する現状報告と今後の取組等について、調査・審議した。			>「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、計画的に施設や事業を提供するとともに、藤沢市子ども・子育て会議を3回開催し、子育て支援に関する現状報告と今後の取組等について、調査・審議した。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>令和4年度に「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」について中間見直しを行う予定である。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	105
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	子育て企画課	
主な具体的事業	子育て支援センター事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢ 藤沢・湘南台・辻堂・六会子育て支援センターで、1,172日開設。延べ利用者数26,073人、相談件数9,378件、情報提供件数14,636件。</p> <p>・巡回子育てひろば8か所で、72日開設。延べ利用者数1,027人、相談件数130件、情報提供件数125件。</p> <p>・利用しやすい巡回場所として、Fプレイスにて平均月3日(うち1日は18:30まで利用時間を延長)実施。</p> <p>・子育て世代のあらゆる組合せ(母子・父子・祖父母と孫等)で参加しやすい事業ファミリーデー18回、子育て世代と地域や学生等の交流目的のひろば7回実施。</p>			<p>➢ 乳幼児期から就学前までの親子を対象に子育て支援事業を実施し、来所者はのべ38,269人。うち11,701件の子育てに関する相談があり、子育てに関する情報提供を5,232件行った。なお、子育てひろばについては、感染症拡大防止の観点から予約制により開催した。</p> <p>➢ 市民センターや児童館、市民の家など市内8か所で巡回子育てひろばを計122回開催。利用者はのべ1,592人、相談件数476件、情報提供件数278件行った。</p> <p>➢ 六会・辻堂の子育て支援センターにおいては、出産後の不安の軽減や相談の場として、妊産婦・夫等が参加するマタニティひろばを開催。利用者はのべ278人、沐浴相談135件行った。</p> <p>➢ 0～6か月の乳児を対象とした限定ひろばを開催。利用者はのべ1,475人の親子が来所した。</p>	
目標に対する評価	B 目標を概ね達成した				
評価に対する考え 及び 今後の取組	<p>➢ 感染拡大防止対策を行いながら子育てひろばを実施し、親子の居場所の確保や親子の相談を聞き、寄り添うことで子育てに対する不安の軽減へ繋げることができたことから、評価を「B」とする。</p> <p>➢ 今後は感染症の動向等を踏まえ、親子が子育てひろばを気兼ねなく、利用できる方法について検討していく。また、0～6か月の乳児を対象とした限定ひろばについては、予想より多くの需要があったことから、来年度に向けて拡充を検討していく。</p>				

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	106
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	子育て企画課	
主な具体的事業	つどいの広場事業の実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢ 鶴沼、善行、藤が岡、中里つどいの広場で、610日開設。延べ利用者数6,735人、相談件数815件、情報提供件数3,834件。</p> <p>➢ 藤沢版つどいの広場事業7か所で実施。</p>			<p>➢ 妊娠期から就学前までの親子が気軽につどい交流できる場として、つどいの広場事業を実施し、来所者はのべ16,708人。うち1,508件の子育てに関する相談に対応するとともに、6,275件の子育てに関する情報提供を行った。</p> <p>なお、子育てひろばについては感染症拡大防止の観点から予約制(中里つどいの広場は蔓延防止等重点措置期間内のみ予約制にて開催)により開催した。</p> <p>➢ 藤沢版つどいの広場事業を7か所で実施。(全8か所で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1か所休止となった)</p>	
目標に対する評価	B 目標を概ね達成した				
評価に対する考え 及び 今後の取組	<p>➢ 感染拡大防止対策を行いながら広場を実施し、親子の居場所の確保をすることができたことから評価を「B」とする。</p> <p>➢ 開催している地域によって、来所人数に差がみられるので、利用の少ない地域を知ってもらえるようつどいの広場に関する周知の方法を検討していく。</p>				

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	107
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	子育て企画課	
主な具体的事業	子育てふれあいコーナー事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>子育てふれあいコーナーあいあい・きらきらほし22か所で開設。 ・開催日数115日 延べ利用者数883人。 >子育てボランティア情報交換会を実施、フォローアップ講座を紙面開催。 >子育てボランティア登録者数57人。</p>			<p>>身近な施設であるこどもの家・児童館を活用し、感染拡大防止対策を講じながら、親子同士や子育てボランティアとの相互交流と育児相談を実施しました。 ♪あいあい♪は来所者のべ1,503人、きらきら☆ぼしは来所者のべ1,194人が来所し、親子の居場所として利用した。 >地域の子育て人材育成を目的に、子育てボランティア養成講座及び活動している子育てボランティアに対し情報交換会を実施。 >子育てボランティア登録者数52人。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>事業を実施することで、親子の居場所の確保をすることができたことから評価を「B」とする。今後の取組としては、継続的に親子の居場所を確保するため、また地域で子育てを見守っていくことなどを踏まえ、子育てボランティアの人材確保及び育成を行っていく。</p>	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	108
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	子育て企画課	
主な具体的事業	市民との協働事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>地域版「子育て応援メッセージ」を湘南大庭、鶴沼、片瀬、遠藤、明治の5か所で、計5回開催した。他地区は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期又は中止となった。</p>			<p>>藤沢、片瀬、鶴沼、明治、村岡、辻堂、遠藤、湘南大庭の計8地区にて地域版「子育て応援メッセージ」を開催した。長後、御所見、湘南台、善行、六会の計5地区については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>地域団体と協議し、支援を進めたことで、計8地区にて地域版「子育て応援メッセージ」を開催できたことから評価を「B」とする。今後の取り組みとしては、地域版「子育て応援メッセージ」については、現時点で開催されていない地区もあることから、全13地区の開催に向けて、開催されていない地域団体と協議するとともに、支援を進めていく。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	109
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	ファミリー・サポート・センター事業の実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>関係機関へチラシ等を配布し、必要に応じて事業の説明を行うなど、更なる周知を図った。 ・おねがい会員 6,437人、まかせて会員 942人、 どっちも会員 571人 ・活動件数 9,188件			>おねがい会員:6,451人 まかせて会員:964人 どっちも会員:560人 活動件数:9,900件 >広報誌への掲載、地区回覧などで更なる周知を図った。 >より多くの方のニーズに応えるため、子育て短期事業の利用登録のために窓口にはいらした方にも需要があればファミサポの案内も同時に行った。	
目標に対する評価	B 目標を概ね達成した				
評価に対する考え 及び 今後の取組	>コロナ禍において感染に留意しながらの活動ではあったが、令和2年度より多くの方に利用いただけたので評価を「B」とする。 >より多くの方にまかせて会員研修会に参加していただけるよう、効果的に周知を図り、まかせて会員数を増やしていくことで今以上の子育て家庭への支援を行っていく。				

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	110
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	子育て短期支援事業(ショートステイ事業・トワイライトステイ事業)の実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>関係機関へチラシ等を配布し、必要に応じて事業の説明を行うなど、更なる周知を図った。 【ショートステイ事業】 ・利用人数 16人 ・延べ利用日数 217日 【トワイライトステイ事業】 ・利用人数 8人 ・延べ利用日数 17日			>関係機関へチラシ等を配布し、必要に応じて事業の説明を行うなど、更なる周知を図った。 【ショートステイ事業】 ・利用人数 25人 ・延べ利用日数 326日 【トワイライトステイ事業】 ・利用人数 6人 ・延べ利用日数 36日	
目標に対する評価	B 目標を概ね達成した				
評価に対する考え 及び 今後の取組	>援助が必要な家庭に対し適切な支援を行い、利用日数の増加など一定の効果が見られたが、以下のような課題が挙げられるため評価を「B」とする。 >トワイライトステイの利用者が令和2年度と同様少ない。子育て家庭のライフスタイルに合わせた支援を行うために、2つの事業を合わせて効果的に周知をしていく。				

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	111
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	保育課	
主な具体的事業	保育所における地域の子育て家庭を対象とした相談・交流事業の充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>市内の公立保育所において保育所の持つ専門的知識を活用した育児相談や育児情報の提供を行った。 ・実施件数 895件			>市内の公立・法人立保育所において、保育所の持つ専門的知識を活用した育児相談や育児情報の提供を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>コロナ禍において来所を控えたことにより、対面での情報提供等が困難で、電話での対応やホームページ掲載を主に実施したため評価を「B」とする。今後については感染症のまん延状況等を踏まえ、感染対策に配慮し、従来の育児相談等を再開していきたい。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	112
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	保育課	
主な具体的事業	園庭開放、体験保育、世代間等交流事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>市内の公立保育所の園庭や遊具の開放を行った。 ・参加人数延べ 833人 >市内の公立保育所において園見学(外からの見学)、地域交流等を実施した。 ・参加人数延べ 4,641人			>市内の公立保育所の園庭や遊具の開放を行った。 ・参加人数 延べ1,071人 >市内の公立保育所において園見学(外からの見学)、地域交流等を行った。 ・参加人数 延べ5,468人	
目標に対する評価				C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>コロナ禍において園内見学や体験保育等を縮小したため評価は「C」とする。今後は、感染症のまん延状況を踏まえ、従来の交流事業等を再開していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	113
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	保育課	
主な具体的事業	子育て支援センターとの連携による子育て支援事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子育て支援センターを利用している保護者の保育所見学会・保育所職員や園児の支援センター訪問による交流は中止した。			>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子育て支援センターを利用している保護者の保育所見学会・保育所職員や園児の子育て支援センター訪問による交流は中止した。	
目標に対する評価				D 目標となる事業が実施できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子育て支援センターを利用している保護者の保育所見学会・保育所職員や園児の子育て支援センター訪問による交流は中止したため評価は「D」とする。今後については感染症のまん延状況等を踏まえ、感染対策を実施し、交流事業等の再開を検討する。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	114
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	青少年課	
主な具体的事業	放課後児童健全育成事業の実施				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>69児童クラブで事業を実施。 ・児童クラブ入所者数 3,758人(令和2年4月1日現在) ・児童クラブ入所希望児童の入所率(入所児童数/入所希望者数) 96.8%(令和2年4月1日現在)			>71児童クラブで事業を実施。 ・児童クラブ入所者数 3,793人…令和3年4月1日現在 ・児童クラブ入所希望児童の入所率(入所児童数/入所希望者数) 96.0%…令和3年4月1日現在	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新たに2クラブ設置したことにより70人定員増加し、児童の健全育成と保護者の就労支援、子育て支援に寄与したため、評価は「B」とする。今後はさらに支援を充実させるよう取り組む。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	115
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	青少年課	
主な具体的事業	放課後子ども教室推進事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> > 亀井野小学校区放課後子ども教室 ・開室日数:3日 ・利用児童人数:108人 > 小糸小学校区放課後子ども教室 ・開室日数:109日 ・利用児童人数:1,121人 > 富士見台小学校区放課後子ども教室 ・開室日数:3日 ・利用児童人数:155人 			<ul style="list-style-type: none"> > 亀井野小学校区放課後子ども教室 ・開室日数:4日 ・利用児童人数:237人 > 小糸小学校区放課後子ども教室 ・開室日数:134日 ・利用児童人数:1,154人 > 富士見台小学校区放課後子ども教室 ・開室日数:22日 ・利用児童人数:662人 	
目標に対する評価	C 目標を達成できなかった				
評価に対する考え 及び 今後の取組	>新型コロナウイルス感染症の流行やそれに伴う緊急事態宣言の発令を受け、R3年度は事業の実施日数が非常に少なくなったため、評価を「C」とする。今後は感染症予防対策を進めながら、事業実施日数の増加に努め、放課後の居場所の確保につなげていきたい。				

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	116
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	青少年課	
主な具体的事業	青少年指導員の研修の充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> > 新任研修会「神奈川県青少年保護育成条例について」 ・実施日 8月28日(金) > 新任研修会「神奈川県青少年保護育成条例について」 ・実施日 8月28日 ・参加者 74人 ・内容 藤沢市青少年指導員の委嘱替えに伴い、今後の青少年指導員活動を行う上で青少年の健全育成に関する知識の習得を図ることを目的に、新任向けの研修を行った。 > 全体研修会「～中高生の声から考える～性教育と性の健康を守る医療の課題」 ・実施日 11月11日 ・参加者 174人 ・内容 青少年指導員の非行防止活動の促進のため、「～中高生の声から考える～性教育と性の健康を守る医療の課題」をテーマとして、産婦人科専門医 遠見才希子氏を講師として講義形式の研修を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> > 全体研修会「健全と多様性～ジェンダー／セクシュアリティの観点から」の実施 ・実施日 6月24日 ・参加者 142人 ・内容 ジェンダーとは、社会的・文化的に作り出された性差であるが、その中で多様な性のあり方を尊重し理解することの大切さをテーマに研修会を行った。 > 全体研修会「ゲートキーパー養成研修」の実施 ・実施日 11月19日 ・参加者 57人 ・内容 ゲートキーパーの活動内容と、自殺の原因とその対策をテーマに研修会を行った。 > 理事研修「ユースサポート・ユースワークふじさわで出来ること」の実施 ・実施日 1月20日 ・参加者 25人 ・内容 ユースサポート・ユースワークの事業概要と今後の目標と課題をテーマに研修会を行った。 	
目標に対する評価	B 目標を概ね達成した				
評価に対する考え 及び 今後の取組	> 青少年指導員活動を行う上で必要な青少年の健全育成に関する知識の習得を図ることができたため、評価は「B」とする。今後も研修等の機会を提供していく。				

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	117
事業コード 事業名	37	地域における子育て支援の促進	担当課	青少年課	
主な具体的事業	青少年健全育成事業の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>JUMP UP U-20 WINTER CONCERT ・実施日 12月19日・20日 ・従事者 36人 ・出演者数 8グループ 36人 ・無観客・後日ラジオ放送(1月9日・(再)10日)			>JUMP UP U-20 WINTER CONCERT ・実施日 1月29日・30日 ・無観客・後日ラジオ放送(令和4年2月19日・20日)	
目標に対する評価				D 目標となる事業が実施できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、まん延防止等重点措置が適用された事に伴い、事業を中止することとなったため、評価は「D」とする。 今後は感染症予防対策を進めながら、事業を実施できるようにしていきたい。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	118
事業コード 事業名	38	小児に対する医療の充実	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	小児への医療費助成の充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>中学校修了までの児童の入通院に係る医療費の助成を行った。(中学生については所得制限あり。) ・延べ対象者数 642,811人 ・助成件数 683,178件 ・助成額 1,408,851千円			>中学校修了までの児童の入通院に係る医療費の助成を行った。(中学生については所得制限あり。) ・延べ対象者数 640,701人 ・助成件数 785,095件 ・助成額 1,684,474,306円	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>保護者の経済的負担の軽減や子育て環境の整備が図られたため、評価は「A」とする。 >令和5年4月の中学生に係る医療費助成の所得制限撤廃にむけたシステム改修、制度の周知、案内を行い、申請漏れを防ぐ必要がある。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	119
事業コード 事業名	38	小児に対する医療の充実	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	未熟児養育医療の給付				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>2,000グラム以下の乳児、又は医師が養育を必要と認めた乳児の入院に係る医療の給付を行った。 ・延べ対象者数 84人 ・助成件数 198件 ・助成額 21,668千円			>2,000グラム以下の乳児、又は医師が養育を必要と認めた乳児の入院に係る医療の給付を行った。 ・延べ対象者数 78人 ・助成件数 188件 ・助成額 19,056,306円	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 身体の発育が未熟なまま出生した乳児が正常児と同等の機能を得るため、入院に係る医療費及び食事代の助成を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減に寄与したため、評価は「A」とする。 > 対象者が限られることから、指定医療機関と連携を図り、制度案内を行うよう努める。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	120
事業コード 事業名	38	小児に対する医療の充実	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	育成医療の給付				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 給付対象となる疾患に罹患している18歳未満の児童が、手術などを行うことにより治療効果が期待できる場合について、育成医療費の助成を行った。 ・延べ対象者数 15人 ・助成件数 58件 ・助成額 633千円			> 給付対象となる疾患に罹患している18歳未満の児童が、手術などを行うことにより治療効果が期待できる場合について、育成医療費の助成を行った。 ・支給認定件数 16件 ・助成件数 73件 ・助成額 1,575,694円	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 対象児童の保険診療の自己負担分を助成することによって、保護者の経済的負担の軽減と児童の健やかな成長に寄与したため、評価は「A」とする。 > 対象者が限られることから、指定医療機関と連携を図り、制度案内を行っていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	121
事業コード 事業名	39	育児、介護休業制度の普及促進	担当課	人権男女共同平和国際課/産業労働課	
主な具体的事業	情報紙やホームページ等を活用した啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」冬号(127号)において、「コロナで見えた！それ、誰の負担？」を掲載し、共に生きるフォーラムふじさわの中で語られた、男性の育休等の取得の重要性について啓発を行った。			>勤労ふじさわを発行し、育児、介護休業制度について紹介した。 11月号 約1,900部発行	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>市内事業者などへ、広く周知が図られたため、評価は「B」とする。 引き続き制度の啓発を実施する。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	122
事業コード 事業名	40	高齢者介護、障がい者介護に関するサービスの充実	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	生活支援型ホームヘルプサービスの実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>介護保険における要支援・要介護の認定が非該当である65歳以上の高齢者で、在宅で生活し、介護保険における要支援・要介護の認定が非該当であるものの、日常生活において主に家事援助が必要であると認められる方に対してホームヘルパーの派遣を行った。 ・延べ利用者人数 18人 実利用者数 3人 ・利用回数 64回			>介護保険における要支援・要介護認定が非該当である65歳以上の高齢者で、在宅で生活し、介護保険における要支援・要介護の認定が非該当であるものの、日常生活において主に家事援助が必要であると認められる方に対してホームヘルパーの派遣を行った。 ・延べ利用者人数 13人 実利用者数 2人 ・利用回数 50回	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>介護保険非該当の方が対象だがサービスが必要な方に適切に提供できたため、評価を「B」とする。 >利用者人数等が毎年増加せず、ほぼ横ばいという状況で、今後、本事業の在り方について、再検討していく必要があると考えられる。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	123
事業コード 事業名	40	高齢者介護、障がい者介護に関するサービスの充実	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	一時入所サービスの実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>65歳以上で在宅生活が困難な高齢者を一時的に養護する必要がある場合に、養護老人ホームにて短期入所を行った。 ・実利用者数 17人 ・延べ利用日数 447日			>65歳以上で在宅生活が困難な高齢者を一時的に養護する必要がある場合に、養護老人ホームにて短期入所を行った。 ・実利用者数 18人 ・延べ利用日数 957日	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>必要な高齢者に短期入所サービスを養護老人ホームと連携してサービス提供できたことから評価を「A」とする。 >前年度と比べ、実利用者数・延べ利用日数ともに増加しており、市内高齢者人口も増加傾向にあることから、当事業の需要は高まっていると考える。そのため今後も継続して、委託先施設や支援関係者と協力し取り組んでいく。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	124
事業コード 事業名	40	高齢者介護、障がい者介護に関するサービスの充実	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	紙おむつの支給				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>在宅でねたきりや認知症のため、日常的に紙おむつを使用している人に毎月一定枚数の紙おむつを支給し、介護者世帯の身体的・経済的な負担を軽減した。 ・実利用者数 1,207人 ・延べ利用件数 9,849件			>在宅でねたきりや認知症のため、日常的に紙おむつを使用している人に毎月紙おむつを支給し、介護者世帯の身体的・経済的な負担を軽減した。 ・実利用者数 963人 ・延べ利用件数 9,792件	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>必要な対象者のニーズに合わせた支給が達成できたため評価を「B」とする。 >令和2年度から利用者のニーズに合わせて支給内容や支給方法を見直し、事業の改善を図った。 今後も利用者ニーズを把握しサービスの充実に努める。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	125
事業コード 事業名	40	高齢者介護、障がい者介護に関するサービスの充実	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	寝具乾燥消毒サービスの実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>65歳以上で在宅で生活する人で、寝具類が汚れがちな寝たきりの人や布団干しができない等寝具乾燥が困難な人の寝具類を丸洗い、消毒乾燥を行い、生活衛生の維持を図るとともに、介護者の負担軽減を図った。 ・実利用者数 107人 ・延べ実施回数 740回			>65歳以上で在宅生活する人で、寝具類が汚れがちな寝たきりの人や布団干しができない等寝具乾燥が困難な人の寝具類を丸洗い、消毒乾燥を行い、生活衛生の維持を図るとともに、介護者の負担軽減を図った。 ・実利用者数 147人 ・延べ実施回数 844回	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>コロナ禍においても、前年度に比べ実利用人数も増加し、サービス提供できたため、評価を「B」とする。 >実利用者数・延べ実施回数ともに昨年度に比べて増加した。今後も利用者の負担軽減が図られるようサービスの提供に努める。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	126
事業コード 事業名	40	高齢者介護、障がい者介護に関するサービスの充実	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	緊急通報サービスの実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>慢性疾患等により、日常生活上注意を要する状態にあるひとり暮らしの高齢者又は高齢者世帯等に対して緊急通報用装置を設置した。このことにより、緊急時等の連絡システムが構築され、平常時の利用者の見守りや相談が行われるとともに、緊急時における救護・救援活動の即時対応が図られた。 ・利用者件数 534人			>慢性疾患等により、日常生活上注意を要するひとり暮らし高齢者又は高齢者世帯等に対して、緊急通報装置を設置した。このことにより、緊急時等の連絡システムが構築され、平常時の利用者の見守りや相談が行われるとともに、緊急時における救護・救援活動の即時対応が図られた。 ・利用者件数 693人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>昨年度に比べ、本事業が周知されてきて、利用者数は増加傾向にあるため、評価を「B」とする。 >今後も利用者数を伸ばしていくために、周知活動を広く取り組んでいく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	127
事業コード 事業名	40	高齢者介護、障がい者介護に関するサービスの充実	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	認知症等行方不明SOSネットワークシステムによる支援				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢ 認知症などのために、行方不明となるおそれのある高齢者を介護している家族が事前に高齢者の情報を登録することで、行方不明になった際にいち早く警察等の関係機関が連携して捜索し、早期保護を図った。</p> <p>また、希望者に対し、現在地を検索することが可能な携帯型端末を貸与する事業を実施し、介護者の負担軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録実人数 153人(男性55人、女性98人) ・市内における身元不明者発見及び保護件数 2件 			<p>➢ 認知症などのために、行方不明となるおそれのある高齢者を介護している家族が事前に高齢者の情報を登録することで、行方不明になった際にいち早く警察等の関係機関が連携して捜索し、早期保護を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録実人数 151人(男性51人、女性100人) ・市内における身元不明発見及び保護件数 5件 	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢ コロナ禍においても、前年度同様に発見及び保護が図られたため、評価を「B」とする。</p> <p>➢ 昨年と比べ捜索依頼が増加していることや市内高齢者人口も増加傾向にあることから、当事業の需要は高まっていくと考える。そのため今後も継続して各関連機関と協力し取り組んでいく。</p>	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	128
事業コード 事業名	40	高齢者介護、障がい者介護に関するサービスの充実	担当課	障がい者支援課	
主な具体的事業	短期入所支援				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢ 障がい者の自立支援と社会活動の充実を図るために、一時的に宿泊を伴ったサービスの提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期入所(年間実利用人数 342人) 			<p>➢ 障がい者の自立支援と社会活動の充実を図るために、一時的に宿泊を伴ったサービスの提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期入所(年間実利用人数 355人) 	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢ 前年度と比べ、概ね横ばいの実績となったため、評価を「B」とする。今後も、障がい福祉サービスを必要とする障がい者に適正な支給決定を行うこととする。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	129
事業コード 事業名	40	高齢者介護、障がい者介護に関するサービスの充実	担当課	障がい者支援課	
主な具体的事業	ホームヘルパーの派遣				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>障がい者の自立支援と社会活動の拡充を図るために必要な障がい福祉サービスの提供を行った。 ・実利用人数 770人 ・利用時間数 113,697時間			>障がい者の自立支援と社会活動の拡充を図るために必要な障がい福祉サービスの提供を行った。 ・実利用人数 803人 ・利用時間数 203,864.3時間	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>障がい者に適正な支援を行い、障がい者やその家族の身体的・精神的負担を軽減したので、評価を「A」とする。今後も、障がい福祉サービスを必要とする障がい者に適正な支給決定を行うこととする。	

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	130
事業コード 事業名	40	高齢者介護、障がい者介護に関するサービスの充実	担当課	障がい者支援課	
主な具体的事業	訪問入浴サービスの実施				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>市内事業所数 6か所(前年度比±0) ・利用人数 49人 ・支払件数 478件			>市内事業所数 7か所(前年度比+1件) ・利用人数 42人 ・支払い件数 480件	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>前年度と比べ、概ね横ばいの実績となったため「B」評価とする。今後も障がい福祉サービスを必要とする障がい者に適正な支給決定を行うこととする。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進			通番	131
事業コード 事業名	40	高齢者介護、障がい者介護に関するサービスの充実	担当課	障がい者支援課	
主な具体的事業	施設での入通所サービスの実施				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>障がい者の自立支援と社会活動の拡充を図るために必要な障がい福祉サービスの提供を行った。 ・施設入所支援 253人 ・生活介護 1,019人 ・機能訓練 17人 ・生活訓練 39人 ・就労移行支援 285人 ・就労継続支援A型(雇用型) 86人 ・就労継続支援B型(非雇用型) 748人			>障がい者の自立支援と社会活動の拡充を図るために必要な障がい福祉サービスの提供を行った。 ・施設入所支援 245人 ・生活介護 1,050人 ・機能訓練 6人 ・生活訓練 55人 ・就労移行支援 309人 ・就労継続支援A型(雇用型) 85人 ・就労継続支援B型(非雇用型) 780人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>前年度と比べ、概ね横ばいの実績となったため評価を「B」とする。今後も障がい福祉サービスを必要とする障がい者に適正な支給決定を行うこととする。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	132
事業コード 事業名	41	あらゆる暴力防止のための周知啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙やホームページ等を活用した啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>広報「ふじさわ」11月10日号でDV防止啓発の記事を掲載した。 >茅ヶ崎市、寒川町と連携して「デートDV防止啓発チラシ」を作成し、市内公立中学校2年生に配布した。			>広報「ふじさわ」11月10日号で「女性に対する暴力をなくす運動」の周知記事を掲載した。また、江の島シーキャンドルを同運動のシンボルカラーである紫色にライトアップするとともに、市役所本庁舎総合受付の職員によるパープルリボンバッジ着用をとおして、暴力防止のための周知啓発に努めた。 >茅ヶ崎市、寒川町と連携して「デートDV防止啓発チラシ」を作成し、市内公立中学校2年生に配布した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>各パネル展でのチラシ等の掲出・配布実績に鑑み、「B」評価とする。 >今後もパネル展示や市立中学校へのチラシ配布をとおして、デートDVなどの防止啓発に努める。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	133
事業コード 事業名	41	あらゆる暴力防止のための周知啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	「DV相談窓口案内カード」の配布による相談窓口の周知				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>「DV相談窓口案内カード」を公共施設・市内デパート・百貨店等36か所のトイレへの設置、配布を行った。			>「DV相談窓口案内カード」を公共施設・市内百貨店等36か所のトイレへの設置、配布を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>DV相談窓口案内カードの作成及び配布実績に鑑み、評価を「B」とする。 >今後もカードの配布場所を広げられるよう取り組む。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	134
事業コード 事業名	41	あらゆる暴力防止のための周知啓発	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	「広報ふじさわ」やホームページ等による児童虐待防止の啓発及び周知				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>11月の児童虐待防止推進月間において「広報ふじさわ」、庁内デジタルサイネージ、藤沢市ホームページや広報番組「ハミングふじさわ」等を活用して児童虐待防止を目的に市民に対して啓発及び周知を行った。 >市内4図書館において市民等を対象に児童虐待に対する意識啓発を図ることを目的に、パネル及び関連図書の展示を行った。 >各関係機関宛てに児童虐待防止のためのリーフレットを配布し、啓発及び周知を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>「広報ふじさわ」やホームページ以外にも様々な広報媒体を利用し周知、啓発を行うことができたため評価を「B」とする。 >現在の社会情勢に鑑み、児童虐待防止に対しての更なる周知、啓発が必要であるため、今後も様々な手段を利用し周知、啓発を図る。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	135
事業コード 事業名	41	あらゆる暴力防止のための周知啓発	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	市民や関係機関に向けた児童虐待防止に関する研修や講座の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 児童虐待防止を目的に研修等を行い、関係機関や市民に対して啓発を行った。 > 神奈川県との共催により、街頭キャンペーンを実施し、市民に対して啓発を行った。 ・市民及び関係機関向け児童虐待防止研修会 1回実施 26人参加			> 児童虐待防止を目的に研修等を行い、関係機関や市民に対して啓発を行った。 > 市民及び関係機関向け児童虐待防止研修会 2回実施 84人参加	
目標に対する評価				C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で研修会の開催回数が例年よりも少なくなってしまったため評価を「C」とする。 > 現在の社会情勢に鑑み、児童虐待防止についての更なる周知及び意識啓発を図っていく必要があるためウェブ会議媒体等を活用した研修を行っていく。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	136
事業コード 事業名	42	被害の早期発見の促進	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	市内医療機関への情報提供				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 藤沢市医師会に所属する医療機関約300か所に「DV相談窓口案内カード」を送付し、活用を依頼した。			> 藤沢市医師会に所属する医療機関を対象に必要なに応じて追加送付を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> DV相談窓口案内カードの作成及び配布実績に鑑み、評価を「B」とする。今後も配布場所を拡げられるよう取り組む。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	137
事業コード 事業名	42	被害の早期発見の促進	担当課	生活援護課	
主な具体的事業	民生委員児童委員等への情報提供				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> 民生委員児童委員への情報提供に関する課題について関係課と協議した。	
目標に対する評価				D 目標となる事業が実施できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 関係各課と調整を図った上で取組を推進する。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	138
事業コード 事業名	42	被害の早期発見の促進	担当課	地域共生社会推進室	
主な具体的事業	福祉保健総合相談の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> プライバシーの保護と個人情報の管理に留意し、また個別性を重視しながら、関係各課との連携により具体的な支援を行った。			> 福祉・保健の総合的な相談窓口として、福祉サービスなどに関する相談・情報提供や、世帯の中に課題を抱える人が複数存在する、福祉以外の分野にまたがる課題がある、などさまざまな相談に対して、関係各課等と連携し、支援を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 福祉サービスなどの相談に対して、必要に応じて関係課等と連携を図り、支援を行うことができたため、評価を「B」とする。 > 生活の困りごとを抱え込まないよう、身近な相談窓口である福祉総合窓口の周知を図り、関係各課等と連携し、支援を行っていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶		通番	139
事業コード 事業名	42	被害の早期発見の促進	担当課	地域共生社会推進室 高齢者支援課
主な具体的事業	高齢者虐待専門相談窓口の実施			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	> 福祉総合相談支援センター ・相談件数 15件(虐待暴力相談) > 高齢者虐待専門相談窓口 ・新規相談件数 109件 ・継続相談件数 184件 > 関係各課や地域の相談支援機関との連携を図った。		> 福祉総合相談支援センター ・相談件数 8件(虐待暴力相談) > 関係各課や地域の相談支援機関との連携を図った。 > 養護者支援の立場から、自立に向けた支援を展開した。 > 高齢者虐待専門相談窓口 ・新規相談件数 110件 ・継続相談件数 82件 > 関係各課や地域の相談支援機関との連携を図った。	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			> 関係各課や地域の相談支援機関と一定の連携が図れたことや、コロナ禍においても、適切に関係機関と協力しながら虐待相談対応ができたため、評価を「B」とする。 > 早期発見のため、今後も関係各課や地域の相談支援機関との連携及び支援体制を図っていく。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶		通番	140
事業コード 事業名	42	被害の早期発見の促進	担当課	障がい者支援課
主な具体的事業	障がい者虐待防止センターの運営			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	> 障がい者総合支援協議会の権利擁護部会を8月、11月、令和3年2月に実施した。(令和3年2月24日「権利擁護とは何か～支援の在り方とは～」に講師を招き研修会を実施)		> 障がい者総合支援協議会の権利擁護部会を8月10日(対面会議)、9月13日(書面会議)、12月20日(書面会議)に実施した。(令和4年2月25日「障害者支援において忘れてはならない虐待防止と権利擁護の視点」に講師を招き研修会を実施した。)	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			> 権利擁護部会の実施と研修の実施により、障がい者虐待防止について参加者の理解を深めるなど取組を進めたため、評価を「B」とする。今後も障がい者虐待防止センターの活動を広げ、虐待被害の防止及び早期発見を促進していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	141
事業コード 事業名	42	被害の早期発見の促進	担当課	障がい者支援課	
主な具体的事業	障がい者虐待防止に関する啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>障がい者虐待防止普及啓発のために「虐待防止パンフレット」(500部)を作成した。			>障がい者虐待防止普及啓発のために「虐待防止パンフレット」(ひとりでご存じですか？障がい者虐待防止法1000部)を作成し、関係している事業所へ送付した。また、市のホームページに障がい者虐待防止センターの取組を掲載した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>パンフレットを市内の各施設に配布するとともに、研修や会議の際に活用していただいたことや、市のホームページを通して多くの人に対して障がい者虐待防止普及啓発ができたので、評価を「B」とする。今後は、新たに藤沢市生涯学習出張講座への講師登録をして啓発活動を続けていく。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	142
事業コード 事業名	42	被害の早期発見の促進	担当課	障がい者支援課	
主な具体的事業	関係機関との連携				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>虐待通報、心配情報が寄せられた際には、当該障がい者のサービス等利用計画や個別支援計画に係る生活援護課、地域共生社会推進室等の関係課や関係機関と連携し、各事案の誘因となっている経済的な理由等の改善や関係修復に向けたアプローチをした。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>適宜、関係機関の打ち合わせやケース会議を開催し、情報や課題の共有を図る。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	143
事業コード 事業名	42	被害の早期発見の促進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	児童・生徒を体罰(暴力)から守るための情報共有				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>体罰調査を教職員、児童生徒や保護者を対象に行った。 >小学校1年生に向け、暴力行為の未然防止を図るため「アンガーマネジメント」についてのリーフレットや教材の作成を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>低学年による暴力行為の増加を受け、未然防止に向けて取組を行ったため評価を「B」とする。今後、作成したリーフレットや教材を活用して、小学校1年生に向けて指導していくよう働きかける。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	144
事業コード 事業名	42	被害の早期発見の促進	担当課	子ども家庭課/教育指導課	
主な具体的事業	子どもに関係する機関との連携				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>児童虐待の早期発見と迅速な対応につながるよう、日常的に子どもの様子や変化を把握することができる児童の所属機関を中心に連携を図った。 ・関係機関からの新規相談件数 247件(うち児童虐待95件 要支援児童等152件) >児童虐待防止に関する研修を実施し、関係機関に対して啓発を行った。 ・啓発研修等の開催 2回実施 84人参加	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>要保護児童対策地域協議会の構成機関を中心とした関係機関と連携を図ることで、児童虐待の早期発見につながったことから、一定の成果があったため、評価を「B」とする。 >関係機関と連携強化を図るとともに、関係機関等を対象とした啓発研修を継続して実施することで、より迅速な対応を図れるようにする。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	145
事業コード 事業名	43	子ども・青少年に対する暴力を認めない社会づくりへの理解促進	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	デートDVなどの防止に向けた啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>市役所本庁舎1階ロビーでの男女共同参画週間パネル展および人権メッセージパネル展での啓発チラシ等の配架、庁舎内へのチラシ・ポスター掲出を行い、啓発に努めた。 >デートDV啓発チラシを作成し、市立中学校2年生への全員配布を行った。			>市役所本庁舎1階ロビーでの藤沢市ジェンダー平等推進週間パネル展でポスターの掲出を行い、啓発に努めた。 >デートDV啓発チラシを作成し、市立中学校2年生への全員配布を行った。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>パネル展でのチラシ等の掲出・配布実績に鑑み、評価を「A」とする。 >今後もパネル展示や市立中学校へのチラシ配布をとおして、デートDVなどの防止啓発に努める。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	146
事業コード 事業名	43	子ども・青少年に対する暴力を認めない社会づくりへの理解促進	担当課	保育課	
主な具体的事業	保育園などにおけるジェンダー平等の視点からの成長段階に応じた指導・育成				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>子ども自身が個々の違いを認め合い、互いの人格や人権を尊重する心が育つような保育を提供し、子どもの性差や個人差についても配慮した。また、職員・保護者へ、子どもたちの成長段階に合わせた対応や、性別役割分担意識を植え付けないよう、特に言葉かけなどに気をつけるように啓発を続けた。			>子ども自身が個々の違いを認め合い、互いの人格や人権を尊重する心が育つような保育を提供し、子どもの性差や個人差についても配慮した。また、職員・保護者へ、子どもたちの成長・発達段階に合わせた対応や、性別による固定的な役割分担意識を植え付けないよう、特に言葉かけなどに気をつけるように、啓発を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>取り組み事態は行えているが、子どもに関わる職員等がさらに高い意識を持ち、保育の振り返りや啓発を継続できるように今回の評価は「B」とした。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	147
事業コード 事業名	43	子ども・青少年に対する暴力を認めない社会づくりへの理解促進	担当課	青少年課	
主な具体的事業	さまざまな青少年事業を通じた啓発				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>街頭指導/パトロール…藤沢市青少年指導員・街頭指導員・特別街頭指導員等による市内でのパトロールを実施し、喫煙・飲酒・怠学などを指導した。(通年)</p> <p>・実施回数 青少年指導員226回 昼間街頭指導員1,341回 夜間特別街頭指導員47回</p> <p>・指導回数 昼間 述べ95件(内女子25件)夜間 述べ1,016件(内女子426件)</p> <p>>年末特別街頭指導キャンペーン・春季特別街頭指導キャンペーン…青少年指導員を中心に、青少年の非行・被害防止を広く市民へ周知するため、街頭放送を実施した。</p> <p>・12月7日 藤沢駅10人参加</p> <p>・12月8日 湘南台駅7人参加</p> <p>・3月18日 藤沢駅18人参加</p> <p>>非行防止ポスター展…非行防止ポスター作品を募集し、応募作品やその他啓発パネルの展示を行った。(10月21日～10月29日)22作品を展示)</p> <p>>社会環境実態調査…11月に実施</p> <p>>書店・古書店の有害図書類の区分陳列立入調査…8月、3月実施。(調査店舗数6件)</p> <p>>駅周辺や公園、青少年が立ち寄る店舗などのパトロールによって、青少年への声掛け指導、店舗への協力依頼及び改善指導を行った。また、書店・古書店の有害図書類の区分陳列調査を行った。</p>			<p>>街頭指導/パトロール…藤沢市青少年指導員・街頭指導員・特別街頭指導員等による市内でのパトロールを実施し、喫煙・飲酒・怠学などを指導した。(通年)</p> <p>・実施回数 青少年指導員292回 昼間街頭指導員1,327回 夜間特別街頭指導員36回</p> <p>・指導回数 昼間 述べ93件(内女子49件)夜間 述べ709件(内女子272件)</p> <p>>年末特別街頭指導キャンペーン・春季特別街頭指導キャンペーン…青少年指導員を中心に、青少年の非行・被害防止を広く市民へ周知するため、街頭放送を実施した。</p> <p>・12月1日 藤沢駅9人参加</p> <p>・12月2日 湘南台駅7人参加</p> <p>・3月10日 藤沢駅14人参加</p> <p>>非行防止ポスター展…非行防止ポスター作品を募集し、応募作品やその他啓発パネルの展示を行った。(10月21日～11月4日)67作品を展示)</p> <p>>社会環境実態調査…11月に実施</p> <p>>書店・古書店の有害図書類の区分陳列立入調査…9月、1月実施。(調査店舗数延べ4件)</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>青少年指導員協議会等と連携・協力し、街頭キャンペーンによる啓発活動を実施したため、評価は「B」とする。今後も、地域の青少年に対して声かけを行うとともに、地域を巡回することにより問題行動の早期発見に努める。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	148
事業コード 事業名	43	子ども・青少年に対する暴力を認めない社会づくりへの理解促進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	学校生活におけるジェンダー平等の視点に立った教育課程の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>教員が授業の場面をはじめとして、学校生活のあらゆる機会をとらえ、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、男女共同参画の視点から、互いに協力しあい思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や4年経験者研修の機会に指導・助言した。</p> <p>>児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットやセクシュアルハラスメント及びデートDV防止リーフレットを作成・配付し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。</p>			<p>>教員が授業の場面をはじめとして、学校生活のあらゆる機会をとらえ、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、ジェンダー平等の視点から、互いに協力しあい、思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や4年経験者研修の機会に指導・助言した。</p> <p>>児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットや、スクールセクハラ・デートDV・SNS等を通じた被害等防止リーフレットを作成、データで配布し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>学校生活全体を通して、児童生徒が人間として尊重されるよう、担当者会や研修、リーフレットなどで周知することができたため、評価を「B」とする。 >今後、ジェンダー的な視点も含め、さらに個性を認め合えるよう、児童生徒と教員の両方に働きかけていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	149
事業コード 事業名	43	子ども・青少年に対する暴力を認めない社会づくりへの理解促進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	児童・生徒に向けたセクシュアルハラスメント(スクールハラスメント)防止及びデートDV防止に関するリーフレット等の作成・配布				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>小学校4年生、中学校1年生を対象にセクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットを作成・配付した。中学校1年生対象のリーフレットには、デートDV防止の内容を加えている。			>小学校4年生、中学校1年生を対象にセクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットを今年度からはデータで作成し、配布した。また、教育委員会のホームページにも掲載し、広く周知した。 >文科省が進める「生命(いのち)の安全教育」の内容も一部盛り込んだ。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>「生命(いのち)の安全教育」の内容を一部追加するとともに、リーフレットをデータ化し、ホームページに掲載することで広く周知することができたため、評価を「B」とする >今後もリーフレットの内容等については、毎年検討していく。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	150
事業コード 事業名	44	相談機能の整備・充実	担当課	生活援護課	
主な具体的事業	女性相談の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>個室での面談を基本とし、相談内容が多岐に及ぶ場合には、関係各課と連携を図り、相談者が移動することなく、各相談員が初期相談窓口に移動することでDV被害者の情報の保護と安全の確保に努めた。			>相談者のプライバシーと個人情報に配慮するため、原則、面談室での面談を行った。相談内容が多岐に及ぶ場合には、関係各課と連携し、相談者が移動することなく、各相談員が初期相談窓口に移動することで、DV被害者の情報の保護と安全の確保に努めた。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>女性相談業務において、適切な対応を取ったため評価を「B」とする。今後もDV被害者の情報の保護と安全の確保を優先し、相談に臨む体制を継続していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	151
事業コード 事業名	44	相談機能の整備・充実	担当課	地域共生社会推進室	
主な具体的事業	福祉保健総合相談の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> プライバシーの保護と個人情報の管理に留意し、また個別性を重視しながら、関係各課との連携により具体的な支援を行った。			> 福祉・保健の総合的な相談窓口として、福祉サービスなどに関する相談・情報提供を行った。世帯の中に課題を抱える人が複数存在する、福祉以外の分野にまたがる課題があるなど様々な相談に対して、関係各課と連携し支援を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 相談者の困りごとに寄り添ったきめ細かな支援を行うことができたため、評価を「B」とする。 > 今後ますます複雑化・複合化していく生活課題に対応していくために、相談者の困りごとに添ったきめ細かな支援を行えるよう相談機能の充実を図っていく。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	152
事業コード 事業名	44	相談機能の整備・充実	担当課	地域共生社会推進室 高齢者支援課	
主な具体的事業	高齢者虐待専門相談窓口の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 福祉総合相談支援センター ・相談件数 15件(虐待暴力相談) > 高齢者虐待専門相談窓口 ・新規相談件数 109件 ・継続相談件数 184件 > 関係各課や地域の相談支援機関との連携を図った。			> 福祉総合相談支援センター ・相談件数 8件(虐待暴力相談) > 関係各課や地域の相談支援機関との連携を図った。 > 養護者支援の立場から、自立に向けた支援を展開した。 ※組織改正により、高齢者虐待に関する具体的な相談支援は高齢者支援課が担当している。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 関係各課や地域の相談支援機関からの相談に一定度の連携が図れたため、評価を「B」とする。今後の取組としては、関係各課や地域の相談支援機関との連携及び支援体制を図っていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	153
事業コード 事業名	44	相談機能の整備・充実	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	要保護児童の支援を目的としたネットワークの充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>「藤沢市要保護児童対策地域協議会」の構成機関が各々の専門性を活かして連携し、児童虐待の早期発見と適切な支援内容の検討を行った。			>「藤沢市要保護児童対策地域協議会」の構成機関が各々の専門性を活かして連携し、児童の面前でのDVを含む児童虐待の早期発見と適切な支援の内容の検討を行った。 ・個別ケース検討会議(63回)の開催 >子ども・子育ての相談に対して専門相談員による助言や情報提供を行い、必要に応じて専門機関に引き継いだ。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>関係機関と密な連携を図ることにより、児童虐待の早期発見及びその後の児童の安全確認や支援を図ることができたため、一定の成果があったと判断し、評価は「B」とする。 >児童虐待の早期発見と迅速な対応につながるよう、日常的に子どもの様子や変化を把握することができる児童の所属機関を中心に連携強化を図る。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	154
事業コード 事業名	44	相談機能の整備・充実	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	子ども・子育て相談の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>関係機関と連携し、児童虐待の予防、早期発見、発生後の迅速かつ適切な対応に努めた。 継続的な関わりを要するケースが増加傾向にある中、きめ細やかな対応に努めた。 ○児童虐待相談新規件数:257件 ・身体:61件 ・心理:111件 ・ネグレクト:84件 ・性的:1件			>関係機関と連携・協働し、児童虐待の予防、早期発見、発生後の迅速かつ適切な対応に努めた。 継続的な関わりを要するケースが増加傾向にある中、きめ細やかな対応に努めた。 ○児童虐待及び要支援児童等相談新規件数:345件(内児童虐待件数:179件、要支援児童等件数:166件) ・身体:40件 ・心理:102件 ・ネグレクト:37件 ・性的:0件 ・要支援等:166件	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>支援対象児童が増加する中、迅速かつ適切な対応に努めることができたため評価を「B」とする。 >引き続き、児童虐待の防止及び早期発見のため、各関係機関と連携・協働して迅速な対応に取り組んでいく。また、幅広い相談ニーズに対応するために子ども家庭総合支援拠点の機能強化を図り、様々な社会資源を活用し、包括的な支援を行っていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	155
事業コード 事業名	44	相談機能の整備・充実	担当課	市民相談情報課	
主な具体的事業	市政相談、一般相談をはじめとする各種相談の実施及び相談に関する情報提供				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢DVが疑われる相談については、最寄りの警察署、かながわ男女共同参画センターを紹介するとともに、市役所内の相談先(生活援護課等)を紹介し、連携を図るための情報提供を行った。</p>			<p>➢DVが疑われる相談については、最寄りの警察署、かながわ男女共同参画センターを紹介するとともに、市役所内の相談先(生活援護課等)を紹介し、連携を図るための情報提供を行った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢今後も一般相談を実施していく中でDVが疑われる場合は、同様の取組を行い、連携を図っていく。</p>	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	156
事業コード 事業名	45	相談時におけるプライバシーの保護と安全の確保	担当課	生活援護課/市民窓口センター/市民相談情報課/子ども家庭課	
主な具体的事業	相談者に関する情報の保護・管理の徹底並びに関係各課等との連携による相談時及び移動時等における安全確保に向けた体制づくり				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>➢相談員に対する個人情報保護の意識の徹底を図るとともに、相談を実施する際には個別の相談室にて実施をし、安全確保を行っている。</p> <p>➢戸籍等の支援措置に関する相談業務については、相談員が市民窓口センターに出向き個室で対応した。児童相談から女性相談に切り替わった際は、子ども家庭課と連携し、情報共有を行い被害者の相談を受けた。被害者が最初に出向いた課に相談員が行くことを基本とし、そこで得た相談内容については情報の保護及び管理を徹底し、被害者の安全確保のためにも移動は最小限とした。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢関係各課と適切に相談業務の連携を図ったため、評価を「B」とする。今後もDV被害者のプライバシー保護と安全の確保を優先し、相談に臨む体制を継続していく。</p> <p>➢今後も同様の意識の徹底を図るとともに、個別相談室を活用し安全確保を図る。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	157
事業コード 事業名	45	相談時におけるプライバシーの保護と安全の確保	担当課	地域共生社会推進室	
主な具体的事業	福祉保健総合相談の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>プライバシーの保護と個人情報の管理に留意し、また個別性を重視しながら、関係各課との連携により具体的な支援を行った。			>福祉・保健の総合的な相談窓口として、福祉サービスなどに関する相談・情報提供を行った。世帯の中に課題を抱える人が複数存在する、福祉以外の分野にまたがる課題があるなど様々な相談に対して、プライバシーの保護に配慮しながら、関係各課と連携し支援を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>相談者のプライバシーの保護に配慮し、支援を行えたため評価を「B」とする。 >福祉・保健等の相談にはプライバシーに関わる事が多いので、引き続き、相談者のプライバシーに配慮しながら、支援を行う必要がある。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	158
事業コード 事業名	45	相談時におけるプライバシーの保護と安全の確保	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	高齢者虐待専門相談窓口の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>プライバシーの保護と個人情報の管理に留意し、また個別性を重視しながら、関係各課との連携により具体的な支援を行った。			>プライバシーの保護と個人情報の管理に留意し、また個別性を重視しながら、関係各課との連携により具体的な支援を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>コロナ禍においても、適切に関係機関と協力しながら虐待相談対応ができたため、評価を「B」とする。 >秘匿情報を取り扱いになるため、窓口や家庭訪問での面接場面及び関係各課とのやり取りについても、プライバシーの保護と個人情報の管理に常に留意し、今後も徹底していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	159
事業コード 事業名	46	一時保護、安全の確保に向けた支援	担当課	生活援護課	
主な具体的事業	神奈川県配偶者暴力相談支援センター等との連携強化				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>DV被害者の一時保護が円滑に進むよう連携を図った。また、神奈川県配偶者暴力相談支援センターが発行する証明書の申請・交付の支援を行った。			>DV被害者の一時保護が円滑に進むよう連携を図った。また、神奈川県配偶者暴力相談支援センターが発行する証明書の申請・交付の支援を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>一時保護業務について、適切な対応したため、評価を「B」とする。今後も一時保護について関係機関と連携を図り、必要な手続きに対して速やかに対応する。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	160
事業コード 事業名	46	一時保護、安全の確保に向けた支援	担当課	生活援護課	
主な具体的事業	一時保護における同行支援				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>女性相談員の同行支援に加え、必要な場合には福祉事務所職員も同行支援を実施した。			>DV被害者に対する女性相談員の同行支援に加え、必要時には福祉事務所職員も同行支援を実施した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>一時保護施設の入所に向け、適切に対応したため、評価を「B」とする。引き続き、一時保護を必要とするDV被害者に対し安全に配慮した同行支援を行う。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	161
事業コード 事業名	47	DV被害者の子どもへの支援	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	児童相談所等と連携した心理的虐待を受けた児童へのケアの充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>関係各課、児童相談所と連携し、心理的虐待を受けた子どもへのケアの充実を図った。			>関係各課、児童相談所と連携し、心理的虐待を受けた子どもへのケアの充実を図った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>面談等により、心理的なケアが必要と判断した児童について、要保護児童対策地域協議会の構成機関を中心に連携して対応できたため、一定の成果があったと判断し、評価は「B」とする。 >心理的なケアが必要な児童への対応について、関係機関と連携方法の共有するなど、連携強化を図る。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	162
事業コード 事業名	47	DV被害者の子どもへの支援	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	母子保健事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>妊娠届出、赤ちゃん訪問、乳幼児健診、予防接種事業について対応した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>個々のケースに対し、個人情報に留意しつつ柔軟に対応したので、評価を「B」とする。今後も、個々のケースに対し、個人情報に留意しつつ柔軟に対応する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	163
事業コード 事業名	47	DV被害者の子どもへの支援	担当課	保育課	
主な具体的事業	保育所等入所申請手続きや利用についての支援				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 保育所の入所申請手続きについて、関係課と連携して対応を行った。			> 保育所の入所申請手続きについて、生活援護課・子ども家庭課等と連携して対応を行った。また、入所児童の安全確保について所属の保育園とも連携して対応を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 取組は概ね行えているが、引き続き、関係課と連携を密にして対応を行っていくこととし、評価は「B」とする。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	164
事業コード 事業名	47	DV被害者の子どもへの支援	担当課	学務保健課	
主な具体的事業	子どもの教育を受ける権利の保障に向けた就学手続き等の支援				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 関係各課等で緊密な連携を図りながら、子どもの教育を受ける権利が保障されるよう就学支援に取り組んだ。			> 関係各課等で緊密な連携を図りながら、子どもの教育を受ける権利が保障されるよう就学支援に取り組んだ。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 事案があった際には必要に応じて関係各課と連携した実績があったため、評価を「B」とする。引き続き、子どもの教育を受ける権利が保障されるよう就学支援に取り組む。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶		通番	165
事業コード 事業名	48	推進体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課/生活援護課
主な具体的事業	県、近隣市町村及び警察との情報共有・情報交換を通じた連携の強化			
実施方式	その他			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	> 茅ヶ崎市・寒川町とともに、地域DV対応情報交換会を開催した。神奈川県人権男女共同参画課・女性相談所・かながわ男女共同参画センター(相談課)・平塚保健福祉事務所(茅ヶ崎支所)・中央児童相談所・湘南三浦教育事務所・県警本部・藤沢警察署・藤沢北警察署・茅ヶ崎警察署参加の下、情報交換及び連携の確認を行った。 ・開催日:11月13日		> 新型コロナウイルス感染症の影響により、会議が開催されなかった。	
目標に対する評価			D 目標となる事業が実施できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組			> 令和3年度は、当該会議が開催されなかったことから、評価を「D」とする。 > 今後も、関係各所との連携を図っていく。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶		通番	166
事業コード 事業名	48	推進体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課/生活援護課
主な具体的事業	女性の一時保護施設等の運営やDV相談を実施している民間団体との情報交換等を通じた連携の強化			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	> 民間団体と情報交換を行い、必要に応じて民間団体の紹介等を行った。		> 民間団体と情報交換を行い、必要に応じて紹介等を行った。	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			> DV被害者の状況を把握し、状況に見合った情報を提供できたため、評価を「B」とする。引き続き民間団体と情報交換を行い、DV被害者に対して適切な情報提供ができる体制を維持する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	167
事業コード 事業名	48	推進体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	庁内連絡会議(庁内DV対応ネットワーク会議)の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 庁内DV対応ネットワーク会議を開催し、各課の対応状況報告や情報共有を行った。 また、DV・ストーカー等被害者の情報共有について調整を進め、令和3年1月から「住民基本台帳法におけるDV等支援措置」の対象者について、情報共有を開始した。			> 庁内DV対応ネットワーク会議を開催し、各課によるDV・ストーカー被害者に関する対応状況・情報共有を図った。また、住民基本台帳法におけるDV等支援措置に関する対応状況や、支援措置の対象外である被害者の対応について、意見交換を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 会議開催の実績に鑑み、評価を「B」とする。今後も、当該会議の開催を通して、関係各課との連携を図る。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	168
事業コード 事業名	48	推進体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	DV対応マニュアルの作成				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 事務実態に合わせ、関係課と調整のうえ、「庁内DV対応マニュアル」の改定を行った。			> 事務実態に合わせ、関係課と調整のうえ、「庁内DV対応マニュアル」の改定を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> DV対応マニュアルの検討を随時行ったため、評価を「B」とする。 > 今後も、関係課がスムーズに連携できるようにマニュアルの内容を適宜確認し、必要に応じて改定する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	169
事業コード 事業名	48	推進体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	職員に対する研修の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 県が主催する各種DV被害者支援研修について庁内DV対応ネットワーク会議の委員に情報提供し、関係課等が参加した。			> 県が主催する各種DV被害者支援研修について庁内DV対応ネットワーク会議の委員に情報提供し、関係課等が参加した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 県が主催する研修等について庁内各課に情報提供を行った結果、関係課が研修に参加したため、評価を「B」とする。 > 今後も、職員研修等について庁外から案内があった際は、関係各課に対し情報提供を行う。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	170
事業コード 事業名	49	住まい、就労などの経済的支援	担当課	生活援護課	
主な具体的事業	女性保護シェルター等との連携による住まいの確保に向けた支援				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 各機関との連携を図り、DV被害者の住まいの確保に努めた。			> 各機関との連携を図り、DV被害者の住まいの確保に努めた。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> DV被害者の住まい確保のため、相談時から適切に対応したため、評価を「B」とする。今後も各機関と連携を図り、住まいの確保に取り組む。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	171
事業コード 事業名	49	住まい、就労などの経済的支援	担当課	生活援護課	
主な具体的事業	ジョブスポットふじさわ(ハローワーク常設相談窓口)、就労支援員との連携による就労の支援				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>ジョブスポットふじさわや就労支援員と連携を図り、個々のDV被害者の状況に応じた支援を行った。			>ジョブスポットふじさわや就労支援員と連携を図り、個々のDV被害者の状況に応じた支援を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>就労に繋がる世帯は少ないながらも、就労意欲のあるDV被害者に適切な就労支援を行ったため、評価を「B」とする。今後もジョブスポットふじさわ、就労支援員と連携した就労支援を行う。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	172
事業コード 事業名	49	住まい、就労などの経済的支援	担当課	生活援護課	
主な具体的事業	必要に応じた生活保護の申請支援				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>DV被害者の経済状況を聞き取り、必要に応じ意思を確認した上で、生活保護の申請支援を行った。			>DV被害者の経済状況を聞き取り、必要に応じ生活保護申請の意思を確認した上で、申請支援を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>経済的に厳しいDV被害者に対して、適切な生活保護の申請支援を行ったため、評価を「B」とする。今後も経済状況に応じた申請支援を行い、DV被害者が安全で安心した生活を送れるよう支援を行う。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	173
事業コード 事業名	49	住まい、就労などの経済的支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	母子生活支援施設への入所支援				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>➢入所世帯はなかったものの、複数の関係機関等から入所に関する問い合わせ及び入所希望の連絡があった。その都度、母子生活支援施設の入所までの流れ及び生活について、メリット・デメリット合わせて伝えることで、本人のイメージ確保に努めた。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢在宅生活へのアプローチを視野に入れた母子世帯へのアセスメントが不足したままで、関係機関が入所依頼を行うケースがみられることから、その改善策を講じる必要があるため、評価は「B」とする。</p> <p>➢また、母子生活支援施設への入所を必要とする世帯は、暴力被害者だけにとどまらない点を周知していく必要がある。</p>	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	174
事業コード 事業名	49	住まい、就労などの経済的支援	担当課	住宅政策課	
主な具体的事業	市営住宅入居申込時における優遇制度の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢市営住宅の入居申込みの際に優遇措置を設けると共に、関係機関等の連携により入居者資格における居住要件の緩和に配慮するなど適切な対応を図るよう努めた。</p>			<p>➢市営住宅入居申込時における優遇制度を設けると共に、入居者の選考時に藤沢市営住宅運営審議会との連携により、入居選考基準の適切な対応を図るよう努めた。</p> <p>➢令和3年度は、82戸の市営住宅の空き家を提供し、237世帯の応募があった。内、優遇抽選の該当世帯は145世帯で、内DV被害者世帯は1世帯であった。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢特に住宅困窮度の高い者に対し優遇入居措置を講じることは、公営住宅の趣旨に沿うものであり、DV被害者世帯の居住の安定を図り、その自立支援をしたことことから、評価を「B」とする。今後も、国の動向を注視しつつ、引き続き、通常の住宅困窮者と比べ、住宅当選確率が2倍高くなる、優遇抽選制度を実施する。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	175
事業コード 事業名	49	住まい、就労などの経済的支援	担当課	市民窓口センター	
主な具体的事業	住民基本台帳制度における支援措置の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>住民基本台帳制度におけるDV等の被害者を保護するための支援措置を行った。			>住民基本台帳制度におけるDV等の被害者を保護するための支援措置を行った。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>今後も課全体でジェンダー平等の意識を高め、理解を深めていく。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	176
事業コード 事業名	49	住まい、就労などの経済的支援	担当課	税制課	
主な具体的事業	課税・納税情報等に係る支援の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>本人からの申立てに基づき、税証明の本人以外への発行停止対応を行った。			>DV被害者を保護するための支援措置として、本人からの申立てに基づく、税証明の本人以外への発行停止ができる体制を維持した。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>取扱いについて、課内での共有を図り、引き続き発行停止ができる体制を維持する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	177
事業コード 事業名	49	住まい、就労などの経済的支援	担当課	保険年金課	
主な具体的事業	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療など各種制度における支援				
実施方式	直接実施				
変更事項	こくほ(特定)健診の事業は、令和3年度から健康づくり課で行っている。				
年度	令和2年度		令和3年度		
取組実績	<p>>国民健康保険・・・他市町村に住居登録をしているが、藤沢市内に避難しているDV被害者が藤沢市で国民健康保険の加入を希望する場合に、被保険者として国民健康保険証を交付した。なお、対象者の情報は課内で共有し、基幹システムにもDVとわかるよう表示しており、個人情報の取扱い等慎重に対応した。また、滞納管理システム(令和2年12月で終了)でも検索した際にDVであることがわかるよう表示し対応した。</p> <p>>国民年金・・・DVIに関することは、本人から藤沢年金事務所に届出をすることになっており、届出することによって画面表示で該当者であることが確認できるようになる。該当者が来庁した場合は確認し、藤沢年金事務所へ案内した。</p> <p>>こくほ(特定)健診・・・本人からの申出により、受診券の送付先を変更し、個別に対応した。</p> <p>>後期高齢者医療・・・本人からの申出により、広域連合に報告することで、情報提供制限者であることを画面表示し注意した。あわせて送付先を変更して通知等についても対応した。</p>		<p>>国民健康保険・・・他市町村に住居登録をしているが、藤沢市内に避難しているDV被害者が本市で国民健康保険の加入を希望する場合に、被保険者として国民健康保険証を交付した。なお、対象者の情報は課内で共有できるように、基幹システムにもDVとわかるように表示しており、個人情報の取扱い等慎重に対応した。</p> <p>>国民年金・・・DVIに関することは、本人から藤沢年金事務所に届出をすることになっており、届出することによって画面表示で該当者であることが確認できる。該当者が来庁した際は、画面で確認して藤沢年金事務所へ案内した。</p> <p>>後期高齢者医療・・・本人からの申出により、神奈川県後期高齢者医療広域連合に報告することで、情報提供制限者であることを画面表示し注意した。あわせて送付先の変更を行った。</p>		
目標に対する評価			A 目標を達成した		
評価に対する考え 及び 今後の取組			>DVの根絶・被害者の自立支援のため、制度における支援を実施し、効果が得られたため、評価は「A」とする。今後も継続して取組を行い、あらゆる暴力の根絶を目指していく。		

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	178
事業コード 事業名	49	住まい、就労などの経済的支援	担当課	選挙管理委員会事務局	
主な具体的事業	選挙人名簿の閲覧制限によるプライバシーの保護				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度		令和3年度		
取組実績	<p>>市民窓口センターから通知される選挙人名簿の閲覧制限申出者については、個人情報を閲覧させないように注意している(閲覧制度の利用は、殆どが政治・選挙に関する世論調査が目的であり、利用者名も公表している)。</p>		<p>>選挙人名簿の閲覧制限申出者について、個人情報を閲覧させないように注意している(閲覧制度の利用は、殆どが政治・選挙に関する世論調査が目的であり、利用者名も公表している)。</p>		
目標に対する評価			A 目標を達成した		
評価に対する考え 及び 今後の取組			>目標を達成することができたが、今後も職員一人ひとりのジェンダー平等意識の定着が必要であるため職員の意識向上を図っていきたい。		

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	179
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙やホームページ等を活用した啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」冬号(127号)において、「セクシュアルマイノリティとハラスメント」を掲載し、セクシュアルマイノリティの方が受けるハラスメントについて周知啓発を図った。</p>			<p>➢セクシュアルマイノリティ掲発パンフレットの中で、「パワーハラスメント防止のための指針(厚生労働省)」にSOGIハラスメントやアウティングがパワーハラスメントと明記されたことを掲載し、周知を図った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢市内2,000社の企業への配布を行い、周知を図ることができたため、「B」評価とする。今後もさまざまな角度からハラスメント防止に向けた啓発を進める。</p>	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	180
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	職員課	
主な具体的事業	市職員に対するハラスメントの防止に向けた周知・啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢各課等の長宛に「ハラスメントの防止について」通知し、周知徹底を図った。</p> <p>➢新たに管理職となった職員を対象に、ハラスメントの防止に関する研修を実施し、周知・啓発を図った。</p> <p>➢所属長を対象に「職場におけるハラスメントについて」をテーマに研修を実施し、所属長としての役割を改めて周知した。</p>			<p>➢各課等の長宛に「ハラスメントの防止について」を通知し、周知徹底を図った。</p> <p>➢新たに管理職となった職員を対象に、ハラスメントの防止に関する研修を実施し、周知・啓発を図った。(ライブ러리研修)</p> <p>➢全職員を対象に「ハラスメントのない職場づくりを目指して～今日からできる職場のハラスメント対策～」をテーマに研修を実施し、周知・啓発を行った。(e-ラーニング)</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢目標の中核となる具体的な事業が実施できたため、「B」の評価とした一方、今後他の階層別研修等への展開も検討していきたい。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	181
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	職員課	
主な具体的事業	市職員に対する相談窓口の整備・充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>「藤沢市職員の職場におけるハラスメントの防止等に関する要綱」に基づき、ハラスメントに関する苦情相談に対応した。 ・件数:2件			>「藤沢市職員の職場におけるハラスメントの防止等に関する要綱」に基づくハラスメントに関する苦情相談に対応した。 ・件数:2件(相談後に取り下げ)	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>引き続き、相談窓口や、ハラスメント防止等に資する周知啓発に努めたい。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	182
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	一般労働相談の実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>社会保険労務士による労働相談を行った。(火:市民相談情報課、土:Fプレイス) なお、毎月第2土曜日は女性の社会保険労務士が相談に対応し、女性の労働相談体制の充実を図った。相談人数 延べ226人、相談件数 延べ556件。 >新型コロナウイルス感染症拡大による雇用環境の悪化等の影響を受けている方を対象とした、社会保険労務士による労働相談を行った。 ・実施日 5月(3日間)、6月(4日間)、7月(4日間)、10月(6日間)、11月(3日間) ・相談人数 65人			>社会保険労務士による労働相談を行った(火:市民相談情報課、土:Fプレイス) なお、毎月第2土曜日は女性の社会保険労務士が相談に対応し、女性の労働相談体制の充実を図った。 ・相談人数延べ 195人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>労働相談の実施によりハラスメントに関する相談体制の確保が図られたため、評価は「B」とする。引き続き相談体制を確保する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	183
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	街頭労働相談の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞社会保険労務士による労働相談を行った。(火:市民相談情報課、土:Fプレイス) なお、毎月第2土曜日は女性の社会保険労務士が相談に対応し、女性の労働相談体制の充実を図った。 相談人数 延べ226人、相談件数 延べ556件。 ＞新型コロナウイルス感染症拡大による雇用環境の悪化等の影響を受けている方を対象とした、社会保険労務士による労働相談を行った。 ・実施日 5月(3日間)、6月(4日間)、7月(4日間)、10月(6日間)、11月(3日間) ・相談人数 65人</p>			<p>＞かながわ労働センター湘南支所及び社会保険労務士会と街頭労働相談を実施した。 実施日:5月27日・10月29日(辻堂駅)、12月3日(湘南台駅) 相談人数 193人</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となったが、令和3年度は例年通り3回実施できたことにより、多くの相談者の問題解決に繋がったため、評価は「B」とする。今後も引き続き実施する。</p>	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	184
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	市内企業に対する啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞「勤労ふじさわ」を12回発行し、セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントに対する事業主・労働者への意識向上を図った。</p>			<p>＞勤労ふじさわを発行し、様々なハラスメント防止に向けて事業主・労働者への意識向上を図った。 6月号・7月号・11月号 (各月約1,900部発行)</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞勤労ふじさわにて職場におけるハラスメント防止に向けて事業主や労働者へ周知が図られたため、評価はBとした。 ＞今後も継続的に周知・啓発を実施する。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	185
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	児童虐待防止対策の強化や子ども・子育て相談の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢ 関係機関と連携し、児童虐待の予防、早期発見、発生後の迅速かつ適切な対応に努めた。継続的な関わりを要するケースが増加傾向にある中、きめ細やかな対応に努めた。</p> <p>○児童虐待相談新規件数：257件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体：61件 ・心理：111件 ・ネグレクト：84件 ・性的：1件 			<p>➢ 関係機関と連携・協働し、児童虐待の予防、早期発見、発生後の迅速かつ適切な対応に努めた。継続的な関わりを要するケースが増加傾向にある中、きめ細やかな対応に努めた。</p> <p>○児童虐待及び要支援児童等相談新規件数：345件（内児童虐待件数：179件、要支援児童等件数：166件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体：40件 ・心理：102件 ・ネグレクト：37件 ・性的：0件 ・要支援等：166件 	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢ 支援対象児童が増加するなか、迅速かつ適切な対応に努めることができたため評価を「B」とする。</p> <p>➢ 引き続き、児童虐待の防止及び早期発見のため、各関係機関と連携・協働して迅速な対応に取り組んでいく。また、幅広い相談ニーズに対応するために子ども家庭総合支援拠点の機能強化を図り、様々な社会資源を活用し、包括的な支援を行っていく。</p>	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	186
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	子ども家庭課	
主な具体的事業	児童虐待に関する情報収集、調査、対応の充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢ 児童虐待通告があった際に情報収集や調査をした後、事実関係確認のために家庭訪問し、適切な支援を行った。</p>			<p>➢ 児童虐待に関する相談や通告を受け、児童の安全確認、要保護児童対策地域協議会の構成機関等への調査及び家庭訪問等による保護者への指導や継続的支援を実施した。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢ 要保護児童対策地域協議会の構成機関等の関係機関と連携して対応することにより、迅速な対応及び適切な支援を行うことができたため、評価は「B」とする。</p> <p>➢ 引き続き、適切な支援を行えるよう、関係機関等との連携強化を図る。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	187
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	高齢者虐待相談窓口の充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>専門相談員、ケースワーカー、地域包括支援センター職員による虐待相談への対応を行った。 ・新規相談件数:109件 ・対応件数:293件 ・終結件数:211件			>専門相談員、ケースワーカー、地域包括支援センター職員による虐待相談への対応を行った。 ・新規相談件数:110件 ・対応件数:192件 ・終結件数:114件	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>コロナ禍においても、適切に関係機関と協力しながら虐待相談対応ができたため、評価を「B」とする。 >高齢者虐待の認識については高まっているため、引き続き包括支援センター及び関係機関との連携を図り、虐待防止に向けた相談の充実を図る。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	188
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>3回開催、期間内の相談状況報告と意見交換を行った。 ・第1回:8月 書面開催 ・第2回:11月5日 「経済的虐待ケースの事例検討」 ・第3回:2月 書面開催			>3回開催、期間内の相談状況報告と意見交換を行った。 ・第1回 8月19日 「コロナ禍での虐待通報事案について」 ・第2回12月16日 「施設虐待ケースについて(事例)」 ・第3回 3月 書面開催	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>コロナ禍においても、ネットワーク会議を通じて適切に関係機関と意識共有を図ることができたため、評価を「B」とする。 >高齢者虐待防止ネットワーク会議の委員である弁護士、医師、警察署、人権擁護委員、民生委員等で虐待防止の課題や事例を協議することにより、連携による取り組みについて課題が共有された。引き続き、虐待防止に向けたネットワークの強化を図っていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	189
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	子ども家庭課/高齢者支援課	
主な具体的事業	研修会の開催及び啓発活動の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>【児童虐待】</p> <ul style="list-style-type: none"> > 児童虐待防止を目的に研修等を行い、関係機関や市民に対して啓発を行った。 > 神奈川県との共催により、街頭キャンペーンを実施し、市民に対して啓発を行った。 ・市民及び関係機関向け児童虐待防止研修会 1回実施 26人参加 <p>【高齢者虐待】</p> <ul style="list-style-type: none"> > 次の研修会を実施した。 ・12月3日 包括支援センター職員対象「高齢者虐待ケースへのチームアプローチ」 			<p>>【児童虐待】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止を目的に研修等を行い、関係機関や市民に対して啓発を行った。 ・市民及び関係機関向け児童虐待防止研修会 2回実施 84人参加 <p>【高齢者虐待】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の研修会を実施した。 ・10月19日包括支援センター職員対象「高齢者虐待ケース対応のスキルアップ」 	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>> コロナ禍においても、研修会を通じて適切に関係機関と意識共有を図りスキルアップを図ることができたため、評価を「B」とする。</p> <p>> 研修を通じて、虐待通報から、情報収集や事実確認をしながらアセスメントする力が重要であると共通認識し、包括支援センター職員のスキルアップに繋がった。今後も地域の関係機関等がスキルアップにつながる研修に取り組んでいく。</p>	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	190
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	障がい者支援課	
主な具体的事業	障がい者虐待防止センターの運営を通じた相談窓口の充実と養護者への支援				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>> 障がい者虐待防止センターの相談員を3名配置し、虐待に関する相談の窓口や電話相談の充実を図った。虐待発生背景のひとつとして養護者の心身の負担が大きいことがあげられる。養護者の支援として、社会的なサービスの活用に向け、地区担当ケースワーカーとの連携や関係機関へつなぐ取り組みをした。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>> 相談件数の増加などから、虐待の相談先としての周知が進んでいると考え、評価を「B」とする。今後は、地区担当ケースワーカーとの連携をさらに深め、支援を必要とする方にマッチしたサービスを届けられるよう虐待防止に向けて取り組んでいく。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	191
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	障がい者支援課	
主な具体的事業	障がい者虐待防止に関する啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>障がい者虐待防止普及啓発のために「虐待防止パンフレット」(500部)を作成した。			>障がい者虐待防止普及啓発のために「虐待防止パンフレット」(ひとりでご存じですか？障がい者虐待防止法1000部)を作成し、関係している事業所へ送付した。また、市のホームページに障がい者虐待防止センターの取組を掲載した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>パンフレットを市内の各施設に配布するとともに、研修や会議の際に活用していただいたことや、市のホームページを通して多くの人に対して障がい者虐待防止の普及啓発ができたことから、評価を「B」とする。今後は、新たに藤沢市生涯学習出張講座への講師登録をして啓発活動を続けていく。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	192
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	学校生活におけるジェンダー平等の視点に立った教育課程の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>教員が授業の場面をはじめとして、学校生活のあらゆる機会をとらえ、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、男女共同参画の視点から、互いに協力しあい思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や4年経験者研修の機会に指導・助言した。 >児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットやセクシュアルハラスメント及びデートDV防止リーフレットを作成・配付し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。			>教員が授業の場面をはじめとして、学校生活のあらゆる機会をとらえ、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、ジェンダー平等の視点から、互いに協力しあい、思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や4年経験者研修の機会に指導・助言した。 >児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットや、スクールセクハラ・デートDV・SNS等を通じた被害等防止リーフレットを作成、データで配布し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>学校生活全体を通して、児童生徒が人間として尊重されるよう、担当者会や研修、リーフレットなどで周知することができたため、評価を「B」とする。 >今後、児童生徒同士でもスクールセクハラを防止し、お互いを大切にできるよう、児童生徒と教員の両方に働きかけていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	193
事業コード 事業名	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	セクシュアルハラスメント(スクールハラスメント)の防止に向けた周知・啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>セクシュアル・ハラスメント防止リーフレットとして、小学4年生用「楽しい学校生活を送るために」、中学1年生用「STOP！！スクール・セクハラ／デートDV」を作成し、配付した。</p> <p>>「児童の権利に関する条約」の精神を日常生活の中で生かすことを目的に、小学校1年生、4年生、中学校1年生を対象に、子どもの権利条約リーフレットを作成し、配布した。小学校1年生、4年生、中学校1年生の担任には教師用指導資料を併せて配付した。</p>			<p>>セクシュアル・ハラスメント防止リーフレットとして、小学4年生用「楽しい学校生活を送るために」、中学1年生用「STOP！！スクール・セクハラ／デートDV／SNS等を通じた被害」を今年度はデータで作成し、配布した。</p> <p>>子どもの権利条約について周知するために、小学校1年生、4年生、中学校1年生を対象に子どもの権利条約リーフレットをデータで作成し、配布した。同年の担任には教師用指導資料も併せて配布した。県の指導資料をもとに、中学校1年生の教師用指導資料を改訂した。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>リーフレットをデータ化し、ホームページに掲載することで広く周知することができたため評価を「B」とする。</p> <p>>今後もリーフレットの内容やその活用等について、毎年検討していく。</p>	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	194
事業コード 事業名	51	性犯罪・ストーカーなどの防止に向けた意識啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	性犯罪・性暴力防止に向けた啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>>市役所本庁舎1階ロビーでの男女共同参画週間パネル展及び人権メッセージパネル展での啓発チラシ等の配架、庁舎内へのチラシ・ポスター掲出を行い、啓発に努めた。</p> <p>>デートDV啓発チラシを作成し、市立中学校2年生への全員配布を行った。</p>			<p>>市役所本庁舎1階ロビーでの藤沢市ジェンダー平等推進週間パネル展においてポスターの掲出を行い、啓発に努めた。</p> <p>>デートDV啓発チラシを作成し、市立中学校2年生への全員配布を行った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>>パネルでのポスター掲出やチラシ配布を通して、広く市民に対して啓発を行った実績に鑑み、評価を「B」とする。</p> <p>>今後も、性暴力・性犯罪防止に対する理解の促進を図るため、周知・啓発に努める。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	195
事業コード 事業名	51	性犯罪・ストーカーなどの防止に向けた意識啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	関係機関との連携				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 茅ヶ崎市・寒川町とともに、地域DV対応情報交換会を開催した。神奈川県人権男女共同参画課・女性相談所・かながわ男女共同参画センター(相談課)・平塚保健福祉事務所(茅ヶ崎支所)・中央児童相談所・湘南三浦教育事務所・県警本部・藤沢警察署・藤沢北警察署・茅ヶ崎警察署参加の下、情報交換及び連携の確認を行った。 ・開催日:11月13日			> 新型コロナウイルス感染症の影響により、会議が開催されなかった。	
目標に対する評価				D 目標となる事業が実施できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 令和3年度は、当該会議が開催されなかったことから、評価を「D」とする。 > 今後も、関係各所との連携を図っていく。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	196
事業コード 事業名	51	性犯罪・ストーカーなどの防止に向けた意識啓発	担当課	保育課	
主な具体的事業	園児等を性犯罪から守るための情報共有や啓発活動の促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> 日々の保育の中で、保育士等が子どもに寄り添い、子どもの言葉に耳を傾けることで、日頃と違うところや不安に感じていることなどを察知し、早期発見や対応に努めた。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 保育士等が常に社会状況や家庭状況の変化に気づき対応する中で、取組は概ね行っているため、評価を「B」とする。今後、子どもに対しては理解できる言葉に代えて、必要に応じて啓発していくようにしていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	197
事業コード 事業名	51	性犯罪・ストーカーなどの防止に向けた意識啓発	担当課	青少年課	
主な具体的事業	さまざまな青少年活動を通じた啓発				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>街頭指導/パトロール…藤沢市青少年指導員・街頭指導員・特別街頭指導員等による市内でのパトロールを実施し、喫煙・飲酒・怠学などを指導した。 (通年) ・実施回数 青少年指導員292回 昼間街頭指導員1,327回 夜間特別街頭指導員36回 ・指導回数 昼間 述べ93件(内女子49件)夜間 述べ709件(内女子272件) >年末特別街頭指導キャンペーン・春季特別街頭指導キャンペーン…青少年指導員を中心に、青少年の非行・被害防止を広く市民へ周知するため、街頭放送を実施した。 ・12月1日 藤沢駅9人参加 ・12月2日 湘南台駅7人参加 ・3月10日 藤沢駅14人参加 >非行防止ポスター展…非行防止ポスター作品を募集し、応募作品やその他啓発パネルの展示を行った。(10月21日～11月4日67作品を展示) >社会環境実態調査…11月に実施 >書店・古書店の有害図書類の区分陳列立入調査…9月、1月実施。(調査店舗数延べ4件)	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>青少年指導員協議会等と連携・協力し、街頭キャンペーンによる啓発活動を実施したため、評価は「B」とする。今後も、地域の青少年に対して声かけを行うとともに、地域を巡回することにより問題行動の早期発見に努める。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	198
事業コード 事業名	51	性犯罪・ストーカーなどの防止に向けた意識啓発	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	学校生活におけるジェンダー平等の視点に立った教育課程の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>教員が授業の場面をはじめとして、学校生活のあらゆる機会をとらえ、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、男女共同参画の視点から、互いに協力しあい思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や4年経験者研修の機会に指導・助言した。 >児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットやセクシュアルハラスメント及びデートDV防止リーフレットを作成・配付し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。			>教員が授業の場面をはじめとして、学校生活のあらゆる機会をとらえ、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、ジェンダー平等の視点から、互いに協力しあい、思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や4年経験者研修の機会に指導・助言した。 >児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットや、スクールセクハラ・デートDV・SNS等を通じた被害等防止リーフレットを作成、データで配布し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>学校生活全体を通して、児童生徒が人間として尊重されるよう、担当者会や研修、リーフレットなどで周知することができたため、評価は「B」とする。今後、児童生徒同士でも性犯罪の被害者にも加害者にもならないよう、児童生徒と教員の両方に働きかけていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	199
事業コード 事業名	51	性犯罪・ストーカーなどの防止に向けた意識啓発	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	心身の発育・発達と性に関わる教育の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢教員が授業の場面をはじめとして、学校生活のあらゆる機会をとらえ、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、男女共同参画の視点から、互いに協力しあい思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や4年経験者研修の機会に指導・助言した。</p> <p>➢児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットやセクシュアルハラスメント及びデートDV防止リーフレットを作成・配付し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。</p>			<p>➢教育活動を全体を通して、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、男女共同参画の視点から、互いに協力しあい思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や研修において、指導助言をした。</p> <p>➢児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットやセクシュアルハラスメント及びデートDV防止リーフレットを作成・配付し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。</p> <p>➢「生命(いのち)の安全教育」の情報提供を行った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢性犯罪等の被害者にも加害者にもならないよう、性に関する情報提供等に努めたため、評価を「B」とする。引き続き、「生命(いのち)の安全教育」の推進にも努めたい。</p>	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	200
事業コード 事業名	51	性犯罪・ストーカーなどの防止に向けた意識啓発	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	児童・生徒を性犯罪から守るための情報共有や啓発活動の促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>➢教育活動を全体を通して、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、ジェンダー平等の視点から、互いに協力しあい思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や研修において、指導助言をした。</p> <p>➢児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットやセクシュアルハラスメント及びデートDV防止リーフレットを作成・配付し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。</p> <p>➢「生命(いのち)の安全教育」の情報提供を行った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢性犯罪等の被害者にも加害者にもならないよう、性に関する情報提供等に努めたため評価を「B」とする。引き続き、「生命(いのち)の安全教育」の推進にも努めたい。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶		通番	201
事業コード 事業名	52	メディアにおける性表現・暴力表現の防止、性の商品化の防止	担当課	人権男女共同平和国際課
主な具体的事業	情報紙やホームページ等を活用した啓発			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	—		>内閣府が作成する性暴力防止パンフレットの配布及び情報提供により、周知を図った。	
目標に対する評価			C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組			>メディアにおける性表現・暴力表現の防止、性の商品化の防止を主体とした事業は実施できていないことから、評価を「C」とする。今後は、AV防止法施行を踏まえ啓発を進める。	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶		通番	202
事業コード 事業名	52	メディアにおける性表現・暴力表現の防止、性の商品化の防止	担当課	青少年課
主な具体的事業	青少年のための社会環境浄化活動と非行防止活動の推進			
実施方式	その他			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	>街頭指導パトロール…藤沢市青少年指導員・街頭指導員・特別街頭指導員等による市内でのパトロールを実施し、喫煙・飲酒・怠学などを指導した。(通年) ・実施回数 青少年指導員226回 屋間街頭指導員1,341回 夜間特別街頭指導員47回 ・指導回数 昼間 述べ95件(内女子25件)夜間 述べ1,016件(内女子426件) >年末特別街頭指導キャンペーン・春季特別街頭指導キャンペーン…青少年指導員を中心に、青少年の非行・被害防止を広く市民へ周知するため、街頭放送を実施した。 ・12月7日(月) 藤沢駅10人 ・12月8日(火) 湘南台駅7人参加 ・3月18日(木) 藤沢駅18人 >非行防止ポスター展…非行防止ポスター作品を募集し、応募作品やその他啓発パネルの展示を行った。(10月21日(水)～10月29日(木)22作品を展示) >社会環境実態調査…11月に実施 >書店・古書店の有害図書類の区分陳列立入調査…8月、3月実施。(調査店舗数6件)		>街頭指導パトロール…藤沢市青少年指導員・街頭指導員・特別街頭指導員等による市内でのパトロールを実施し、喫煙・飲酒・怠学などを指導した。(通年) ・実施回数 青少年指導員292回 屋間街頭指導員1,327回 夜間特別街頭指導員36回 ・指導回数 昼間 述べ93件(内女子49件)夜間 述べ709件(内女子272件) >年末特別街頭指導キャンペーン・春季特別街頭指導キャンペーン…青少年指導員を中心に、青少年の非行・被害防止を広く市民へ周知するため、街頭放送を実施した。 ・12月1日 藤沢駅9人参加 ・12月2日 湘南台駅7人参加 ・3月10日 藤沢駅14人参加 >非行防止ポスター展…非行防止ポスター作品を募集し、応募作品やその他啓発パネルの展示を行った。(10月21日～11月4日67作品を展示) >社会環境実態調査…11月に実施 >書店・古書店の有害図書類の区分陳列立入調査…9月、1月実施。(調査店舗数延べ4件)	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			>青少年指導員協議会等と連携・協力し、街頭キャンペーンによる啓発活動を実施したため、評価は「B」とする。今後も、地域の青少年に対して声かけを行うとともに、地域を巡回することにより問題行動の早期発見に努める。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	203
事業コード 事業名	52	メディアにおける性表現・暴力表現の防止、性の商品化の防止	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	学校生活におけるジェンダー平等の視点に立った教育課程の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢教員が授業の場面をはじめとして、学校生活のあらゆる機会をとらえ、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、男女共同参画の視点から、互いに協力しあい思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や4年経験者研修の機会に指導・助言した。</p> <p>➢児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットやセクシュアルハラスメント及びデートDV防止リーフレットを作成・配付し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。</p>			<p>➢教育活動を全体を通して、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、ジェンダー平等の視点から、互いに協力しあい思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や研修において、指導助言をした。</p> <p>➢児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットやセクシュアルハラスメント及びデートDV防止リーフレットを作成・配布し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。</p> <p>➢「生命(いのち)の安全教育」の情報提供を行った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢児童生徒が人間として尊重されるよう、担当者会や研修、リーフレット等で周知することができたため評価は「B」とする。</p> <p>➢今後、児童生徒がお互いを大切に、性犯罪の被害者にも加害者にもならないよう、児童生徒と教員の両方に働きかけていく。</p>	

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	204
事業コード 事業名	52	メディアにおける性表現・暴力表現の防止、性の商品化の防止	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	心身の発育・発達と性に関わる教育の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>➢教員が授業の場面をはじめとして、学校生活のあらゆる機会をとらえ、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、男女共同参画の視点から、互いに協力しあい思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や4年経験者研修の機会に指導・助言した。</p> <p>➢児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットやセクシュアルハラスメント及びデートDV防止リーフレットを作成・配付し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。</p>			<p>➢教育活動を全体を通して、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、ジェンダー平等の視点から、互いに協力しあい思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や研修において、指導助言をした。</p> <p>➢児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットやセクシュアルハラスメント及びデートDV防止リーフレットを作成・配布し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。</p> <p>➢「生命(いのち)の安全教育」の情報提供を行った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>➢性犯罪等の被害者にも加害者にもならないよう、性に関する情報提供等に努めたため、引き続き、「生命(いのち)の安全教育」の推進にも努めたい。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	4 あらゆる暴力の根絶			通番	205
事業コード 事業名	52	メディアにおける性表現・暴力表現の防止、性の商品化の防止	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	児童・生徒を性の商品化から守るための情報共有や啓発活動の促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>▶教育活動を全体を通して、児童生徒が性差によることなく、人間として尊重されることを軸として、ジェンダー平等の視点から、互いに協力しあい思いやりをもって生活することの大切さを指導できるよう、担当者会や研修において、指導助言をした。</p> <p>▶児童生徒用の子どもの権利条約リーフレットやセクシュアルハラスメント及びデートDV防止リーフレットを作成・配布し、男女平等の視点からも人権尊重の意識啓発に努めた。</p> <p>▶「生命(いのち)の安全教育」の情報提供を行った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>▶性犯罪等の被害者にも加害者にもならないよう、性に関する情報提供等に努めたため評価を「B」とする。引き続き、「生命(いのち)の安全教育」の推進にも努めたい。</p>	

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	206
事業コード 事業名	53	差別や偏見をなくすための啓発や研修の実施	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	藤沢市人権施策推進指針による着実な推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>▶藤沢市人権施策推進指針に関する事業実績調査を行い、総合的な人権施策の推進について確認した。</p> <p>▶職員の人権意識啓発のため、各課ごとにテーマ設定を行い、これに基づき各課で意識啓発の取組を行った。</p> <p>▶ふじさわ人権協議会を3回開催(うち、2回は書面開催)し、「藤沢市人権施策推進指針に関する事業実績調査」、「各課職員の人権意識啓発に関する取組」等について報告したほか、藤沢市の人権施策につき意見聴取した。</p> <p>▶人権事務事業推進連絡会を書面開催し、人権関係各課との情報共有及び連絡調整等を行った。</p>			<p>▶藤沢市人権施策推進指針に関する事業実績調査を行い、総合的な人権施策の推進について確認した。</p> <p>▶職員の人権意識啓発のため、各課ごとにテーマ設定を行い、これに基づき各課で意識啓発の取組を行った。</p> <p>▶ふじさわ人権協議会を3回開催し、「藤沢市人権施策推進指針に関する事業実績調査」、「各課職員の人権意識啓発に関する取組」等について報告したほか、藤沢市の人権施策につき意見聴取した。</p> <p>▶人権事務事業推進連絡会を書面開催し、人権関係各課との情報共有及び連絡調整等を行った。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>▶各種会議の実施、意識啓発等の取組をとおして、委員及び市職員との連携を図ることができたため、評価を「B」とする。</p> <p>▶今後も、様々な会議や啓発活動をとおして、人権意識の向上に努める。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	207
事業コード 事業名	53	差別や偏見をなくすための啓発や研修の実施	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	人権教育及び人権啓発に関する施策の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>人権擁護委員と連携した啓発活動を実施した。 ・人権の花運動 市立小学校7校、私立小学校1校で実施 ・「人権擁護委員の日」、「人権週間」等を周知			>人権擁護委員と連携した啓発活動を実施した。 ・人権の花運動を市立小学校8校で実施 ・中学生人権作文コンテストを市内中学校15校で実施 ・「人権擁護委員の日」、「人権週間」等を市広報や横断幕掲出により周知	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>各種啓発事業等を実施し、人権教育及び人権啓発に関する施策を推進する目標を概ね達成したため評価を「B」とする。 >引き続き目標達成に向けて、人権擁護委員と連携し、各種事業を引き続き実施していく。	

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	208
事業コード 事業名	53	差別や偏見をなくすための啓発や研修の実施	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	人権啓発講演会、研修会の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>人権男女共同平和国際課主催及び他課と連携した講演会等を実施した。 ・主催・連携講演会等 3事業 (令和2年度藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会、第35回藤沢市人権啓発講演会等) >庁内研修会等を開催し、職員の人権意識啓発を図った。 ・藤沢市人権施策推進担当者研修会の開催 ・人権eラーニング研修の実施			>人権男女共同平和国際課主催及び他課と連携した講演会等を実施した。 ・主催・連携講演会等 3事業 (令和3年度藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会、第36回藤沢市人権啓発講演会等) >庁内研修会等を開催し、職員の人権意識啓発を図った。 ・藤沢市人権施策推進担当者研修会の開催 ・新採用職員を対象としたeラーニング研修の実施 ・人権eラーニング研修の実施	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>各種啓発事業・研修等の実施をとおり、市民及び市職員に対する人権啓発を行うことができたことから、評価を「B」とする。今後はコストを踏まえ、研修効果を高められるよう事業の再構築を図る。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	209
事業コード 事業名	53	差別や偏見をなくすための啓発や研修の実施	担当課	職員課	
主な具体的事業	市職員に対するセクシュアルマイノリティへの理解に向けた啓発及び研修の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p> >各課等の長宛に「ハラスメントの防止について」の依頼をポータル掲示し、周知徹底を図った。 >新たに管理職となった職員を対象に、ハラスメントの防止に関する研修を実施し、周知・啓発を図った。 >所属長を対象に「職場におけるハラスメントについて」をテーマに研修を実施し、所属長としての役割を改めて周知した。 </p>			<p> >「人権・男女共同参画啓発セミナー」(職員研修)において、「LGBTからSOGIへ 多様性と包摂性のあるまちづくりに向けて」をテーマにセクシュアルマイノリティへの理解を深めるための研修を実施した。また、eラーニングによる人権研修においても、セクシュアルマイノリティに関する項目を設けている。 </p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p> >目標の中核となる具体的な事業が実施できたため、評価を「B」の評価とする。一方、今後他の階層別研修等への展開も検討していきたい。 </p>	

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	210
事業コード 事業名	53	差別や偏見をなくすための啓発や研修の実施	担当課	職員課	
主な具体的事業	市職員に対する相談窓口の整備・充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p> >「藤沢市職員の職場におけるハラスメントの防止等に関する要綱」に基づき、ハラスメントに関する苦情相談に対応した。 ・件数:2件 </p>			<p> >「藤沢市職員の職場におけるハラスメントの防止等に関する要綱」に基づくハラスメントに関する苦情相談に対応した。 ・件数:2件(相談後に取り下げ) </p>	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p> >引き続き、相談窓口や、ハラスメント防止等に資する周知啓発に努めたい。 </p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	211
事業コード 事業名	53	差別や偏見をなくすための啓発や研修の実施	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	企業・団体等に対するセクシュアルマイノリティへの理解に向けた意識啓発及び情報提供の促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞社会保険労務士による労働相談を行った。(火:市民相談情報課、土:Fプレイス) ・相談人数 延べ226人 ・セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの相談件数 延べ37件 ＞「勤労ふじさわ」を12回発行し、セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントに対する事業主・労働者への意識向上を図った。</p>			<p>＞社会保険労務士による労働相談を行った。(火:市民相談情報課、土:Fプレイス) 相談人数 延べ195人 ハラスメントに関する相談件数 47件 ＞勤労ふじさわを発行し、様々なハラスメント防止に向けて事業主・労働者への意識向上を図った。 6月号・7月号・11月号 (各月約1,900部発行)</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞労働相談により、相談体制を確保するとともに勤労ふじさわにて職場におけるハラスメント防止に向けて事業主や労働者へ周知が図られたため、評価は「B」とする。 ＞今後も相談体制を確保し、周知・啓発を実施する。</p>	

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	212
事業コード 事業名	53	差別や偏見をなくすための啓発や研修の実施	担当課	生涯学習総務課・公民館	
主な具体的事業	セクシュアルマイノリティをテーマとした講座等の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>＞セクシュアルマイノリティをテーマとした事業を3公民館で3事業実施した。 ・参加者:延べ355人 【実施公民館及びテーマ、参加人数】 ・長後「映画『ぼくが性別『ゼロ』に戻るとき』」68人 ・善行「藤沢・生き方タイムトラベル 郷土史から考えるLGBT/SOGI」23人 ・藤沢「LGBTってなに? ～自分らしく生きる～(藤沢遊行塾)」264人</p>	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞セクシュアルマイノリティへの理解を深めるきっかけを作ることができたため、評価を「A」とする。今後も差別や偏見をなくすための啓発や研修事業を実施していく。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	213
事業コード 事業名	54	子ども・青少年に対する心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	保育課	
主な具体的事業	園児等へのジェンダー平等に関する意識づけ				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>職員が性別による固定的な意識(色や服装、職業など)を持たないで保育を行うことで、子どもたちに性別役割分担意識を持たせないように配慮を行った。			>職員が性別による固定的な意識(色や服装、職業など)を持たないで保育を行うことで、子どもたちに性別による固定的な役割分担意識を持たせないように配慮を行った。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>引き続き、職員が性別による固定的な意識(色や服装、職業など)を持つこともなく、子どもの主体性を大切に保育を行う。	

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	214
事業コード 事業名	54	子ども・青少年に対する心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	保育課	
主な具体的事業	保育に関わる職員、保護者に対するセクシュアルマイノリティへの理解に向けた意識啓発及び情報提供の促進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>子どもたちの成長段階に合わせた保育を行う中で、職員・保護者へ、性別による固定的な役割分担意識(色や服装、職業など)を持たせないよう配慮した言葉かけや態度で接するよう、啓発を行った。			>子どもたちの成長・発達段階に合わせた保育を行う中で、職員・保護者へ、性別による固定的な役割分担意識(色や服装、職業など)を持たせないよう配慮した言葉かけや態度で接するよう、随時、保育の振り返りを行い、啓発を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>取組は概ね行えているが、セクシュアルマイノリティの理解については、継続した取組が実施が必要のため評価は「B」とする。今後更に、職員研修の実施や報告及びクラス懇談会等で、引き続き、保育の振り返りや啓発を行っていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	215
事業コード 事業名	54	子ども・青少年に対する心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	青少年課	
主な具体的事業	さまざまな青少年活動を通じた啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> 青少年にとってのよい環境を考えるついで「思春期のころと性～若者たちがもめていることは～」 ・実施日 7月15日 ・参加者 220人 ・内容 若者たちに必要なものは「繋がり、絆、コミュニケーション」であるということテーマとして講演を行った。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 青少年がおかれている現状及びその背景を認識し、青少年問題への市民の意識の高揚を図ることができたため、評価は「B」とする。今後も青少年問題への市民の意識高揚を図るため、啓発活動を行っていく。	

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	216
事業コード 事業名	54	子ども・青少年に対する心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	学校生活におけるジェンダー平等の視点に立った教育課程の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 各学校において、あらゆる学習活動の中で男女平等教育を実施した。また、日常的に児童・生徒の性別にとらわれない、一人ひとりの個性を大切にした教育を実践した。 > 小学校4年生、中学校1年生を対象にセクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットを作成・配付した。中学校1年生対象のリーフレットには、デートDV防止の内容を加えている。			> 各学校において、あらゆる学習活動の中で男女平等教育を実施した。また、日常的に児童・生徒の性別にとらわれない、個々を大切にした教育を実践した。 > 小学校4年生、中学校1年生を対象にセクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットを今年度からはデータで作成し、配布した。文科省が進める「生命(いのち)の安全教育」の内容も一部盛り込んだ。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 日常的に性別にとらわれない、個々を大切にした教育を実践し、リーフレットにも「生命(いのち)の安全教育」の内容を一部追加することができたため、評価を「B」とする > 今後、児童生徒がお互いを大切に、性犯罪の被害者にも加害者にもならないよう、児童生徒と教員の両方に働きかけていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	217
事業コード 事業名	54	子ども・青少年に対する心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	心身の発育・発達と性に関わる教育の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> 体育(保健領域)では、「体の発育・発達」、保健体育(保健分野)では、「心身の発達と心の健康」において、男女の心身について学び、互いの性や個人差等について理解する授業に取り組んだ。また、特別活動をはじめ、教育活動全体を通して、互いを尊重し合えるようにした。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 計画訪問等において、指導助言を行ったため評価を「B」とする。今後は、教育活動全体を通して取組むことの必要性についても、指導助言していきたい。	

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	218
事業コード 事業名	54	子ども・青少年に対する心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	セクシュアルマイノリティの児童・生徒への支援と居場所づくり				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> 人権・環境・平和教育担当者会を2回実施した。第1回では様々な人権施策について確認し、その中でもセクシュアルマイノリティについて周知し、教職員として子どもたちへの対応や日々の教育活動の中で生かしていけるよう確認した。第2回では「ジェンダー平等」についてセクシュアルマイノリティ当事者を講師に招き、講演会を行った。 > 4年経験者研修でも子どもの人権及びセクシュアルマイノリティについて周知した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 今年度は1回目の担当者会でセクシュアルマイノリティについて周知しただけでなく、2回目についてはセクシュアルマイノリティ当事者を講師として招聘し、「ジェンダー平等」について講演会を行うことができた。また、4年経験者研修でもセクシュアルマイノリティについて周知できた。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	219
事業コード 事業名	55	セクシュアルマイノリティの支援に向けた制度の 検討・導入	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	パートナーシップ宣誓制度の導入				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p> >セクシュアルマイノリティをはじめとする多様性への理解が進み、差別や偏見のない、自分らしい生き方ができる社会の実現をめざし、令和3年4月1日から、藤沢市パートナーシップ宣誓制度を導入した。 【宣誓件数】 24件（令和3年4月1日～令和4年3月31日） ・パートナーシップ宣誓者の異動による負担軽減のため、令和4年2月1日から藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町の2市1町で自治体間連携を開始した。 </p>	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p> >パートナーシップ宣誓制度の導入及び対応実績に鑑み、評価を「A」とする。 >今後も同制度への理解促進を図るため、セクシュアルマイノリティに関する周知・啓発に取り組む。 </p>	

重点目標	5 多様な性を尊重する社会づくり			通番	220
事業コード 事業名	56	関係機関との連携強化	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	人権関連団体及びセクシュアルマイノリティを支援する団体等との連携強化				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p> >セクシュアルマイノリティ啓発パンフレットについて、関係団体に内容の確認と相談先として掲載することについて協力を得て作成した。 </p>	
目標に対する評価				C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p> >関係団体との連携について再検討の余地があるため、評価を「C」とする。各団体と連携が図られるよう取組を検討する。 </p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	221
事業コード 事業名	57	ひとり親家庭及び養育者家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	母子・父子自立支援員によるひとり親家庭相談の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>母子・父子自立支援員等がひとり親家庭の悩み・問題の聞き取りを行い、問題解決に必要な情報提供を行った。 ・相談件数 延べ2,862件			>母子・父子自立支援員等がひとり親家庭の悩み・問題の聞き取りを行い、必要に応じて同行や訪問を行うことで、問題解決に必要な情報提供及び課題の整理を行い、信頼関係の構築に努めた。 ・相談件数 延べ3,640件	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>事例検討会を定期的に行ったり、毎日支援員間で情報共有を行うことで、自ら助けを求められない対象者へも支援を広げることができたため、評価は「A」とする。 >より一層の目標達成に向けて、DVIに対する支援の知識の推進に努める。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	222
事業コード 事業名	57	ひとり親家庭及び養育者家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	ひとり親家庭等日常生活支援事業の実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>ひとり親家庭の方が、日常生活で支障があるときに、家事育児等の支援を行った。 ・派遣時間数 延べ30時間			>ひとり親家庭の方が、日常生活で支障があるときに、一定の期間、家事育児の支援を行った。 ・派遣時間数 延べ97時間	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>事業の対象となり利用を希望したひとり親家庭に、負担が軽減できるよう家事育児による支援を行った。また、事業の対象とならない利用者にも、他の事業を紹介するなどによりバックアップに努めたため、評価は「A」とする。 >希望日時に沿えるよう委託先の確保に努める。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	223
事業コード 事業名	57	ひとり親家庭及び養育者家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	ひとり親家庭などへの医療費の助成				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>18歳までの児童(一部20歳未満)がいる母子・父子・養育者家庭に対し、医療費の助成を行った。(所得制限あり。) ・対象者数 延べ62,501人 ・助成件数 64,141件 ・助成額 180,045千円			>18歳までの児童(一部20歳未満)がいる母子・父子・養育者家庭に対し、医療費の助成を行った。(所得制限あり。) ・対象者数 延べ61,605人 ・助成件数 69,789件 ・助成額 195,966,183円	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>医療費に係る経済的負担の軽減により、ひとり親家庭等の生活の安定と自立が図られたため、評価は「A」とする。 >ひとり親相談や広報等の機会を捉えて、引き続き、制度の周知を図るとともに、安心して医療の給付が受けられるように申請の案内を行っていく。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	224
事業コード 事業名	57	ひとり親家庭及び養育者家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	ひとり親家庭への自立支援給付金事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>母子家庭の母又は父子家庭の父が厚生労働省指定の教育訓練を実施したときに、受講料の40%又は60%の支給を行った。 ・対象者 7人 ・支給額 313千円			>母子家庭の母又は父子家庭の父が厚生労働省指定の教育訓練を実施したときに、受講料の40%又は60%の支給を行った。 (1)自立支援教育訓練給付金 ・対象者 14人 支給額 1,395,347円 >母子家庭の母または父子家庭の父の就職が有利になるような資格を取得することにより生活の安定を図るため給付金の支給を行った。 (1)高等職業訓練促進給付金 ・対象者21人 支給額 20,825,000円 (2)高等職業訓練修了支援給付金 ・対象者 5人 支給額 225,000円 >最終学歴が中学校卒業であるひとり親家庭の親又は子が、高等学校卒業程度認定試験の合格に向けた講座を受講する際、受講料の一部を助成した。 1人につき、修了時に40%(上限15万円)、試験合格時に60%(修了時と合わせ上限25万円)を支給。 (1)高等学校卒業程度認定試験合格支援事業給付金 ・対象者 2人 支給額 250,000円	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>ひとり親家庭の親に対して給付金を支給することによって、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進が図られたため、評価は「A」とする。 >児童扶養手当の現況届の提出の際の面談等の機会を捉え、制度の周知・案内を行っていくことが必要である。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	225
事業コード 事業名	57	ひとり親家庭及び養育者家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	児童扶養手当の給付				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>父又は母と生計を同じくしていない18歳に達する日以後最初の3月31日までの児童を監護している母、父又は養育者の所得に応じて、児童扶養手当を支給した。 ・受給者数 2,107人(令和4年3月31日時点) ・年間支給額 1,075,359,770円	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>ひとり親家庭及び養育者家庭に手当を支給し、経済的支援を行い目標は達成できたため、評価は「A」とする。 >戸籍の届出やひとり親相談等の機会を捉えて制度案内を行い申請漏れを防ぐ。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	226
事業コード 事業名	57	ひとり親家庭及び養育者家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	養育者支援金の給付				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>孫などの児童を養育している養育者が公的年金を受給している場合は、児童扶養手当が一部又は全部支給されないため、児童扶養手当相当額を支援金として支給した。 ・対象者数 5人 ・支給件数 延べ26件 ・支給額 2,237千円			>孫などの児童を養育している養育者が公的年金を受給している場合は、児童扶養手当が一部又は全部支給されないため、児童扶養手当相当額を支援金として支給した。 ・対象者数 6人 ・支給件数 延べ23件 ・支給額 1,801,610円	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>養育者家庭に手当を支給し、経済的支援を行い目標は達成できたため評価は「A」とする。 >戸籍の届出やひとり親相談等の機会を捉えて制度案内を行い申請漏れを防ぐ。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり		通番	227
事業コード 事業名	58	生活に困難がある人々への支援	担当課	地域共生社会推進室
主な具体的事業	自立相談支援事業の実施			
実施方式	直接実施、委託・指定管理			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>>日常生活自立支援事業を実施している藤沢市社会福祉協議会に対し、助成を行った。</p> <p>・利用契約件数 172件</p> <p>【日常生活自立支援事業】専門員および生活支援員による1福祉サービスの利用援助2日常的金銭管理サービス3書類等預かりサービス4権利擁護に関する相談事業により、障がい者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう援助を行う事業。</p>		<p>>市直営と社会福祉協議会への委託による自立相談支援事業は、地域で様々な困難を抱える方々の暮らしを支えるため個々の状況に応じた支援プランを作成し、自立に向けた包括的、継続的な支援やサービスの利用調整を行っている。</p> <p>[相談件数]</p> <p>・市直営 1,623件</p> <p>・社会福祉協議会委託 1,829件</p>	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、生活困窮の相談件数は増加しており、相談内容に応じ長期的な関わりが必要な場合も多い。件数に限らず、丁寧な支援を行うことが必要である。今後の取組としては、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により困窮状態となった方々が相談できる場所として、周知を図るとともに、生活状況の改善に向けた支援を行っていく。</p>	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり		通番	228
事業コード 事業名	58	生活に困難がある人々への支援	担当課	地域共生社会推進室
主な具体的事業	就労準備支援事業の実施			
実施方式	委託・指定管理			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	—		<p>>長期離職やひきこもりなどにより早期一般就労が難しい方に対し、生活リズムの見直し、人間関係の構築、社会活動への参加を通じて就労に必要な技能を習得することで就労をめざしている。</p> <p>[支援件数] 55件</p> <p>・就労に結び付いた件数 5件</p> <p>・ボランティア体験延べ100件</p>	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>>自己肯定感が低い相談者も多く、伴走的な支援を行っている。そのため、支援期間は長期化するが、相談者本人のめざす姿に向け、成果を出せるよう丁寧な支援を行った。今後の取組としては、就労体験先の開拓など相談者が活動できる場を増やすことも必要と考える。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	229
事業コード 事業名	58	生活に困難がある人々への支援	担当課	地域共生社会推進室	
主な具体的事業	家計改善支援事業の実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>> 一時的な金銭給付や貸付による困窮状態の解消を図るのではなく、家計収支全体の改善を図り、最終的には健全な家計状態を取り戻しその管理を自己の力で行うことができるよう、家計診断及び伴走的な相談支援を行う。</p> <p>支援件数:56件 支援終結:17件</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組	<p>> 家計の見える化を行うことで、客観的に家計状況の理解、自己管理能力を高めていくまでに長期的な時間を要するため、数値目標を設定することは難しい。</p> <p>> 今後の取組としては、健全な家計状態に戻せるよう、将来的な見通しが立てられる生活像を持てるような支援を行うことが必要である。</p>				

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	230
事業コード 事業名	58	生活に困難がある人々への支援	担当課	福祉総務課	
主な具体的事業	地域福祉プラザの運営				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>> 既存の社会参加の機会において、環境に配慮を要する対象者(ひきこもり等)に対する居場所の提供を行うとともに、交流や社会貢献、ボランティア活動等への社会参加に関する支援を行った。また、当該対象者及びその家族等に対して専門相談の機会を設けることで、社会参加支援の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実活動者数 20件 ・活動実回数 587回 ・専門相談実施回数 12回 <p>> 障がい者をはじめとする当事者会及びその家族会等への相談・情報提供・自主活動支援に関する事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者会の登録団体数 28団体 ・活動室の利用率 39.1% 	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組	<p>> 地域福祉プラザの運営への補助を通じて、多様な地域生活課題を抱える当事者及びその家族への支援を継続して実施することができたため、その目標を概ね達成したものと評価を「B」とする。</p> <p>> なお、活動室の利用者が定着している傾向はあるものの、利用団体等へのアンケートを通じて、より利用しやすい運営方法の見直しを行う。</p>				

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり		通番	231
事業コード 事業名	58	生活に困難がある人々への支援	担当課	住宅政策課
主な具体的事業	母子・父子世帯への市営住宅入居申込時における優遇制度の実施			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	—		<p>＞市営住宅入居申込時における優遇制度を設けると共に、ひとり親世帯の公営住宅に係る優遇入居を通じ、居住の安定を支援した。令和3年度は、市営住宅の空き家には237世帯の応募があったが、ひとり親世帯として優遇抽選の該当となった世帯は24世帯であった。</p>	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>＞特に住宅困窮度の高い者に対し優遇入居措置を講じることは、公営住宅の趣旨に沿うものであり、ひとり親家庭が安心して子育てをしながら生活できる環境を整えることができたことから、評価を「B」とする。今後も、国の動向を注視しつつ、引き続き、通常の住宅困窮者と比べ、住宅当選確率が2倍高くなる、優遇抽選制度を実施する。</p>	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり		通番	232
事業コード 事業名	59	外国につながるの市民への生活支援	担当課	人権男女共同平和国際課
主な具体的事業	多言語、やさしい日本語による情報提供			
実施方式	直接実施			
変更事項				
年度	令和2年度		令和3年度	
取組実績	<p>＞「くらしの情報ガイド～休日・夜間などの急患診療～」を7言語(スペイン語、ポルトガル語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語)とふりがな付き日本語で毎月発行した。 ＞外国人市民が藤沢市での生活に必要な情報を案内するための冊子「ふじさわ生活ガイド 令和2年度版」を7言語で発行した。 ＞外国人市民へボランティアの日本語教室を紹介するための冊子「藤沢市日本語教室MAP」を7言語で発行した。</p>		<p>＞「くらしの情報ガイド～休日・夜間などの急患診療～」を7言語(スペイン語、ポルトガル語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語)とふりがな付き日本語で毎月発行した。 ＞外国人市民が藤沢市での生活に必要な情報を案内するための冊子「ふじさわ生活ガイド 令和3年度版」を7言語で発行した。 ＞外国人市民へボランティアの日本語教室を紹介するための冊子「藤沢市日本語教室MAP」を7言語で発行した。</p>	
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組			<p>＞多言語、やさしい日本語による情報提供を継続して行っているため、評価を「B」とする。今後も提供する情報に過不足がないか等随時検討を行っていく。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	233
事業コード 事業名	59	外国につながるの市民への生活支援	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	外国につながるの市民の居場所づくり				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>子どもたちを中心とした、外国につながるの市民と地域住民の国際交流の場として「第11回MINT OMO交流会」の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。			>子どもたちを中心とした、外国につながるの市民と地域住民の国際交流の場として「第12回MINT OMO交流会」を、新型コロナウイルス感染症に配慮し、ワークショップと動画配信により実施。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルスの影響下において新しい取り組みである動画配信にて実施することができたため。評価をBとした。 >目標達成に向けては、ウィズコロナの時代に安全かつ有意義な交流会を開催するための手法を検討する。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	234
事業コード 事業名	59	外国につながるの市民への生活支援	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	外国につながるの市民を支援する各種団体との連携				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>日本語支援ネットワーク会議を開催し、日本語教室と市、教室どうしの顔の見えるつながりを築き、市と日本語支援ネットワーク会議を共催事業として位置づけ、教室の課題や市の多文化共生推進事業について意見交換を行った。			>日本語支援ネットワーク会議を開催し、日本語教室と市、教室どうしの顔の見えるつながりを築き、共催事業として教室の課題や市の多文化共生推進事業について意見交換を行った。 >市と日本語教室が連携し、外国につながるの市への日本語習得支援に関する取り組みを進めるため、日本語ボランティア入門講座を実施し、ボランティアを養成した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>日本語ボランティア入門講座受講生の一部がボランティアとして活動を開始していることから、講座の目的を概ね達成することができたので、評価を「B」とした。 >目標達成に向けては、感染症対策を講じながら、有意義な講座を開催するとともに、日本語教室と市、教室どうしがより密な連携を図れるよう検討する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	235
事業コード 事業名	59	外国につながるのがある市民への生活支援	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	藤沢市外国人市民会議を運営し、外国につながるのがある市民の意見等を施策に反映				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>「藤沢市外国人市民会議」を開催(オンラインシステムZoomを併用)し、行政に対する意見交換、提言の提出に対するフィードバックを実施した。また、市民センター職員と委員による世界のコミュニケーションの取り方の違いを踏まえた、外国につながるのがある市民との接遇について、意見交換会を実施した。			>「藤沢市外国人市民会議」を開催(オンラインシステムZoomを併用)し、行政に対する意見交換、提言の提出に対するフィードバックを実施した。また、委員がZoomで日本語教室の授業を受講し、オンライン授業について意見交換を実施した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルスの影響下において、オンラインシステムZoomを併用し、感染症対策を講じながら会議を開催することができたため、評価を「B」とする。 >目標達成に向けては、令和4年度が提言の年であるため、提出に向け、委員からより多くの意見を引き出せるよう検討する。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	236
事業コード 事業名	59	外国につながるのがある市民への生活支援	担当課	市民相談情報課	
主な具体的事業	外国人相談事業の充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>スペイン語・ポルトガル語による相談業務の実施(本庁:電話・面談により月～金の毎日実施、湘南台文化センター内:面談のみを月・火・金実施) ・相談者数:3,130人 ・相談件数:6,628件			>スペイン語・ポルトガル語による相談業務の実施(本庁:電話・面談により月～金の毎日実施、湘南台文化センター:面談のみを月・火・金実施) ・相談者数:3,189人 ・相談件数:6,782件	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>昨年比同程度の相談者数および相談件数を実施したことから評価を「A」とする。今後も継続して外国人相談事業を行っていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	237
事業コード 事業名	59	外国につながるのがある市民への生活支援	担当課	学務保健課	
主な具体的事業	外国人市民の子どもたちの就学に向けた支援				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>住民登録窓口で住民登録の手続きをする際に、学齢期の外国籍の子どもがいる場合は、就学の希望を確認し、希望する方に本課での就学手続きを案内した。 >また、小学校、中学校へ入学する学齢の外国籍児童、生徒の保護者あてに、あらかじめ書面にて就学案内をした。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>実績として、窓口では日常的に案内をしており、新入学生についても書面にて就学案内をしたため、評価を「B」とする。引き続き、住民登録窓口及び本課にて外国籍の子どもがいる家庭に対し、就学手続きを案内していく。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	238
事業コード 事業名	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	母子健康手帳の交付				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>母子健康手帳の交付数:3,186冊			>令和3年度母子健康手帳発行数:3,193件	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>妊婦に対する母子健康手帳の交付を着実に取り組んだため、評価を「A」とする。引き続き、健やかな妊娠・出産や育児のための支援として、取組を進めていきたい。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	239
事業コード 事業名	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	両親学級(マタニティクラス)の開催				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため通年で中止としたが、マタニティクラスで実施している内容の一部をケーブルテレビで放送(8月31日～9月6日)し、その後、ホームページに動画を配信した。			>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5-7月のみ開催したが、感染症対策として妊婦のみの参加とした。また昨年度に引き続きマタニティクラスで実施している内容の一部を藤沢市ホームページ上で動画配信した。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>妊婦は新型コロナウイルス感染症のハイリスク対象であることを踏まえ、動画配信を併用するなど工夫を行い、一定の目的を達成したものの考え、評価を「B」とする。引き続き、感染状況を踏まえ、妊婦やパートナーに対する家事・育児参加への推進のための情報提供方法を検討したい。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	240
事業コード 事業名	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	こんにちは赤ちゃん事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>お母さんと赤ちゃんを対象として、生後4か月までに助産師、保健師、看護師が家庭訪問する事業：3,107人			>生後4か月までのすべての産婦と乳児を対象として、生後4か月までに助産師、保健師、看護師が家庭訪問する事業：3,048人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、事業を実施したため、評価を「B」とする。新型コロナウイルス感染症の影響で、訪問を望まない場合もあるが、引き続き、感染対策を行いながら事業を継続するとともに、簡易的な訪問の提案や電話相談の実施、他事業との連携を図りながら、すべての産婦とその乳児に必要な育児情報が提供できるよう努めていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	241
事業コード 事業名	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	乳幼児訪問指導の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>妊産婦及び乳幼児訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業含む):延べ6,815人[妊婦・産婦・未熟児・新生児・乳児・幼児等の訪問対象者数(上記訪問対象児を含む)]			>妊産婦及び乳幼児訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業含む):延べ6,584人[妊婦・産婦・未熟児・新生児・乳児・幼児等の訪問対象者数](上記訪問対象児を含む)]	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、事業を実施したため、評価を「B」とする。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら事業を継続するとともに、訪問を望まない場合には簡易的な訪問の提案や電話相談の実施、他事業との連携を図りながら、妊娠中から子育ての期間を支援できるように努めていく。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	242
事業コード 事業名	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	離乳食教室、食事教室、食物アレルギー教室の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>離乳食教室(実践編)(7か月～11か月児) 16回 300人 >ぱくぱく教室(満1歳～1歳2か月児) 18回 239人 >食物アレルギー教室(7か月～1歳児) 9回 107人			>離乳食教室(実践編)(7か月～11か月児) 14回 295人 >ぱくぱく教室(満1歳～1歳2か月児) 14回 188人 >食物アレルギー教室(7か月～1歳児) 7回 75人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染対策のため教室中止となった時期があったが、申込者への資料送付やフォロー電話相談を行うなどため、評価は「B」とする。 >今後も教室中止の場合や教室参加者以外への対応として、離乳食等に関する情報をホームページに掲載する等、効果的な情報提供の方法を検討していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	243
事業コード 事業名	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	乳児期の教室の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>ごっくん教室(5か月～6か月児) 27回 651人 >もぐもぐ教室(7か月児) 16回 431人			>ごっくん教室(5か月～6か月児) 23回 454人 >もぐもぐ教室(7か月児) 15回 304人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染対策のため教室中止となった時期があったが、申込者への資料送付やフォロー電話相談を行うなどしたため、評価は「B」とする。 >今後も教室中止の場合や教室参加者以外への対応として、離乳食等に関する情報をホームページに掲載する等、効果的な情報提供の方法を検討していく。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	244
事業コード 事業名	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	未熟児・慢性疾患児保健指導(教室・相談・訪問)の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>未熟児・慢性疾患児保健指導:延べ661人[未熟児訪問273人、うち慢性疾患児の訪問92人、慢性疾患講演会19人、所内相談(来所相談、電話相談含む)277人]			>慢性疾患児訪問:延べ46件 >未熟児訪問:延べ201件	
目標に対する評価				C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルスの感染拡大のため、講演会が実施できなかったことから、評価を「C」とする。今後は、新型コロナウイルス感染症の流行状況に合わせ、可能な範囲で保健指導教室の実施を検討していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	245
事業コード 事業名	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	お母さんと子どもの健康相談の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>健康相談:延べ505人(地区健康相談322人、保健センター健康相談 183人)			>健康相談:延べ312人 (地区健康相談 129人、保健センター健康相談 183人)	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染症対応のため、予約制として開催を行ったため、評価を「B」とする。今後は、周知方法や、利用希望者増加の際に、予約枠の充実や時間の検討を図るとともに、感染症対策を併せて行う必要があることから、引き続き予約制で実施する。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	246
事業コード 事業名	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	産後ケアの充実				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>藤沢市産後ケア事業(デイサービス) 利用状況 ・登録届出者数 85人 ・利用実人数 57人 ・利用延べ人数 96人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>利用者アンケートでも、概ね高評価な回答を得られており、利用者の満足度は高かったと考えられるため、評価を「B」とする。 >令和4年度は事業の拡充を行い、サービス形態の多様化を図る。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	247
事業コード 事業名	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	特定不妊治療費の助成				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 特定不妊治療費助成件数: 636件			> 特定不妊治療費助成件数: 688件	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 前年度を上回る助成申請があり、多くの夫婦の経済的負担を軽減することができたため、評価を「B」とする。 > 今後は特定不妊治療の保険適用化に伴い、対象者が減少していくため、事業の見直しを検討していく。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	248
事業コード 事業名	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	不育症治療費の助成				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 不育症治療費助成件数: 3件			> 不育症治療費助成件数: 2件	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 前年度を下回る少ない申請件数となった。 > 今後想定される不育症治療の保険適用化を見据え、事業の見直しを検討していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	249
事業コード 事業名	61	障がいの早期発見と健康管理体制の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	乳幼児の各種健康診査の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>4か月児健康診査:3,239人 >9～10か月児健康診査:3,324人 >1歳6か月児健康診査:3,316人 >2歳児歯科健康:2,716人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内指定の医療機関での個別健診として9月から実施 >3歳6か月児健康診査:3,392人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から6月11日まで中止。その後は実施方法を変更し6月18日から再開した。			>4か月児健康診査:3,082人 >9～10か月児健康診査:3,170人 >1歳6か月児健康診査:3,299人 >2歳児歯科健康診査:2,895人 >3歳6か月児健康診査:3,402人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度から実施方法を一部変更し実施している。	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>実施方法を一部変更し、コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら健康支援を行ったことから、評価を「B」とする。 >今後も感染防止対策を継続し、安心して受診していただける体制を整える。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	250
事業コード 事業名	61	障がいの早期発見と健康管理体制の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	妊婦健康診査の実施				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項	令和3年7月から産婦健康診査を開始				
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>妊婦健康診査:延べ38,798人			>妊婦健康診査:延べ38,587人 >産婦健康診査(2週間):延べ1,034人 (1か月):延べ1,806人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>各健康診査の対応実績があることから、評価を「B」とする。年度途中から産婦健康診査の公費負担を開始したが、事業開始初年度ということもあり、受診率がまだ低いため、今後も事業周知を行っていきたい。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	251
事業コード 事業名	61	障がいの早期発見と健康管理体制の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	経過検診療養生活相談の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>経過検診:延べ284人			>経過検診療養生活相談:延べ 232人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの着実に事業を実施したため、評価を「B」とする。引き続き、対象数や環境整備について検討をし事業を実施していく。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	252
事業コード 事業名	61	障がいの早期発見と健康管理体制の充実	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	心理相談経過観察の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>心理相談:延べ197人			>心理相談経過観察:121回 160人 >ひよこの広場:52回 延べ272人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>相談希望者を待たせることなく、各事業へご案内でき、その後も各事業や子ども家庭課へ継続し支援することができたため、評価を「B」とする。必要時に、子ども家庭課と連携し継続した支援が受けられるよう、引き続き情報共有とともに連携を図っていく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	253
事業コード 事業名	62	生涯を通じた女性の健康づくり	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	女性特有のがんに関する意識啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>主に女性特有のがん(乳がん、子宮がん)に焦点をあて、講演会や健康教育を実施した。 ○「生涯を通じた女性の健康づくり講演会」オンラインで配信。 ・開催日：11月29日 ・参加者 94人 ○出張講座 3回 35人			>女性特有のがん(乳がん、子宮がん)に焦点をあて、健康教育や啓発を実施した。 ○出張講座 2回 25人 ○チラシ「あなたに受けてほしい♡女性のためのがん検診」の配布 1歳6か月児健診の帳票発送時同封 対象3,479人 ○大切なご自身やご家族のために～プレストアウェアネス～ 2歳児歯科健診の帳票発送時同封 対象3,480人	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>ライフスタイルの変化に合わせ、効果的な周知方法の検討を行っていく。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	254
事業コード 事業名	62	生涯を通じた女性の健康づくり	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	がん検診の実施と受診啓発				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>イベント等での乳がん触診体験やがん検診受診勧奨を実施し、普及啓発に努めた。 ○子育て応援メッセ等 計9回がん検診受診率 ・肺がん検診：42.4%、大腸がん検診：36.4%、胃がん検診：7.6%、子宮頸がん検診：28.3%、乳がん検診：26.9%、前立腺がん検診：15.0%、胃がんリスク検診：3.5%			>がん検診受診率 ・肺がん検診：18.8%、大腸がん検診：16.2%、胃がん検診：3.6%、子宮頸がん検診：13.1%、乳がん検診：13.9%、前立腺がん検診：14.9%、胃がんリスク検診：3.7%	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>多様なライフスタイルや育児環境の変化に対応できるよう見直しを継続する。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	255
事業コード 事業名	62	生涯を通じた女性の健康づくり	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	生涯を通じた女性の健康教育・相談の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>健康教育、健康相談、健康づくり啓発事業の実施。 ・健康教育 91回 1,979人 ・健康相談 1,395回 2,401人			>健康教育、健康相談、健康づくり啓発事業の実施。 ・健康教育 220回 5,366人 ・健康相談 1,393回 2,121人	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>健康教育実施数に関しては、令和2年度と比較し、増加している。今後も対象者のニーズに合わせた事業の実施を行っていく。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	256
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	生活習慣病対策の強化				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>生活習慣病予防講演会 「CKD(慢性腎臓病)知っていますか？腎臓を大切に」オンデマンド配信 14名 「今、糖尿病とともに生きる」オンライン開催 10名 >生活習慣病予防教室 疾病別生活習慣病予防教室(脂質異常症・CKD・糖尿病・糖尿発症予防)9回 延べ149名 食事の選び方講座 オンライン開催 2回 14名 生活習慣病予防相談 月1回 3～6枠 31名	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染症拡大予防により、講演会の講演方法の変更や人数縮小等行ったが、参加人数は令和2年度より増加している。引き続き、新型コロナウイルス感染症禍に見合った方法で周知・啓発を実施したい。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	257
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	健康診査の実施と受診啓発				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>5月末に受診券等の個別通知を行い、受診啓発を実施した。 ・後期高齢者等健康診査受診率 49.5% >がん検診受診率 ・肺がん検診:42.4%、大腸がん検診:36.4%、胃がん検診:7.6%、子宮頸がん検診:28.3%、乳がん検診:26.9%、前立腺がん検診:15.0%、胃がんリスク検診:3.5% >令和2年度実績:受診者数5,120人 受診率 8.6% ・20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70歳の市民対象に実施 ・20, 25歳を対象に、歯周病リスク検査実施 ・口腔がん集団検診 年2回中止。			>5月末に受診券等の個別通知を行い、受診啓発を実施した。 ・後期高齢者等健康診査受診率 47.8% >がん検診受診率 ・肺がん検診:18.8%、大腸がん検診:16.2%、胃がん検診:3.6%、子宮頸がん検診:13.1%、乳がん検診:13.9%、前立腺がん検診:14.9%、胃がんリスク検診:3.7% >成人歯科健診実績:受診者数5,935人 受診率 9.4% ・20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70に加え80歳の市民を対象に実施 ・65,70,80歳を対象に、咀嚼能力検査実施 ・口腔がん集団検診 感染対策を考慮し1回実施	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染症拡大予防により、期間のあるものについては延長して継続的に実施し健康支援を行った。 >今後も新型コロナウイルス感染症拡大予防を考慮し、安心して受診していただける体制を整える。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	258
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	食生活を通しての健康づくりの推進				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>食生活改善推進員の養成 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となった。			>食生活改善推進員の養成 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となった。 >食生活改善推進事業(四ツ葉会) 公民館等の会場で調理デモンストレーションと講義の講座を15回実施。(17回実施予定であったが、2回は中止) >食生活改善推進事業(さつき会) 親子向けの動画作成・配信を2回実施。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>予定した講座すべてを実施することはできなかったため、評価を「B」とする。 また、食生活改善推進員養成講座が実施されず担い手が不足している。今後、講座担い手の確保のため、担い手と参加者の両方に魅力ある講座が実施できるよう検討していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	259
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	身体活動促進のための環境整備				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> ふじさわ歩くプロジェクト ・Instagram投稿キャンペーン 1,313件応募 > ふじさわ歩くPJTトク歩数チャレンジ 2,136名 18事業所19チーム > 健康づくりウォーキング講座3回 29名 > リーダー講習会・フォローアップ4回 45名 > ラジオ体操講習会2回 68名 > ふじさわオリジナル体操講習会3回 100名 > 公園を活用した健康づくり講座3回 75名 > オンライン動画プログラム「こそトレ」8回 106名 > からだ動かし隊 登録団体79団体 登録者数3,039名	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 新型コロナウイルス感染症が流行する中、従来の集合型身体活動の促進を行うことができたため、評価は「B」とする。 > 今後もSNSの活用や特設ホームページでの情報発信、歩数計アプリを活用したキャンペーンの実施等により身体活動の促進を行う。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	260
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	子どもの食事教室の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 離乳食教室(実践編)(7か月～11か月児) ・16回 300人 > ぱくぱく教室(満1歳～1歳2か月児) ・18回 239人 > 食物アレルギー教室(7か月～1歳児) ・9回 107人 > ごっくん教室(5か月～6か月児) ・27回 651人 > もぐもぐ教室(7か月児) ・16回 431人			> 離乳食教室(実践編)(7か月～11か月児) ・14回 295人 > ぱくぱく教室(満1歳～1歳2か月児) ・14回 188人 > 食物アレルギー教室(7か月～1歳児) ・7回 75人 > ごっくん教室(5か月～6か月児) ・23回 454人 > もぐもぐ教室(7か月児) ・15回 304人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 新型コロナウイルス感染対策のため教室中止となった時期があったが、申込者への資料送付やフォロー電話相談を行うなどため、評価は「B」とする。 > 今後も教室中止の場合や教室参加者以外への対応として、離乳食等に関する情報をホームページに掲載する等、効果的な情報提供の方法を検討していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	261
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	訪問指導の充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 訪問栄養指導の実施 ・訪問件数:2件 > 訪問歯科指導の実施 ・訪問相談 137人(実人数) > 成人訪問指導の実施 ・訪問件数:1件 > こんにちは赤ちゃん事業 ・お母さんと赤ちゃんを対象として、生後4か月までに助産師、保健師、看護師が家庭訪問する事業:3,107人 > 妊産婦、新生児、乳幼児訪問指導の実施 ・妊産婦及び乳幼児訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業含む):延べ6,815人			> 訪問栄養指導実施:母子18件・成人2件 計20件 > 訪問歯科指導実施:母子13件・成人137件 計149件 > こんにちは赤ちゃん事業:3,048人 > 妊産婦及び乳幼児訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業含む):延べ6,584人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、事業を実施したため、評価を「B」とする。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら事業を継続する。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	262
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	スポーツ推進課	
主な具体的事業	スポーツ教室・スポーツ事業等の開催				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 新型コロナウイルス感染症の影響で、施設を一時的に閉鎖していたことや、施設再開後も感染症対策を実施した上での実施となったことから、事業数・参加者数ともに大幅減となった。 ・スポーツ教室事業数 55回 ・参加者数 延べ 8,114人			> 新型コロナウイルス感染症対策として、消毒や人数の一部制限等を実施したうえで各種事業を実施した。 ・スポーツ教室事業数 261回 ・参加者数 延べ 41,682人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 感染症対策を実施する中で、教室事業を実施することができたため、評価を「B」とする。今後は、ウィズコロナの考えの下で基本的対策を徹底し、事業を展開していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	263
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	スポーツ推進課	
主な具体的事業	女性のスポーツ参加の促進				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>Youtubeによる動画配信やオンラインでの事業実施など、多様な形態での事業展開を試行した。 ・ラジオ体操動画の配信 ・Zoomを活用したオンライン形式でのスポーツ栄養講座の実施 実施日:2022年2月27日 17:30～19:00 参加者数:25人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス対策も兼ねた形で、多様な形態での事業実施を展開することができたため、評価を「B」とする。 今後も、ウィズコロナの考えの下で、多種多様な事業形態を検討していく。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	264
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	スポーツ推進課	
主な具体的事業	女性競技者のキャリア支援に向けた検討				
実施方式	委託・指定管理				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>令和3年度については、検討に向けた協議の場をもつことができなかった。 今後は藤沢市体育協会などと連携し、女性競技者のキャリア支援に向けた方策等について検討を行っていく。	
目標に対する評価				D 目標となる事業が実施できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>スポーツ庁や日本スポーツ協会などの取組を参考に、市町村レベルで実現可能な方策等について、関係団体と連携しながら検討していく。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	265
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	学校給食課	
主な具体的事業	学校給食の充実				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>> 学校において食に関する項目を含んだ教科や特別活動など、学習を通じて学年に応じた食に関する指導を行った。</p> <p>> 学校給食を生きた教材として活用した指導を行った。</p> <p>> 栄養教諭指導主事が、小・中各校の食育担当者に対して食育講座や食育の計画等に関する指導、支援を行い、全校に食育を行き渡らせるようにした。</p>			<p>> 小・特別支援学校36校において、毎月「給食だより」を、中学校19校では栄養教諭が作成した「食育だより」を年4回発行し、家庭における食育推進を促した。さらに、小・特別支援学校の新1年生には、冊子「大切です！食生活」を配布し、食育の重要性に関する啓発を行った。</p> <p>> 小学校、中学校、特別支援学校全校において「食に関する指導の全体計画」を作成し、学年に応じた指導を実施した。小学校では食育授業の指導案をまとめた「食に関する学習指導案集」を参考にして、各学校で食育授業の実践を進めた。中学校では朝食アンケートの結果をもとに食育講話を実施した。</p>	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>> 食の大切さを児童生徒に伝えるとともに、「給食だより」、「食育だより」を通じて、保護者に対しても、食育の重要性に関して周知・啓発をすることができたため、評価を「B」とする。</p> <p>> 食育については、一時的なものではなく、日々の積み重ねになるので、今後においても継続して食育の重要性に関して周知・啓発を行い、児童生徒の健やかな成長を支援していきたい。</p>	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	266
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	保健予防課	
主な具体的事業	いのちを支える自殺対策の実施				
実施方式	補助金・負担金				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>> 警察庁自殺統計による令和3年の藤沢市の自殺者数は61人となっており、自殺死亡率は13.9となっている。</p> <p>主な自殺対策事業として、自殺未遂者緊急介入支援事業や、自殺未遂者・家族個別支援事業、自死遺族支援事業、うつ病当事者・家族支援事業、メンタルチェックシステム、普及啓発事業を実施している。</p> <p>> 令和3年度には講演会等、複数の人が対面で接する事業については中止や、オンラインでの開催に変更するなどして、実施した。</p>	
目標に対する評価				C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>> 自殺者数の増加や、自殺対策事業の一部中止もあったことから評価は「C」とする。</p> <p>> 今後は自殺者数の減少に向けて、昨年度実施できなかった事業を中心に普及啓発活動を進めていきたい。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	267
事業コード 事業名	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	保健予防課	
主な具体的事業	精神障がい者の地域生活支援の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			<p>＞藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会を開催し、体験利用事業等の普及啓発、支援者向け研修、情報交換等を実施することで、精神障がい者が望む地域生活の実現を目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局会 5回(参加団体7機関 出席者延べ39人) ・全体会 5回(参加団体34機関 出席者延べ102人) 	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞オンラインでの開催方法を取り入れることで、コロナ禍においても、概ね会議を中止することなく実施できたため、評価を「B」とする。</p> <p>＞今後については、オンライン開催も併用しながら、より多くの市民に精神障がいについて普及啓発ができるように取り組んでいく。</p>	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	268
事業コード 事業名	64	HIV・エイズ、性感染症防止についての啓発	担当課	保健予防課	
主な具体的事業	検査及び相談事業の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	<p>＞HIVおよびエイズの早期発見等、性感染症のまん延防止を目的に、藤沢市保健所にてHIV・梅毒検査、相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HIV・梅毒検査 175件(男性118件、女性57件)うち陽性2件 ・相談 390件(男性262件、女性128件) 			<p>＞HIVおよびエイズの早期発見等、性感染症のまん延防止を目的に、藤沢市保健所にてHIV・梅毒検査、相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> [HIV・梅毒検査] 219件(男性149件、女性70件)うち陽性1件 [相談] 464件(男性316件、女性148件) 	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				<p>＞検査実施件数、相談件数ともに前年より増やすことができたため、評価を「A」とする。</p> <p>＞引き続き事業を継続し、性感染症のまん延防止に努める。</p>	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	269
事業コード 事業名	64	HIV・エイズ、性感染症防止についての啓発	担当課	保健予防課	
主な具体的事業	エイズ予防等に向けた啓発活動の実施				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 保健所医師、保健師による出張講演会の開催 ・善行中学校 2回			> 保健所医師、保健師による出張講演会の開催 ・湘南台高等学校 500人 ・湘南高等学校定時制 35人 ・湘南工科大学付属高等学校 1,216人	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 前年度と比べて開催数は増やすことができたが、一部の学校での実施となっているため、評価は「B」とする。 > 再度事業の周知方法を検討し、講演会を通して啓発活動を行う。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	270
事業コード 事業名	65	薬物乱用の防止、喫煙、飲酒等の問題に関する啓発	担当課	地域保健課/青少年課	
主な具体的事業	関係機関との連携及び情報提供や意識啓発による薬物乱用防止の推進				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	> 4、6、9、2月に藤沢市各市民センター及び市内県立高校、大学に薬物乱用防止パンフレット、ポスターを送付し掲示(計33箇所)を行った。 また、9月はパンフレットを市内の小学校、中学校(計64校)に送付した。 > 12月・3月に開催された街頭指導キャンペーンや、非行防止ポスター展にて薬物乱用防止パネルを掲示した。			> 4、6、9、2月に藤沢市各市民センター及び市内県立高校、大学に薬物乱用防止パンフレット、ポスターを送付し掲示(計33箇所)を行った。 また、9月はパンフレットを市内の小学校、中学校(計64校)に送付した。 > 10月に開催予定であった街頭指導キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、薬物乱用防止啓発看板を保健所に掲示し、意識啓発に努めた。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 10月開催予定であった街頭キャンペーンは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、啓発看板設置に変更したため、評価は「B」とする。 > 目標達成に向けては、今後の新型コロナウイルス感染症の動向に影響を受ける事業もあるが、できる限りの意識啓発に努めたい。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	271
事業コード 事業名	65	薬物乱用の防止、喫煙、飲酒等の問題に関する啓発	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	タバコに関する知識の普及とのぞまない受動喫煙防止対策の強化				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	>健康増進法改正と、法改正に伴う「藤沢市公共的施設等における受動喫煙防止を推進するためのガイドライン」改定の周知啓発、相談対応を実施した。 ・市民等からの意見 51件 ・健康増進法に関する問い合わせ件数 151件 ・既存特定飲食提供施設からの届出数 233件 ・市内飲食店現地調査数 1,469件			>健康増進法改正と、法改正に伴う「藤沢市公共的施設等における受動喫煙防止を推進するためのガイドライン」改定の周知啓発、相談対応を実施した。 ・市民等からの意見 40件 ・健康増進法に関する問い合わせ件数 19件 ・既存特定飲食提供施設からの届出数 6件 ・市内飲食店現地調査数 1,953件	
目標に対する評価				A 目標を達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>改正健康増進法施行2年目ということもあり、全体的に件数が減ってきている。今後も問い合わせや届出に対し適切な対応を行っていく。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	272
事業コード 事業名	65	薬物乱用の防止、喫煙、飲酒等の問題に関する啓発	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	禁煙しやすい相談支援体制の整備				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			>世界禁煙デー・禁煙週間に合わせて、5/17～6/1市役所本庁舎1階ラウンジにて啓発展示。5/13～6/7横断幕の設置。 >ふじさわ禁煙サポート ・動機づけ支援:20件、禁煙支援1件。 ・企業向けで藤沢商工会議所会員に3,000部チラシ配布。 >禁煙支援ネットワーク ・医療機関75か所、歯科医療機関25か所、薬局38か所。 >タバコ対策講演会 ・2022年2月17日オンライン開催 参加者7名。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				>新型コロナウイルス感染症拡大防止でイベントが中止となり、啓発する機会が少なかったが、オンラインで講演会を開催する等新たな取組も実施していることから、評価を「B」とする。今後は、感染症拡大に左右されない形での啓発活動に取り組みたい。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	273
事業コード 事業名	65	薬物乱用の防止、喫煙、飲酒等の問題に関する啓発	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	受動喫煙を受けない環境整備				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> 藤沢市公共的施設等における受動喫煙防止を推進するためのガイドラインの周知 ・横断幕常時設置(藤沢駅南口)2017年4月6日設置、2022年3月31日撤去。 > 禁煙環境表示 ・A3ラミネート1部、A4ラミネート7部、A6ステッカー2部、A4プレート47部。 > 食品衛生講習会 ・来庁者へ受動喫煙防止に関する啓発リーフレット配布。	
目標に対する評価				B 目標を概ね達成した	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 新型コロナウイルス感染症拡大防止でイベントが中止となり受動喫煙防止について啓発する機会が少なかったが、具体的事業の横断幕の設置や禁煙環境表示、食品衛生講習会での啓発を続けたことから評価を「B」とする。 > 従来通りの周知に加え、他課と連携し啓発の強化を行いたい。	

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	274
事業コード 事業名	65	薬物乱用の防止、喫煙、飲酒等の問題に関する啓発	担当課	健康づくり課/保健予防課	
主な具体的事業	飲酒についての正しい知識の普及啓発				
実施方式	その他				
変更事項					
年度	令和2年度			令和3年度	
取組実績	—			> 健康教育(高齢者のこころの健康) ・1回 13人 > ポスター掲示(アルコール関連問題啓発週間)	
目標に対する評価				C 目標を達成できなかった	
評価に対する考え 及び 今後の取組				> 今年度は、コロナの状況により健康教育や講演会をする機会が少なかったため評価を「C」とする。 > 事業の継続とともに、健康教育や講演会などで啓発を図る。	

「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」進捗管理シート

重点目標	6 誰もが安心して暮らせる社会づくり			通番	275
事業コード 事業名	65	薬物乱用の防止、喫煙、飲酒等の問題に関する啓発	担当課	保健予防課	
主な具体的事業	飲酒に関する相談支援体制の整備				
実施方式	直接実施				
変更事項					
年度	令和2年度		令和3年度		
取組実績	—		>精神保健福祉相談にあわせて、酒がい相談員による相談を併設しており、アルコール関連問題に係る当事者、家族への助言を行っている。 ・酒がい相談(月に1回) 計 5件 >藤沢断酒新生会(自主団体)への支援		
目標に対する評価			B 目標を概ね達成した		
評価に対する考え 及び 今後の取組			>酒がい相談の件数は少なかったが、事業は行った。 また、断酒会については毎月開催できており、評価を「B」とする。		